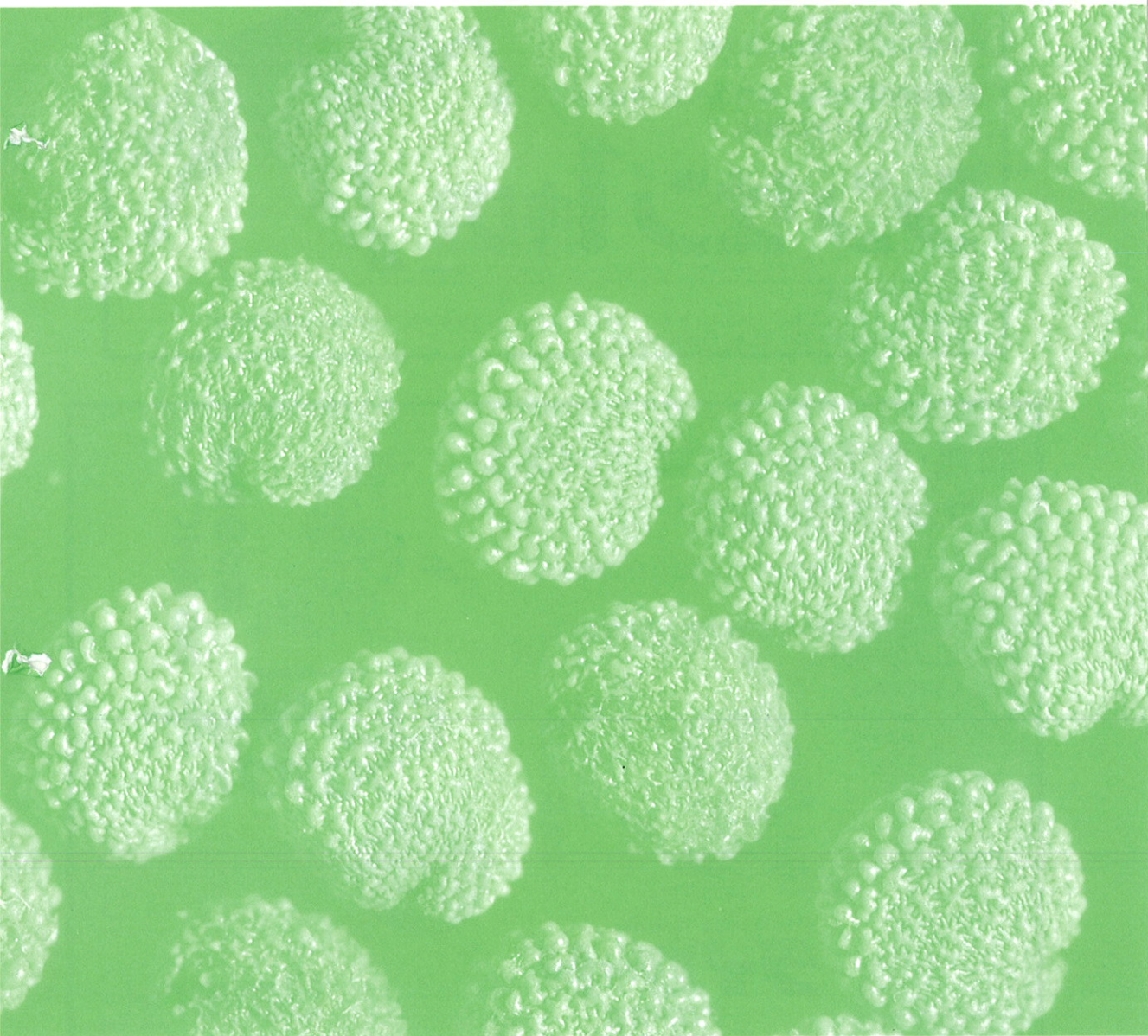


# 植調

第31卷第11号



ウシハコベの種子(*Stellaria aquatica*) 径1mm

財団法人 日本植物調節剤研究協会編



新登場

# 水田除草のサラブレッド!

## ■ 特長 ■

1. ノビエ、ホタルイに安定した高い効果
2. 処理適期幅が広い
3. 抑草期間が長い
4. 水稲に対する優れた選択性

処理適期幅が広い、殺草スペクトラムが広い、  
初・中期一発1キロ粒剤。

# シンザン® 1キロ粒剤

(®: 住友化学工業(株)・日本バイエルアグロケム(株)・三井東圧化学(株)の共有登録商標)



## ■ シンザン普及会 ■

塩野義製薬／八洲化学工業／アグロス／日本バイエルアグロケム／住友化学工業／三井化学／三井東圧農業  
(事務局) 三井化学株式会社 東京都千代田区霞が関3-2-5

## 簡便・省力除草には、バイエルのフロアブル剤で!

ライガードとロンゲットはフロアブル剤だから除草作業がとっても「楽」。

しかも、長い散布期間で一年生雑草から多年生雑草まで、  
水田のほとんどの雑草に  
安定した効果を示します。



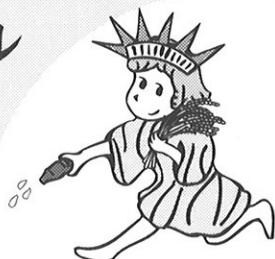
バイエル 水稲用一発処理除草剤

# ライガード®

フロアブル  
Lフロアブル

- 使用前にはラベルをよく読んでください。
- ラベルの記載以外には使用しないでください。
- 本剤は小児の手の届く所には置かないでください。

簡単除草で  
がっちり  
ガード。



バイエル 水稲用一発処理除草剤

# ロンゲット®

フロアブル

楽して草とる  
農家の女神

新発売

Bayer

日本バイエルアグロケム株式会社  
本社 東京都港区高輪4-10-8 〒108-8572



## 巻 頭 言

### 多様化時代の農作物保護

財団法人 日本植物調節剤研究協会 理事  
日本農薬株式会社 常務取締役 開発本部長

笠井 勉

新しく農薬開発を担当することになり、農業を取りまく環境を振り返って見ました。現在の社会は様々の価値観を持った人々から構成され多様化の時代と言われて久しいですが、農業分野でもこの傾向は一層強まっています。季節を問わず大抵の農産物は入手でき、輸入農産物も増加して食生活の多様化はますます進んでいます。最近では健康・安全志向の高まりを背景にした食料への関心も高まっています。

農業担い手の高齢化と後継者不足は慢性的であり、生産法人化、請け負栽培、委託栽培等によって栽培面積の大規模化に今後ますます拍車がかかって来ると考えられます。農業従事者の多様化や栽培面積の大規模化に伴って農作業時間を配分する必要性が生まれ、水稻栽培法も従来の稚苗、中苗機械移植一辺倒から、直播（湛水、乾田）、不耕起移植、ロール苗移植等、この面でも多様化の傾向が見られて来ました。

平成9年度もわが国のコメ生産は豊作に恵まれましたが、農業生産に関係するこれまでの多くの技術の集積が、気象変動や雑草害・病虫害によって受ける悪影響を小さくする等で貢献して来たと考えられます。作物育種も遺伝子工学の技術等によって従来は時間を要した複雑な工程が短縮され、除草剤抵抗性や耐虫性、耐病性の新品種が多く育成され、これらと農薬の組み合わせによって農作物保護が進められるという世界的な動きがあります。耐虫性の不足や遺伝子による環境汚染等の問題指摘もあり、これとて完全な技術ではないようです。環境への負荷を低減させる課題に対しIPMが有力な方向性で、あらゆる適切な防除手段を相互に矛盾しない形

で使用しようとしています。生物農薬や天敵利用を防除手段に組み合わせ、また薬量の低下や散布回数の削減をはかる目的から、高活性で単位面積あたり投下薬量の非常に低い農薬が普及されて来ています。

農業従事者の多様化に伴って使用場面での多様化も著しいものがあります。特に顕著な分野のひとつが水稻用除草剤ですが、これまで30年近く利用されて来た3キロ粒剤から1キロ粒剤、フロアブル剤やジャンボ剤へと変化がここ5年くらいの間に本格化して来ています。あるいは更に0.5キロ粒剤や250mlフロアブル剤への少量化も検討され始めています。これらは製剤技術の進歩に負うところが大きく、これらにより均一散布を前提としない周縁部処理や水口処理が可能となって来ました。

農業及び農作物保護の多様化と変化の時期にあって、私ども農薬開発を担当する者はどのような目標を持つべきでしょうか。業界は激動期にあり、欧米の主要メーカーは農薬開発のみならずバイオテクノロジー、種子生産や食品加工まで含めた複合企業となるべく目まぐるしくM&Aを繰り返しており、農作物保護のあり方が大きく変化して来ています。

新農薬開発には多額の費用とともに約10年間の歳月を必要とします。環境が激変する中で10年先の情勢を考えるのは大変困難なことです。「環境適合性」を最優先し、高活性化や多様化にも配慮しながら新しい農薬を開発し、農産物生産に貢献することが私どもの使命と考えています。

## 目 次

( 第 31 卷 第 11 号 )

## 巻 頭 言

多様化時代の農作物保護…………… 1

&lt;財)日本植物調節剤研究協会 理事

日本農薬㈱ 常務取締役 開発本部長

笠井 勉&gt;

有機農法(無農薬・無化学肥料栽培)の重大

なる誤り (I)…………… 3

&lt;植物科学研究所長 竹松哲夫&gt;

平成9年度春夏作野菜花き関係除草剤・生育

調節剤試験成績概要…………… 11

&lt;財)日本植物調節剤研究協会 技術部&gt;

平成9年度春夏作芝関係除草剤・生育調節剤

試験成績概要…………… 19

&lt;財)日本植物調節剤研究協会 技術部&gt;

平成9年度茶園関係除草剤・生育調節剤試験

成績概要…………… 37

&lt;財)日本植物調節剤研究協会 技術部&gt;

文 献 抄 録…………… 40

&lt;元財)日本植物調節剤研究協会

技術顧問 金澤 純&gt;

## 使って安心、三共の農薬。



三共株式会社

- 時代先どり、ジャンボな省力  
投げ込むだけ

**クサトリエース** \*Hジャンボ  
Lジャンボ

- ノビエ2.5葉期まで使用可能

**ラクダー** Hフロアブル  
Lフロアブル

- どっしり安定、しっかり効くゾウ  
水稲用初・中期一発処理除草剤

**ウィードレス** \*A1キロ粒剤36  
1キロ粒剤51

- 使いやすい水稲用一発処理除草剤

**スラッシュヤ粒剤**

- 移植前・初期除草剤

**シング**®乳剤

# 有機農法(無農薬・無化学肥料栽培)の 重大なる誤り(I)

植物科学研究所長 竹松 哲夫

## 1. はじめに(有機農法の発生と理念)

有機農法は外にいくつかの別称がある。自然農法、有機農業、無農薬無化学肥料栽培等頗る多彩である。この農法つまり栽培法はいつ頃どこで世界的に発生したか極めて興味がある。今から54年前(1940)イギリスの「ハワード」という人が「アグリカルチュラル・テストメント」(日本語訳では農業聖典)という書物を著した。これが有機農業自然農法の世界のオリジンといえる。その5年後にアメリカの「ロデイル」という人が「ペイタード」(邦訳有機農業)を書いた。いずれも第二次大戦前のことである。わが国では世界救世教の始祖である岡田茂吉師により1948年(昭和23)に無化学肥料栽培を自然農法として同宗教の機関誌「地上天国」で発表した。つまり有機農法(自然農法)はイギリス、ついでアメリカ、そして日本で夫々提唱者が現われたといえよう。当時これらの提唱者は概ね次のように異口同音に断言している。「化学肥料は有毒である。これを吸収して育つ農作物にはその毒が含まれ、農作物は体が弱り、その結果病気になり易く、害虫がつき易い、この化学肥料で育てた飼料作物には勿論毒を含み、これを食べる家畜やニワトリも病気になりやすい。このような家畜や農作物を食べると人間も健康を害する。それだけでなく化学肥料は農地の土壌を悪化させ、土が固結して耕し難くなり、侵

食を起す」というものである。これが有機自然農法の原点の基本的な考え方である(後述のように今日ではこれらの考え方はすべて非科学的で間違いであることが立証されている)。

## 2. 何故有機自然農法がまず化学肥料に集中して攻撃をはじめたか?

1913年(第一次世界大戦の前年)ドイツの「ルードウィッヒスハーヘンにおいて人類史上初めて空気中に無限に近くある窒素を肥料として固定化する合成工場が完成したからである。この発明者はドイツのガールスルーエ大学の「ハーバー教授」と「ボッシュ博士」である。この空中窒素固定法は大気中から窒素、水から水素を取り出してアンモニア肥料(チッソ肥料)をつくるという画期的な技術である。しかしこの化学合成技術が広く世界に普及するには発明後かなりの年月を必要とした。例えば日本でも昭和10年代に若干水稻等に使われはじめたが全国普及には至らず1955年(昭和30)頃までは農地の肥料は堆肥や人畜の糞尿が主力であった。この傾向は世界の先進国でも同じようなものといえる。今でも低開発国は殆ど堆肥や人畜糞尿が肥料の主力の所が多い。私は世界各国の農耕地雑草を調べて多くの国々を実地に踏査したがその中で幾つかの国ではいまだに化学肥料がなく農民は白い化学肥料(硫安等)をみると気持

が悪い。怖いと申ししていた。随って自然有機農法を長年つづけた所へ突如として化学合成肥料が現われてそれをほんの少し施すだけで急に葉色が濃くなり生育が盛んになるのを見ると「魔法の粉」をまく感じになるのも当然のことだったといえよう。こうした有機農法では当然10アール当りの収穫量も著しく低く、コムギで平均100～120 kg/10 aと近代科学農法の平均600 kgに対し1/6～1/5の収量にすぎない。農耕地雑草の発育も頗る貧弱である。ソバの栽培地もみたが草丈が20～25 cmで開花結実し、僅かに蜜蜂が少ない花を求めて舞っていた。つまりこれらの低開発国の有機自然農法は今から100～200年前の旧式な古代農法のままである。調査によれば西暦1800年代の世界人口は10億人といわれる。その後僅か200年で世界人口は5～6倍に急増している。そして「ワールドウォッチ」(アメリカのシンクタンク)によれば2030年には世界人口は89億になると予想している。その通りとすれば1800年代の世界人口の9倍ということになる。有機農法(自然栽培)＝放任栽培＝無化学肥料無農薬栽培ではどんなに頑張っても10億人分しか食糧は取れないから地球上は恐るべき飢餓地獄となる。これは無化学肥料栽培をするだけでその恐るべき餓死地獄は確実にやってくる。現在の近代科学農法でも世界的には有機農法の多いインド・パキスタン・アフリカ、中近東が恒常的な食糧輸入国である。またWHO(世界保健機関)によれば現在栄養失調が主因で有機農法しかない途上国の幼い子供は年間凡そ1,200万人が死亡していると言う。尚大人も含めて栄養不足にもとづく病人は有機農法の途上国を中心に実に20億人を越えるという。中国も2010年には1億3,600万トンの食糧が不足するとして、その対策に円借款

で化学肥料工場とかんがい設備に総額5,800億円を供与すると伝えている(1995年9月 海外経済協力基金)。さて有機農法をやっている人々が忌み嫌う合成化学肥料は一体どのように考えるべきか、はっきり断言できることは合成化学肥料なしには人類は巨大な食糧不足となり、今日のような人類の繁栄は望むべくもないことは明白である。そして有機農業を営む人々の根底から誤った非科学的考え方は既にはるか昔に徹底的に打ち砕かれている。後述するように彼等に反論する余地は全くない。

### 3. 化学肥料非難は今日の普通の農民には到底考えられない

いうまでもなく農作物は生物である。生物である以上食物(家畜はエサ)が不足したり、片よっていは健全な発育はできない。大体今日の化学肥料ほど農作物が食べやすく、栄養バランスが良く、作物の食べたいときに吸いやすいように出来上っている肥料はどこにもない。施したアンモニアは硝化作用で硝酸態に変るが、徐々に変るように硝酸化成の防止剤も加えられている。これほど安全で便利なものが今日の化学肥料である。その上加里や燐酸は天然の素材を加工して作物の食べやすい形にただけである。それに良く勉強してほしいのは堆肥や人畜糞尿が土の中で分解し、やがて作物が食べる時は合成化学肥料の化学成分と全く同じものになったものだけしか作物は食べることができない。化学肥料とくに空中窒素固定法の発明は人類に測り知れない恩恵をもたらした。1919年発明者のハーバ教授やボッシュ博士はノーベル化学賞を受賞した。当然すぎるほど当然のことである。この大発明はまさに人類の命綱を堅固につくり上げたものといえよう。植物つまり農作物の栄養

のうち最も大切な窒素肥料を空気と水から化学合成で造り出す大発明ができたからこそ1800年代の10億人の人類が僅かその後の200年で5～6倍もの人口を養う食糧を生産できたわけである。しかも大気は無限であり、地球上の水の少量を使うだけでそれをなしとげたのである。勿論公害も起していない。古い統計を調べると1950年（終戦から5年目）の化学肥料（つまり窒素、リン酸、加里）は世界中で僅か1,500万トンに過ぎなかった。その頃は世界中が食糧不足で苦しんでいた。それから20年後の1970年（昭和45）には1950年の凡そ5倍に当る6,800万トンが世界中の農耕地に消費された。化学肥料別にみると上記20年間に最も増加が劇しかったのは窒素肥料で実に450万トンから3,150万トンと7倍になっているそして今では1億トンを越えている。育種学の進歩による高収量品種（肥料を良く食べる品種）の「えさ」である化学肥料を必要にして十分量施し、殺菌剤・殺虫剤で農作物を侵す病気や害虫を防ぎ、雑草を完全防除することで急増する世界人口を養ってきたのである。今や人類の生存は化学肥料を排除しては100%成り立たない状況に達している。無化学肥料栽培等という「ネボケタ考え方」が最高に良いという作物の有機無化学肥料栽培法とその基本的理念への思いこみは100%間違っている。以下細かい点で無化学肥料栽培の重大な間違いについて述べてみる。

#### 4. 有機無化学肥料の農業は地球の自然を大破壊する

常識でも分る通り無化学肥料栽培では増大する人間の食糧を確保することは絶対不可能である。そこで極めて低収量の有機農法で増加する人口を養うには地球上の農耕地を凡そ10倍に拡

充しなくてはならない。所が現在の農耕地は人類の歴史2000年間に肥沃な所、水便の良い所、そして温暖な気候条件の所を開発し終り、その面積は地球陸地全面積の約10%に相当する15億ヘクタールである。残っている陸地は世界の大山脈、砂漠地帯、熱帯雨林、植物の育たない寒帯域、瘠せた大草原があるだけである。若し耕地拡大を強行しようとすれば今では森林地帯の一部と草原しかない。現在地球上の森林は41億ヘクタール、草原は36億ヘクタールである。40億ヘクタールもある砂漠はどうにもならない。森林と草原のすべてを開拓しても地球陸地の半分にもならない。注目すべきは森林と草原は地球環境保全の最大の骨格である。有機農法による森林・草原の開発の強行は直ちに地球環境の大破壊である。ここに有機農法の恐るべき重大な欠陥がある。反対に近代科学を駆使した近代科学農法は現有の世界の農耕地15億ヘクタールで楽に人類100億人を養い得るのである。FAOの1980年報告では1970～1979年平均で農民一人当たり穀物生産量は科学農法を使うアメリカが一人当たり1,190 kg、その他の全先進国が655 kgに対し、開発途上にあるアフリカ、アジア、ラテンアメリカはアメリカの1/6、全先進国の1/3しか生産できてない。現在開発途上国も国により化学肥料をかなり使用し、病虫害雑草防除に農薬を利用している所もある。私はこのような所を半有機農法（半近代農法）と呼んでいる。随ってここでは近代科学農法を営む比率の多い南アフリカとアジアの日本や中国等の中進地域は除外していることを付け加える（FAO報告）。今大事なことは後30年後には100億人になる世界人口を養うためには現在の世界の農耕地15億ヘクタールの生産力を近代科学農法の先進国と同様に全開発途上国の穀物生

産量を高めることである。そうすることにより 100 億人口を養うことができ、尚地球上の森林と原野を保全し、地球の環境と緑を守ることができる。既述のように自然農法（有機無化学肥料栽培）では人類は養えないのみならず人類の唯一の棲家である地球の緑を食いつくして、地球環境を根底から破壊してしまう恐るべき栽培方法でもある。

#### 5. 有機農法が広がれば土壤の流亡が劇しくなる

今日世界農業の将来で注目すべき問題の一つに農耕地表層土壤の降雨（水）による流亡と風による飛散がある。農耕地は人類祖先が2000年の年月をかけてまさに血と汗で造りあげてきた人類生存のための最大の歴史的財産である。これをしっかり保全すればその農耕地で永久に農作物の栽培再生産ができる。農耕地が農作物生産基地として安定するためには必ず森林と結合し、草原とも結びつかない限り甚だ不安定になる。所が有機自然農法では農地を拡大しなければ人口を養えないから森林はなくなり、草原は焼き払って農耕地を開拓しなくてはならない。現在でも15億ヘクタールの世界の農地から年間360億トンもの表層土（最も作物栽培によい土）が海に流失しているという。また一説によれば240億トンともいう。この流失はコムギ生産量の多いオーストラリアのコムギ全栽培面積の表層土量になるという。また中国の黄河だけで年間16億トンが黄海に流亡していると述べている。アメリカの農地からは強い風により毎年10億トンの農耕地土壤が飛散し、またアメリカだけで水喰により年間340億トンの表土が海に流出しているとの報告もある。このように世界の農耕地から膨大な量の耕土が失われている。これは人類

にとり大問題である。海に運ばれた、そして風で吹き飛んだ肥沃な土壤は再び農地に還ることは永久にない。表層耕土の流亡、飛散がつけば持続可能な保全型農業など絶対に不可能である。耕土の流亡や飛散は日本のような水田では殆どなく畑作地に多い。有機農法では耕地の拡大と耕耘（機械力又は動物力による）は雨水による流亡量を著しく促し特に無化学肥料栽培は初中期の農作物生育が悪いため耕地の裸地面積が広くかつ長くつづく。これは耕地土壤の作物による被覆力が弱いためである。こうして有機無化学肥料栽培は貴重な耕地表層土壤の流亡～飛散が多くなることが大きな問題である。加えて堆肥原料の森林の落葉集めも国土からの土壤侵食を著しく促進する。

#### 6. 有機農法の根本原理の誤り

有機無化学肥料栽培は既に述べたように「化学肥料は有毒である。これを吸収した農作物は毒を含み、農作物は体が弱り病気になり易くなる。化学肥料で栽培された農作物や飼料作物は勿論毒をもちこれを食べる人間、家畜は健康を害する。その他化学肥料は農耕地土壤を悪化させ土壤が堅くなり反面土壤流亡を起し易い」というものである。もしこの事が真実であれば無化学肥料の有機農法は正しいが、反対に真実でないとすると有機農法の根本原理は根底から崩壊することになる。「真実かどうか？」は実験によって明らかになる。しかも周到な注意の下に長年にわたる実験によってである。英国のローザムステッド農業試験場（世界で最も古い農業試験場の一つで、極めてすぐれた研究を行ってきたことで著名。私も60年以上前に土壤肥料の講義で良く拝聴した記憶がある）。このイギリスの試験場で今から146年前、1852年から

1967年まで116年間の長期に及んで合成化学肥料と一切化学肥料を用いないで、化学肥料に見合う窒素・リン酸・加里を含む自然堆肥肥料との比較試験を行った。この研究は植物栄養学上の最も貴重な研究といわれ「世界農業の宝」とされている。この研究結果は1968年(昭43)に200頁の報告書となり刊行されている。その結論を要約すると、①無肥料区の収量は頗る低く最低の結果を116年間示した。次に化学肥料の中から窒素肥料を除きリン酸・加里肥料だけの区は一切肥料を与えない無肥料区と同じように低収量を示した。堆肥を毎年10a当り3.5トン与えた区と化学肥料(窒素, リン酸, 加里配合区)14kg/10aは堆肥区3.5トン/10aと収量は同一で共に最も高かった。しかし化学肥料配合区の9kg/10aは堆肥3.5トン/10a区より収量はやや少なかったというものである。供試作物はヨーロッパで最も大切なコムギが用いられた。この研究により化学肥料だけ与えて100年以上栽培しても収量は相当する堆肥区に劣らず生育も同等であることが立証された。この実験結果は116年間つづけた結論である。化学肥料は農作物に有害ではなく良好な発育と収量が得られること、土が死ぬなどということも全くないこと、勿論化学肥料栽培区の農作物と堆肥区の農産物に何の差もないことは明らかである。この大研究で判明した新しい別の重要事実がある。100年を超えて堆肥を一切使わずに化学肥料だけで農作物を栽培すると土の中の腐植(主として植物の遺体で分解過程にあるもの)が段々減少し、土が硬くなり土が(土の中の微生物の意味?)死んでしまうと有機農法では述べているが、ローザムステッド農業試験場に30年も試験場長として勤務した世界的な土壤微生物学者として知られる「ラッセル博士」は次のように述

べておられるという。「有機質肥料(堆肥)をいくら多く、長年にわたり施しても土の中の腐植は始めの頃は増えるが、或程度以上は増えない。それはローザムステッドの条件(気象的)では4.4%である。また全く堆肥なしで栽培しても土の中の腐植は一定限度以下にはならない。その限度は1.7%であった。これは誠に大きな発見といえる。この原因についてラッセル博士は「与えられる堆肥が多いと、これを分解する微生物が急激に増加するから或程度以上には土壌中の腐植含量は増えない。反対に化学肥料区のように腐植の追加のない条件では土壌中の腐植分解菌も減少し、分解力が衰えてくるためとしている。これは得られた実験結果の読み方である。筆者はコムギの根は深く広く土壌に濃密に養水分を吸収し地上部を養うわけでその地下根量は大変な量になる。私は植物の根系(根群)に深い興味をもっているがコムギは凡そ2mにも深く根を多数伸し、株元から横に50cm以上極めて密に根が張っている。深さ60cm位までが最も根量が多い。これらの根群はすべて腐植として自動的に土壌に加えられていくことも腐植の或一定量以下にならない一つの原因と考えている。しかしいずれにせよこれは大きな研究成果といえる。以上ローザムステッド農業試験場の一世紀を超えた素晴らしい研究を報告したが、化学肥料だけを100年以上与えつづけても農作物の収量は全く減少しないし、生育も悪くならない。そして土壌は死んだりしないで生きつづけていることが立証された。ただしこれは畑作での実験結果である。それでは終始水を湛えて栽培される水稻の場合は畑作と同じであるかどうか? この研究は日本で行われた。昭和5年から30年間をかけて青森・栃木・香川の3県の農業試験場で実施された。これもまた世界的な

研究結果というべきであろう。ただこの研究報告を拝見すると日本の栽培条件が高温多湿のため、その年毎の病虫害の発生量等にかんがりの変動があり、この研究中は大部分病虫害を制御する良い農薬がなかったために収量は年により変動が著しかった。しかしそれを補正し要約した結果をみるとイギリスの畑作と同じように無堆肥区、無肥料（化学）区は研究期間を通して最低の収量を示した。次に優良な堆肥のみを0.56～1.9トン/10a施した区をみると堆肥施用量の多いほど収量が高まる傾向がみられた。一方化学肥料（窒素は硫酸アンモニア）を毎年5.6kg/10a与えた区は堆肥を毎年1.7トン/10a施した区と同じ収量が得られた。この傾向は30年間同じであった。こうして水田で堆肥を全く使わなくても化学肥料の施用だけで立派に水稻は生育し収量を保持することが明確となり試食の結果食味も全く差がみられなかったし、土が悪化したり固結することもなかったと報じている。以上畑作のイギリス、水稻の日本における研究実験の成果は明らかに有機農法の根本原理である無化学肥料栽培が重大な誤りであることを見事に立証したものと見える。

## 7. 化学肥料施用により病虫害は増えない

多くの有機農法、自然農法の技術書には「化学肥料を用いると病害や虫害が増える」と書いてある。しかしそれは大変な間違いだ。なぜなら有機自然栽培は要するに化学肥料を全く用いない農法である。化学肥料の全くなかった1800年代以前の有機自然農法そのものの時代においても世界中の農民は病気や害虫に悩まされつづけたのが農業の悲しい歴史である。これはすべて有機農法時代の出来事である。今日の化学肥料の成分は堆肥が分解して農作物の吸収する成分

（化学構造）と全く同じものである同じ栄養を食べながら化学肥料の時だけ病原菌が繁殖したり、害虫が増える理由は全くない。堆肥も化学肥料も農作物の必要とする栄養素（窒素・リン・加里）を必要にして十分なだけ与えることにすれば何等の差もない。両者は同じなのである。唯化学肥料は成分%がはっきりしていて計算しやすいが、残念なことに堆肥は材料、熟度、製法等により肥料成分が区々で計算しにくい欠点がある。化学分析して含有量を測定することもできない不便がある。随って堆肥は十分腐熟したものをを用い私もは窒素0.5、リン0.25、加里0.5%とみて施用している。化学肥料に較べて堆肥は取り扱いにくい農業資材といえる。

## 8. 過大な労働力のかかる有機堆肥農法

自然有機農法では化学肥料を一切使わずに堆肥を施せという。もちろん私も堆肥をできるだけ多く用いることには賛成である。問題は堆肥の材料はどこにあるか？ 何しろ畑作で2.5～3.5トン/10a、水田でも1.7トン/10aが必要とされる。もちろん完熟堆肥である。昔は堆肥製造のための堆肥舎をつくり何回も切り返しを行って水分を補給し、分解を助けるため人畜糞尿や僅かな化学窒素肥料を添加したものである。堆肥材料はイネ・ムギ等のワラや雑草類、とくに山林からの落葉が主なもので米糠や油カス、ニワトリの糞等であった。実際にやってみると材料集めから完熟堆肥の製造まで極めて多くの労力がかかる。この完熟堆肥を水田200万ヘクタール、畑地300万ヘクタールに施すとなると田畑平均して2トン/10aとしても1億トンという莫大量になる。その材料集め、運搬、堆肥製造（積み替）、田畑への運搬と散布、土壌混入等実際体験しないものにはこの恐るべき

労働力は分らない。私の子供の頃は堆肥材料はイナワラと山の落葉・刈取雑草が殆どであった。農作物の栄養をつくるために農民は堆肥づくりの過重労働で倒れてしまうばかりでなく生産物（堆肥）は異常なコスト高になる。これでは農家のためにも消費者のためにもならない。現在日本の農村には老人と婦女子が多くなり到底この重労働には耐えない。どこにも化学肥料をやめて1億トンを超える堆肥を造る労働力は全くない。今後は農作物の遺体はできるだけ元の圃場に戻すことで有機物補給は十分である（このときイネワラ等は病虫害をしっかりと防除しないと翌年の発生源となる）。いずれにせよ、化学肥料を使わない学術的根拠は皆無であり労働過多のこの栽培は古代の非能率、非科学的農法の典型といえよう。私は25年間の長い間体験してきた有機農業という惨めな農業を再び日本はもとより世界の農民に強いることは断じてできない。

### 9. 笛吹けどひろがらない有機農法

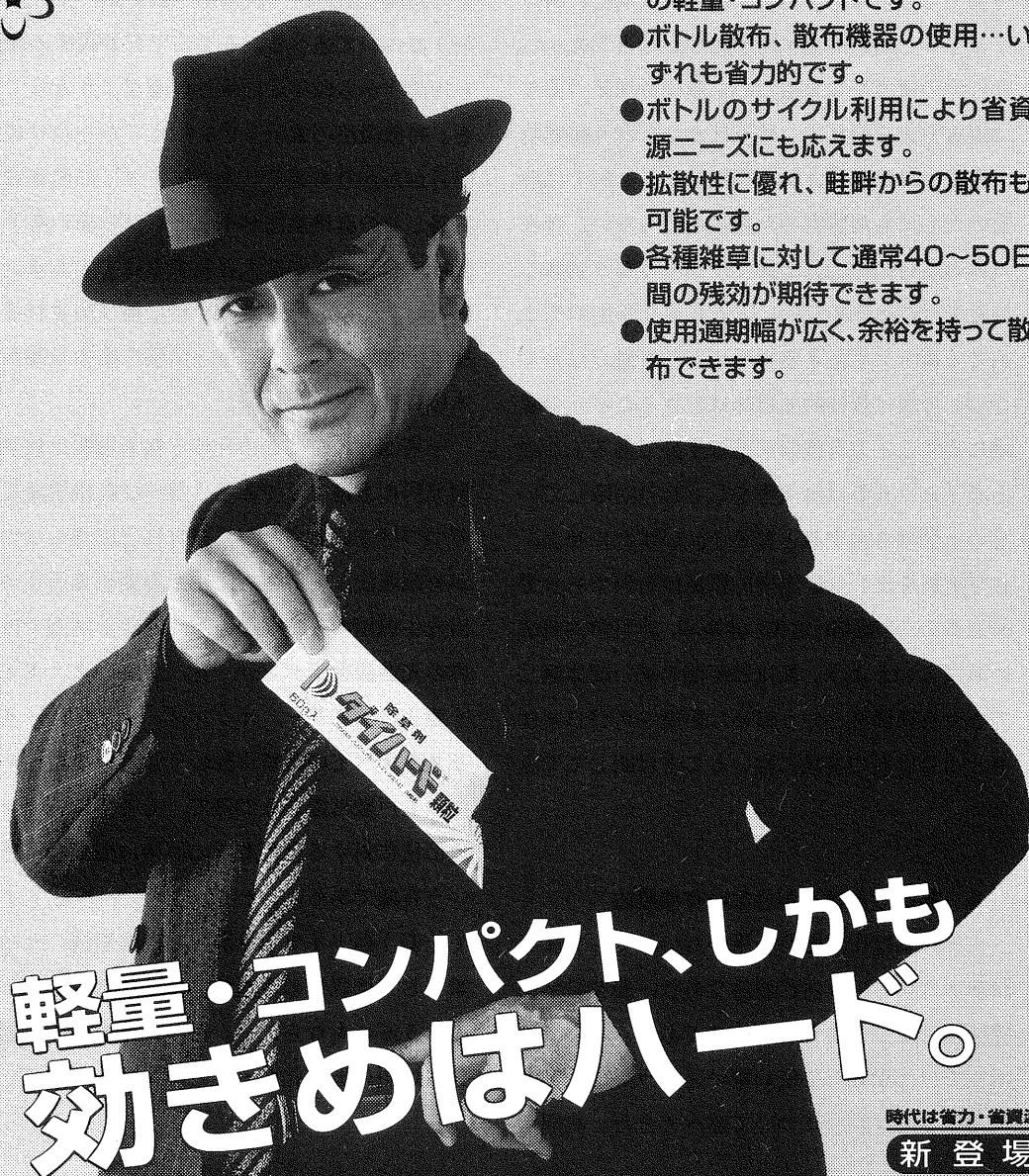
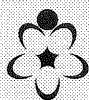
有機農業は化学肥料を用いない。そして農薬は使わないという古代農法であり、農業科学を完全に否定した農作物栽培法である。そのうち本稿では化学肥料を使わないという点についてその基本的な誤りについて述べてきた。次回か

らは農薬（除草剤・殺菌剤・殺虫剤、生長調節剤）について述べる。ところで有機農法の発生（1940）から60年近い年月が過ぎようとしている。有機農法の素晴らしさを唱えてから余りにも年月がかかりすぎる。本当にすべての農業者が共鳴しその有機農法が正しければ物凄い勢で世界中に有機農法が拡大普及するはずである。著名な有機農法の農家を訪ずれ、再び訪ずれると次年度は大幅に有機栽培の面積を縮少し僅か見本園程度になっていた。

一方NHKをはじめ凡ゆる報道機関は無料で何兆円にも達するであろう贅辞を有機農業に送りつづけている。所が「笛吹けど広まらないのが有機農法」である。元残留農薬研究所長の福田先生引用の文献によると1992年の調査では世界の先進農業国デンマーク、フランス、ドイツ（西）、イタリア、オランダ、スペイン、イギリスのすべての農家戸数のうち有機農業をやっている戸数は僅か0.23%で、その7か国の全農地面積に対する有機農業の面積は僅か0.45%という有様である。しかもデンマークとドイツ（（旧）西ドイツ）は農産物価格維持のため政策として低収量の有機農業に補助金を支出しても0.5%にもならない。この有機農法の実態が分れば更に低落化することは明らかである。

### ● 訂正とお詫び

「植調」第31巻第10号40頁「新登録薬剤紹介」ジョイスター、ジョイスターLフロアブルの中の成分・作用特性：の2～3行目にかけて、ダウ・ケミカル日本株式会社とあるのをダウ・アグロサイエンス社と訂正してお詫びいたします。



- 10アール当たり薬剤量わずか60gの軽量・コンパクトです。
- ボトル散布、散布機器の使用…いずれも省力的です。
- ボトルのサイクル利用により省資源ニーズにも応えます。
- 拡散性に優れ、畦畔からの散布も可能です。
- 各種雑草に対して通常40～50日間の残効が期待できます。
- 使用適期幅が広く、余裕を持って散布できます。

軽量・コンパクト、しかも  
効きめはハード。

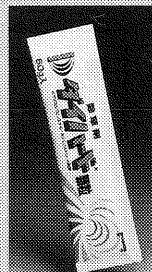
水田初・中期一発処理除草剤

**ダイハード**® 顆粒

【新剤型フロアブル】

時代は省力・省資源

新登場



ダイハード協議会

塩野義製薬株式会社 八洲化学工業株式会社 永光化成株式会社  
事務局 日産化学工業株式会社 〒101-0054 東京都千代田区神田錦町3-7-1

## 平成9年度春夏作野菜花き関係 除草剤・生育調節剤試験成績概要

財団法人 日本植物調節剤研究協会

平成9年度春夏作野菜花き関係除草剤・生育調節剤試験成績検討会は、平成9年12月16日(火)～17日(水)に池之端文化センターにおいて開催された。

この検討会には、試験場関係者等計112名が参集し、前回未検討を含め除草剤29薬剤(延べ39作物、

129点)、生育調節剤13薬剤(延べ16作物、21点)、生育調節資材1資材(延べ4作物、9点)について、試験成績の報告後、慎重な検討が行われた。

その判定結果および使用基準については、次表に示す通りである。

### 平成9年度 春夏作野菜花き関係委託試験判定一覧

#### A. 野菜関係除草剤

| 薬剤名<br>(商品名)<br>[委託者]                                                       | 有効成分および<br>含有率(%)                                      | 作物名<br>(品種) | 試験の<br>種類<br>( )=中間または<br>新・継<br>の別 | 試験実施場所<br>( )=中間または<br>試験実施中(数)             | 試験設計 [作型; 対象雑草]<br>(処理時期; 散布薬量(水量L)/a<br>; 処理方法等)                                                           | 今回<br>判定              | 判 定 内 容                                                                                                                                         |
|-----------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------|-------------|-------------------------------------|---------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1. B J L - 8 6 1<br>(ハースミド、ガースト)<br><br>[ダゾメット研究会<br>(事:ヒ-エ-エスI) ジェ<br>ハソ]] | ダゾメット 98%                                              | 野菜<br>一般    | 適用性<br>継 続                          | 長野野菜花き<br>奈良農試<br>(鳥取園試)                    | [一任; 一年生雑草全般]<br>・定植20日前; 2000, 3000g;<br>全面土壌混和                                                            | 実                     | 実) [春～夏播き栽培;<br>一年生雑草全般]<br>・播種または定植21日以前<br>2000～3000g/a<br>土壌混和処理<br>注) 深さ15～25cmに土壌と十分<br>混和後ビニル被覆、7～14日<br>後被覆を除去して少なくとも<br>2回以上の耕起によるガス抜き。 |
| 2. C G - 1 1 9 α<br>乳<br><br>[ノバルティス アグロ]                                   | S-メトラクロロール<br>915g/L                                   | 野菜<br>一般    | 作用性<br>新 規                          | 植調研                                         | [露地; 一年生雑草全般]<br>・定植後または播種後<br>雑草発生前; 2, 4, 6, 12mL<10>;<br>土壌処理。<br>比) デュアル乳<br>6, 12, 18, 36mL<10>; 土壌処理。 | —                     |                                                                                                                                                 |
|                                                                             |                                                        | キャベ<br>ツ    | 適用性<br>新 規                          | 植調岩手<br>植調熊本第二                              | [露地; 一年生雑草全般]<br>・定植後 雑草発生前;<br>4, 6g<10>; 土壌処理。<br>比) デュアル乳<br>12, 18mL<10>; 土壌処理。                         | 継                     | 継) 効果、薬害の確認。                                                                                                                                    |
| 3. K U H - 9 0 1<br>(クリアターン)                                                | ベンチカーブ<br>細粒<br>リニロン<br>ベンチイメタリン<br>8%<br>1.2%<br>0.8% | ネギ          | 適用性<br>新 規                          | 植調研<br>長野野菜花き<br>(鳥取園試)<br>(大分農技セ)<br>鹿児島大隅 | [露地; 一年生雑草全般]<br>・定植後 雑草発生前; 400, 500g;<br>全面土壌処理。                                                          | 継                     | 継) 効果、薬害の確認。                                                                                                                                    |
|                                                                             |                                                        | スイート<br>コーン | 適用性<br>継 続                          | 長野南信                                        | [露地; 一年生雑草全般]<br>・播種後 雑草発生前; 400, 500g;<br>全面土壌処理。                                                          | 実<br>前<br>年<br>通<br>り | 実) [春～夏播露地普通(マメ栽培<br>は除く); 一年生雑草全般]<br>・播種後 雑草発生前<br>400～500g/a<br>全面土壌処理。<br>寒地を除く<br>注) 砂土を除く                                                 |
| 4. K U H - 9 0 1<br>(クリアターン)                                                | ベンチカーブ<br>乳<br>リニロン<br>ベンチイメタリン<br>50%<br>7.5%<br>0.8% | スイート<br>コーン | 適用性<br>継 続                          | 長野南信                                        | [露地; 一年生雑草全般]<br>・播種後 雑草発生前;<br>60, 70, 80mL<10>;<br>全面土壌処理。                                                | 実<br>前<br>年<br>通<br>り | 実) [春～夏播露地普通(マメ栽培<br>は除く); 一年生雑草全般]<br>・播種後 雑草発生前<br>60～80mL<10L>/a<br>全面土壌処理。<br>注) 砂土を除く                                                      |

## A. 野菜関係除草剤 つづき

| 薬 剤 名<br>(商品名)<br>[委託者]                                      | 有効成分および<br>含有率(%)              | 作物名<br>(品種) | 試験の<br>種 類<br>新・継<br>の 別 | 試験実施場所<br>( )=中間または<br>試験実施中(数)                      | 試験設計 [作型; 対象雑草]<br>(処理時期; 散布薬量(水量L)/a<br>; 処理方法等)                                                                                                                                                          | 今<br>回<br>判<br>定 | 判 定 内 容                                                                                                         |
|--------------------------------------------------------------|--------------------------------|-------------|--------------------------|------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 5. MCN-8501<br>(キルパー)<br><br>[キルパ-協議会<br>開発普及部会<br>(事;三菱商事)] | ナトリウム・メチル・チオカーバ<br>ート 30%<br>液 | 野菜<br>一般    | 適用性<br>継 続               | 長野南信<br>奈良農試<br>(鳥取園試)<br>福岡総農試<br>鹿児島大隅<br><br>(4)  | [一任;一年生雑草全般]<br>・播種または植付21日前まで<br>2000, 3000, 4000mL;土壌処理.<br>比)臭化メチル                                                                                                                                      | 実                | 実)[春~夏播栽培;<br>一年生雑草全般]<br>・播種または定植20日前<br>4000mL/a<br>土壌灌注処理<br>注)深さ15cmに注入しビニル<br>被覆、10日後に被覆を除去し<br>耕起によるガス抜き。 |
| 6. MON-93A<br>(ブロンコ)<br><br>[日本モンサント]                        | グリホサート7モノウム塩<br>33%<br>液       | キャベ<br>ツ    | 適用性<br>継 続               | 植調岩手<br>千葉東総野菜<br>(香川三木)<br><br>(3)                  | [露地;一年生雑草全般]<br>・耕起7日以前 雑草生育期<br>25mL<2.5, 5>, 50mL<5>;<br>茎葉処理.<br>比)ラウンドアップ<br>25mL<2.5>;茎葉処理.                                                                                                           | 実                | 実)[春~夏播露地;<br>一年生雑草全般]<br>・耕起7日以前 雑草生育期<br>2.5~5.0mL<2.5~5L>/a<br>(2.5L散布は専用ノズル使用)<br>茎葉処理.                     |
| 7. MON-96A<br><br>[日本モンサント]                                  | グリホサート7モノウム塩<br>41%<br>液       | キャベ<br>ツ    | 適用性<br>新 規               | 植調岩手<br>千葉東総野菜<br>(長野野菜花き)<br>三重農技セ<br>植調熊本第二<br>(5) | [露地;一年生雑草全般]<br>・耕起7日以前 雑草生育期<br>25mL<2.5, 5, 10>, 50mL<2.5, 10>;<br>茎葉処理.<br>比)ラウンドアップ<br>25mL<2.5>;茎葉処理.                                                                                                 | 継                | 継)効果、薬害の確認。                                                                                                     |
| 8. MW-851<br>(ハービー液)<br><br>[明治製菓]                           | ビアラホス 18%<br>液                 | ピーマ<br>ン    | 適用性<br>継 続               | 岩手農研セ南部<br>長野中信<br>広島農技セ<br><br>(3)                  | [露地普通;一年生雑草全般]<br>・定植前 雑草生育期<br>30, 40, 50mL<10~15>;<br>茎葉処理.<br>比)ブリグロックス<br>60mL<10~15>;茎葉処理.<br><br>[露地普通;一年生雑草全般]<br>・定植後 畦間雑草生育期<br>30, 40, 50mL<10~15>;<br>畦間茎葉処理.<br>比)ブリグロックス<br>60mL<10~15>;茎葉処理. | 実                | 実)[春~夏播き露地普通;<br>一年生雑草全般]<br>・定植前<br>・定植後(畦間)<br>雑草生育期(草丈20cm以下)<br>30~50mL<10~15L>/a<br>茎葉処理.                  |
|                                                              |                                | ニンニ<br>ク    | 適用性<br>新 規               | (花・野菜技セ)<br>(青森畑園試)<br>(香川農試)<br>(長崎総林試)<br><br>(4)  | [露地普通;一年生雑草全般]<br>・定植前 雑草生育期<br>30, 40, 50mL<10~15>;<br>茎葉処理.<br>比)ブリグロックス<br>60mL<10~15>;茎葉処理.<br><br>[露地普通;一年生雑草全般]<br>・定植後 畦間雑草生育期<br>30, 40, 50mL<10~15>;<br>畦間茎葉処理.<br>比)ブリグロックス<br>60mL<10~15>;茎葉処理. | 保<br>留           |                                                                                                                 |
| 9. NC-360<br>フロアブル<br><br>(つづく)                              | キザ・ロキソ・エチル<br>7%<br>タマネギ       | タマ<br>ネギ    | 作用性<br>新 規               | 植調北海道<br>植調十勝<br><br>(2)                             | [露地;一年生イネ科雑草<br>(但しスノオビを除く)]<br>・イネ科雑草3~6葉期<br>・イネ科雑草7~8葉期<br>20, 30, 60mL<10>;<br>全面茎葉処理.<br>比)ナブ乳                                                                                                        | 一                |                                                                                                                 |
|                                                              |                                |             | 適用性<br>新 規               | 北海道農試<br>花・野菜技セ<br>北見農試<br><br>(3)                   | [露地;一年生イネ科雑草<br>(但しスノオビを除く)]<br>・イネ科雑草3~6葉期<br>・イネ科雑草7~8葉期<br>20, 25, 30mL<10>;<br>全面茎葉処理.<br>比)ナブ乳                                                                                                        | 継                | 継)効果、薬害の確認。                                                                                                     |

A. 野菜関係除草剤 つづき

| 薬 剤 名<br>(商品名)<br>[委託者]                             | 有効成分および<br>含有率(%) | 作物名<br>(品種) | 試験の<br>種 類<br>新・継<br>の 別 | 試験実施場所<br>( )=中間または<br>試験実施中(数)                                                 | 試験設計 [作型; 対象雑草]<br>(処理時期; 散布薬量<水量L>/a<br>; 処理方法等)                                                                                | 今<br>回<br>判<br>定 | 判 定 内 容                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |
|-----------------------------------------------------|-------------------|-------------|--------------------------|---------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 9. NC-360<br>フロアブル<br>(つづき)<br><br>[日産化学工業]         |                   | ニン<br>ジン    | 作用性<br>新 規               | 植調研北海道<br>植調十勝<br><br>(2)                                                       | [露地; 一年生イネ科雑草<br>(但しス <sup>*</sup> メ <sup>*</sup> カビ <sup>*</sup> ラを除く)]<br>・イネ科雑草3~6葉期<br>20, 30, 60mL<10>;<br>全面茎葉処理.<br>比)ナブ乳 | -                |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |
|                                                     |                   |             | 適用性<br>新 規               | 道南農試<br>十勝農試<br>北見農試<br><br>(3)                                                 | [露地; 一年生イネ科雑草<br>(但しス <sup>*</sup> メ <sup>*</sup> カビ <sup>*</sup> ラを除く)]<br>・イネ科雑草3~6葉期<br>20, 25, 30mL<10>;<br>全面茎葉処理.<br>比)ナブ乳 | 継                | 継)効果、被害の確認.                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |
| 10. NH-9301<br>フロアブル<br><br>[日本農薬]                  | ピラフルフェニル 2%       | タマ<br>ネギ    | 作用性<br>新 規               | 北海道農試<br>植調十勝<br>(植調研)<br><br>(3)                                               | [露地普通; 一年生広葉雑草]<br>・広葉雑草2~4葉期<br>5, 10, 20mL<10>; 全面茎葉処理.<br>比)アクチノール乳<br>15mL<10>; 全面茎葉処理.                                      | -                |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |
|                                                     |                   |             | 適用性<br>新 規               | (栃木農試)<br>(香川農試)<br>(愛知総農試)<br>(兵庫淡路)<br>(佐賀白石) (5)                             | [露地普通; 一年生広葉雑草]<br>・広葉雑草2~4葉期<br>5, 10, 20mL<10>; 全面茎葉処理.<br>比)アクチノール乳<br>15mL<10>; 全面茎葉処理.                                      | 保<br>留           |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |
| 11. S-28U<br>(クレマトU粒)<br>[U-クレマト普及会(事<br>; 住友化学工業)] | ブタミホス 3%          | ニラ          | 適用性<br>継 続               | (植調研)<br>栃木農試<br>鹿児島大隅<br><br>(3)                                               | [露地普通; 一年生雑草全般<br>(但しサ <sup>*</sup> 科, フコ <sup>*</sup> 科を除く)]<br>・定植後 雑草発生前<br>400, 500, 600g; 全面土壌処理.                           | 実                | 実)[春~夏播露地普通; 一年生<br>雑草全般(サ <sup>*</sup> 科, フコ <sup>*</sup> 科を除く)]<br>・定植後 雑草発生前<br>400~600g<br>全面土壌処理.                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |
| 12. S-3263<br>乳<br><br>[住友化学工業]                     | クレトジム 12%         | タマ<br>ネギ    | 適用性<br>継 続               | 北海道農試<br>花・野菜技セ<br>北見農試<br>(愛知総農試)<br>(兵庫淡路)<br><br>(香川農試)<br>(佐賀白石)<br><br>(7) | [露地普通; 一年生イネ科雑草]<br>・イネ科雑草2~5葉期<br>・イネ科雑草6~7葉期<br>5, 7.5, 10mL<10>;<br>全面茎葉処理.<br>比)ナブ乳                                          | 実<br>・<br>継      | 実)[春播露地移植;<br>一年生イネ科雑草]<br>・イネ科雑草2~5葉期<br>5~10mL<10L>/a<br>全面茎葉処理<br>注)<br>イネ科雑草優占圃場で使用する。<br>ス <sup>*</sup> メ <sup>*</sup> カビ <sup>*</sup> ラ <sup>*</sup> 優占圃場では7.5~<br>10mLで使用する。<br>広葉雑草が発生する場合は、既<br>登録土壌処理剤との体系処理<br>で使用する。<br>イネ科雑草6~7葉期<br>7.5~10mL<10L>/a<br>全面茎葉処理.<br>注)<br>イネ科雑草優占圃場で使用する。<br>ス <sup>*</sup> メ <sup>*</sup> カビ <sup>*</sup> ラ <sup>*</sup> 優占圃場では10mL<br>で使用する。<br>広葉雑草が発生する場合は、既<br>登録土壌処理剤との体系処理<br>で使用する。<br>継)秋まきでの効果の確認. |
|                                                     |                   | ニン<br>ジン    | 適用性<br>継 続               | 道南農試<br>十勝農試<br>北見農試<br>青森農試<br>(愛知総農試)<br>(長崎総林試)<br><br>(6)                   | [露地普通; 一年生イネ科雑草]<br>・イネ科雑草2~5葉期<br>5, 7.5, 10mL<10>;<br>全面茎葉処理.<br>比)ナブ乳                                                         | 実                | 実)[春~夏播露地普通;<br>一年生イネ科雑草]<br>・イネ科雑草2~5葉期<br>5~10mL<10L><br>全面茎葉処理.<br>注)<br>ス <sup>*</sup> メ <sup>*</sup> カビ <sup>*</sup> ラ <sup>*</sup> 優占圃場では7.5~<br>10mLで使用する。<br>イネ科雑草優占圃場で使用する。<br>広葉雑草が発生する場合は、既<br>登録土壌処理剤との体系処理<br>で使用する。                                                                                                                                                                                                                        |

## A. 野菜関係除草剤 つづき

| 薬剤名<br>(商品名)<br>[委託者]       | 有効成分および<br>含有率(%)                  | 作物名<br>(品種) | 試験の<br>種類<br>新・継<br>の別 | 試験実施場所<br>( )=中間または<br>試験実施中(数)                     | 試験設計 [作型; 対象雑草]<br>(処理時期; 散布薬量<水量L>/a<br>; 処理方法等)                                                                                                     | 今回<br>判定  | 判定内容                                                                                                                                            |
|-----------------------------|------------------------------------|-------------|------------------------|-----------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 13. S-604<br>(セレクト乳)        | クレトジム 23%                          | タマネギ        | 適用性<br>継続              | 花・野菜技セ                                              | [露地普通; 一年生雑草全般]<br>・雑草3~5葉期<br>慣行広葉剤+5.7.5mL<10>                                                                                                      | 実<br>前年通り | 実)[春播露地普通;<br>一年生イネ科雑草]<br>・イネ科雑草3~5葉期<br>5~7.5mL<10L>/a<br>全面茎葉処理.<br>注)移植に限る.<br>イネ科雑草優占圃場で使用する.<br>広葉雑草が発生する場合は、既<br>登録土壌処理剤との体系処理<br>で使用する。 |
| [住友化学工業]                    |                                    |             |                        | (1)                                                 |                                                                                                                                                       |           |                                                                                                                                                 |
| 14. SB-508<br>(フィールドスター乳)   | ジメテナミド 76%                         | キャベツ        | 適用性<br>継続              | 上川農試                                                | [露地普通; 一年生イネ科雑草、<br>ハコバ、ヒコ類、スベリヒユ、カワリグサ科等<br>(但し7ガサ科、7アサ科雑草は<br>除く)]<br>・定植後 雑草発生前;<br>7.5, 10, 15mL<10>;<br>全面土壌処理.<br>比)ラッソー乳<br>20mL<10>; 全面土壌処理.  | 実・<br>継   | 実)[春~夏播露地移植;<br>一年生イネ科雑草、ハコバ、ヒコ類]<br>・定植後 雑草発生前<br>7.5~15mL<10L>/a<br>全面土壌処理.<br>注)砂土を除く<br>継)草種の拡大                                             |
|                             |                                    | スイト<br>コーン  | 適用性<br>継続              | 花・野菜技セ<br>植調北海道<br>植調十勝<br>群馬園試<br>長野野菜花き<br>植調熊本第二 | [露地普通; 一年生イネ科雑草、<br>ハコバ、ヒコ類、スベリヒユ、カワリグサ科等<br>(但し7ガサ科、7アサ科雑草は<br>除く)]<br>・播種後 雑草発生前;<br>10, 12.5, 15mL<10>;<br>全面土壌処理.<br>比)ラッソー乳<br>20mL<10>; 全面土壌処理. | 実         | 実)[春播露地普通; 一年生雑草<br>全般(7ガサ科、7アサ科は除く)]<br>・播種後 雑草発生前<br>10~15mL<10L>/a<br>全面土壌処理.<br>注)砂土を除く                                                     |
| [塩野義製薬]                     |                                    |             |                        | (6)                                                 |                                                                                                                                                       |           |                                                                                                                                                 |
| 15. SC-224<br>(タッチダウン)      | グリホサートトリメナム塩 38%                   | キャベツ        | 適用性<br>継続              | 青森農試<br>千葉東総野菜<br>(長野野菜花き)<br>三重農技セ<br>香川三木         | [露地普通; 一年生雑草全般]<br>・耕起または定植7日以前<br>雑草生育期<br>20, 30, 40mL<10>; 茎葉処理.<br>比)ラウンドアップ<br>25mL<10>; 茎葉処理.                                                   | 実         | 実)[春~夏播露地移植;<br>一年生雑草全般]<br>・耕起または定植7日以前<br>雑草生育期<br>20~40mL<10L>/a<br>茎葉処理.                                                                    |
|                             |                                    | ハク<br>サイ    | 適用性<br>新規              | 植調岩手<br>植調研<br>長野野菜花き<br>奈良農試<br>植調熊本第二             | [露地普通; 一年生雑草全般]<br>・耕起または定植7日以前<br>雑草生育期<br>20, 30, 40mL<10>; 茎葉処理.<br>比)ラウンドアップ<br>25mL<10>; 茎葉処理.                                                   | 継         | 継)効果、薬害の確認.                                                                                                                                     |
|                             |                                    | ダイ<br>コン    | 適用性<br>継続              | 植調岩手<br>植調研<br>岐阜農総研<br>植調熊本第二<br>(宮崎総農試畑圃)         | [露地普通; 一年生雑草全般]<br>・耕起または播種7日以前<br>雑草生育期<br>20, 30, 40mL<10>; 茎葉処理.<br>比)ラウンドアップ<br>25mL<10>; 茎葉処理.                                                   | 実         | 実)[春~夏播露地普通;<br>一年生雑草全般]<br>・耕起または播種7日以前<br>雑草生育期<br>20~40mL<10L>/a<br>茎葉処理.                                                                    |
| [タッチダウン協議会<br>(事; ゼネカ)]     |                                    |             |                        | (5)                                                 |                                                                                                                                                       |           |                                                                                                                                                 |
| 16. SSF-107<br>(フィールドワックス油) | 1,3-ジクロロプロパン 40%<br>メチルイソシアナート 20% | 野菜<br>一般    | 適用性<br>継続              | 植調研<br>長野南信<br>(鳥取園試)<br>岡山農試<br>鹿児島大隅              | [一任; 一年生雑草全般]<br>・播種または植付21日前まで<br>2000, 3000, 4000mL; 土壌処理.                                                                                          | 実         | 実)[春~夏播栽培;<br>一年生雑草全般]<br>・播種または定植21日前<br>2000~4000mL/a<br>土壌灌注処理.<br>注)深さ12~15cmに注入しビニ<br>ル被覆、7~14日後に被覆を除<br>去し耕起によるガス抜き                       |
| [塩野義製薬]                     |                                    |             |                        | (5)                                                 |                                                                                                                                                       |           |                                                                                                                                                 |
| 17. WOC-01<br>(三共グリホサート液)   | グリホサートイソプロピル塩 41%                  | キャベツ        | 適用性<br>継続              | 青森農試<br>千葉東総野菜<br>長野中宿<br>三重農技セ<br>植調熊本第二           | [露地普通; 一年生雑草全般]<br>・耕起または定植7日以前<br>雑草生育期<br>25, 50mL<10>; 茎葉処理.<br>比)ラウンドアップ<br>25mL<10>; 茎葉処理.                                                       | 実         | 実)[春~夏播露地移植;<br>一年生雑草全般]<br>・耕起または定植7日以前<br>雑草生育期<br>25~50mL<10L>/a<br>茎葉処理.                                                                    |
| (つづく)                       |                                    |             |                        | (5)                                                 |                                                                                                                                                       |           |                                                                                                                                                 |

## A. 野菜関係除草剤 つづき

| 薬 剤 名<br>(商品名)<br>[委託者]                                      | 有効成分および<br>含有率(%) | 作物名<br>(品種) | 試験の<br>種 類<br>新・継<br>の 別 | 試験実施場所<br>( )=中間または<br>試験実施中(数)                    | 試験設計 [作型; 対象雑草]<br>(処理時期; 散布薬量(水量L)/a<br>; 処理方法等)                                                                                                                 | 今<br>回<br>判<br>定 | 判 定 内 容                                                                                                                              |
|--------------------------------------------------------------|-------------------|-------------|--------------------------|----------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 17. WOC-01<br>(三共リサーチ液)<br>(つづき)<br>[三共]                     |                   | ダイ<br>コン    | 適用性<br>継 続               | 植調岩手<br>植調研<br>岐阜農総研<br>植調熊本第二<br>(宮崎総農試畑園)<br>(5) | [露地普通; 一年生雑草全般]<br>・耕起または播種7日以前<br>雑草生育期<br>25.50mL<10>; 茎葉処理.<br>比)ラウンドアップ<br>25mL<10>; 茎葉処理.                                                                    | 実                | 実)[春～夏播露地普通;<br>一年生雑草全般]<br>・耕起または播種7日以前<br>雑草生育期<br>25～50mL<10L>/a<br>茎葉処理.                                                         |
| 18. クロルピクリン<br>液<br>(トシヨウケリン、<br>カビキラー、トコロナール)<br>[カビキラー工業会] | クロルピクリン<br>80%    | 野菜<br>一般    | 適用性<br>継 続               | 長野南信<br>(鳥取園試)<br>岡山農試<br>鹿児島大隅<br>(4)             | [一任; 一年生雑草全般]<br>・植付(播種)前<br>2000, 3000mL; 土壌灌注<br>比)土壌用メチル7・ロマイド(98.5%)<br>3000mL                                                                                | 実・<br>継          | 実)[春～夏播栽培;<br>一年生雑草全般]<br>・播種または定植15～20日前<br>3000mL/a<br>土壌灌注処理.<br>注)処理後ビニル被覆、7～10日<br>後ガスが抜けたことを確認し<br>て播種または定植する.<br>継)低薬量での効果の確認 |
| 19. シン酸ナトリウム<br>水溶<br>(シアノン)<br>[アグロス]                       | シン酸ナトリウム<br>80%   | キャベ<br>ツ    | 適用性<br>継 続               | 群馬高冷地<br>愛知農総試<br>山口農試<br>(3)                      | [露地普通; 一年生雑草全般]<br>・定植活着後<br>雑草生育期(草丈5cm前後)<br>300g<10>; 茎葉処理.                                                                                                    | 実                | 実)[春～夏播露地移植;<br>一年生雑草全般]<br>・定植後<br>雑草生育期(草丈5cm以下)<br>300g<10L>/a<br>畦間茎葉処理.<br>注)作物にかからないように散<br>布する.                               |
| 20. プロピザミド<br>水和<br>(カーブ水和)<br>[三洋貿易]                        | プロピザミド<br>50%     | キャベ<br>ツ    | 適用性<br>継 続               | 植調岩手<br>群馬高冷地<br>千葉東総野菜<br>奈良農試<br>大分農技セ<br>(5)    | [春～夏播露地移植;<br>一年生雑草全般]<br>・定植後 雑草発生前<br>30.40g<10>; 土壌処理.                                                                                                         | 実                | 実)[春～夏播露地移植;<br>一年生雑草全般]<br>・定植後 雑草発生前<br>30～40g<10L>/a<br>全面土壌処理.                                                                   |
|                                                              |                   | ゴボウ         | 適用性<br>継 続               | 道南農試<br>十勝農試<br>(2)                                | [露地(早春播きベタガケ, 早春播<br>きベタガケなし, 晩春播きベタガケ<br>なし; 一年生雑草全般]<br>・播種後 雑草発生前;<br>(早春播きベタガケ)<br>10, 15, 20g<10>; 土壌処理.<br>(早春播き, 晩春播き<br>ベタガケなし)<br>15, 20, 30g<10>; 土壌処理. | 実・<br>継          | 実)[春播露地普通;<br>一年生雑草全般]<br>・播種後 雑草発生前<br>15～30g<10L>/a 寒地<br>30g<10L>/a 寒冷地以西<br>全面土壌処理<br>継)薬害の確認.<br>べたかけ栽培での効果、薬害の<br>確認           |
|                                                              |                   |             | 適用性<br>継 続               | 青森農試<br>新潟農総研<br>茨城農総セ<br>奈良高原<br>宮崎総農試畑園<br>(5)   | [露地; 一年生雑草全般]<br>・播種後 雑草発生前<br>30.40g<10>; 土壌処理.                                                                                                                  |                  |                                                                                                                                      |

## B. 平成8年度 秋冬作分 野菜関係除草剤

| 薬 剤 名<br>(商品名)<br>[委託者]          | 有効成分および<br>含有率(%)                   | 作物名<br>(品種) | 試験の<br>種 類<br>新・継<br>の 別 | 試験実施場所<br>( )=中間または<br>試験実施中(数) | 試験設計 [作型; 対象雑草]<br>(処理時期; 散布薬量(水量L)/a<br>; 処理方法等)                                                | 今<br>回<br>判<br>定 | 判 定 内 容 |
|----------------------------------|-------------------------------------|-------------|--------------------------|---------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------|---------|
| 1. SSH-130<br>(コンボラル)<br>[塩野義製薬] | トリフルラリン<br>1.2%<br>ペンディメタリン<br>1.2% | ニンニ<br>ク    | 適用性<br>継 続               | 青森畑園<br>(1)                     | [露地; 一年生雑草全般<br>(但しツグサ、キリ科を除く)]<br>・植付前および植付後<br>雑草発生前;<br>400, 500, 600g; 全面土壌処理.<br>比)ゴーゴーサン細粒 | 実                | 前回判定済   |

## C. 野菜関係生育調節剤

| 薬剤名<br>(商品名)<br>[委託者]                       | 有効成分および<br>含有率(%)                                                              | 作物名<br>(品種) | 試験の<br>種・類<br>新・継<br>の 別 | 試験実施場所<br>( )=中間または<br>試験実施中(数)                   | 試験設計 [作型; 対象雑草]<br>(処理時期; 散布薬量<水量L>/a<br>; 処理方法等)                                                                                                          | 今回<br>判定 | 判 定 内 容                                                                                              |
|---------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------|-------------|--------------------------|---------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------|------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1. CE-911<br>液<br>(スペースエージ)<br><br>[クロレラ工業] | クロレラ抽出物<br>0.26%                                                               | イチゴ         | 適用性<br>継 続               | 島根農試<br>(香川三木)<br>(佐川農経研セ)<br><br>(3)             | [促成栽培;<br>生育促進, 花芽分化促進]<br>・低温暗黒処理前7日毎4回, 定<br>植後7日毎5回;<br>500, 1000, 1500倍<br>※育苗期 <100mL/鉢><br>定植後 <5L/㎡>                                                | 保<br>留   |                                                                                                      |
| 2. HT-9601<br>培養土<br><br>[多木化学]             | FPT-9601:<br>10 <sup>7</sup> CFU/培養土1<br>FPH-9601:<br>10 <sup>7</sup> CFU/培養土1 | 野菜<br>一般    | 作用性<br>新 規               | (野菜茶試)<br><br>(1)                                 | [一任;<br>セル成型育苗時の徒長防止]<br>別途協議                                                                                                                              | —        |                                                                                                      |
|                                             |                                                                                | トマト         | 適用性<br>新 規               | 長野中信<br>兵庫中央農技セ<br>広島農技セ<br>(3)                   | [抑制栽培;<br>セル成型育苗時の徒長防止]<br>・対照区とHT-9601区<br>4L/セルトレイ(200穴)                                                                                                 | 継        | 継)効果の確認。                                                                                             |
| 3. NOK-1<br>液<br><br>[NOK]                  | E.Cloacase Noll-5<br>株培養液                                                      | 野菜<br>一般    | 作用性<br>継 続               | 野菜茶試<br><br>(1)                                   | [一任; 育苗初期に対する効果]<br>・種子浸漬<br>100, 200, 500, 1000倍<br><br>[一任; 育苗初期に対する効果]<br>・発芽初期とその1週間後;<br>500, 1000倍<0.2L/㎡>;<br>茎葉散布。                                 | —        |                                                                                                      |
| 4. OKY-500<br>液<br><br>[アルム]                | 12種類生薬抽出物                                                                      | ネギ          | 適用性<br>継 続               | (鳥取園試)<br>(大分農技セ)<br><br>(2)                      | [根深ネギ栽培;<br>育苗期および圃場での<br>生育促進と良品質生産性]<br>・育苗期~定植~収穫期;<br>500, 1000倍<br>※育苗期 仮植時から10日前<br>希釈液を<1L/㎡>使用<br>定植時~収穫期 定植直後から<br>10日毎2回、その後15日毎希釈<br>液を<1L/㎡>使用 |          |                                                                                                      |
| 5. PB-50<br>細粒<br>(はなみきん)<br><br>[保土谷アグロス]  | ベニシロム・ヒライ菌                                                                     | ピーマ<br>ン    | 作用性<br>新 規               | 長野野菜花き<br><br>(1)                                 | [促成栽培; 生育促進]<br>・鉢上げ時用土混和<br>2, 4g/L用土                                                                                                                     | —        |                                                                                                      |
|                                             |                                                                                | ミニ<br>トマト   | 作用性<br>新 規               | 長野野菜花き<br><br>(1)                                 | [促成栽培; 生育促進]<br>・鉢上げ時用土混和<br>2, 4g/L用土                                                                                                                     |          |                                                                                                      |
| 6. S-327D<br>液<br>(スミセブンプ)<br><br>[住友化学工業]  | ウニコナゾールP<br>0.025%                                                             | キャベ<br>ツ    | 適用性<br>継 続               | 花・野菜技セ<br>上川農試<br>三重農技セ<br>兵庫中央農技セ<br>島根農試<br>(5) | [露地移植;<br>育苗期の伸長抑制効果]<br>・本葉2葉期<br>250, 500, 1000倍<br><50, 100mL/トレイ><br>茎葉処理。                                                                             | 実        | 実)[露地移植栽培;<br>育苗期の伸長抑制効果]<br>・定植前本葉2~3葉期<br>250~1000倍<br><50~100mL/セルトレイ><br>茎葉処理。<br>注)生育が遅れる場合がある。 |
| 7. ヒトキシイソキサザール<br>液<br>(タチガレン)<br><br>[三共]  | ヒトキシイソキサザール<br>30%                                                             | サト<br>イモ    | 適用性<br>継 続               | 植調研<br>千葉北総畑作営農<br>宮崎畑園<br>鹿児島大隅<br>鹿児島徳之島<br>(5) | [早刈りマルチ栽培; 個数の増加<br>およびいもの肥大促進効果]<br>・500, 1000倍<br>30分浸漬、60分浸漬<br>種いも浸漬処理。                                                                                | 継        | 継)効果の確認。                                                                                             |

## D. 野菜関係生育調節資材

| 薬剤名<br>(商品名)<br>[委託者]        | 有効成分および<br>含有率(%)  | 作物名<br>(品種) | 試験の<br>種類・継<br>続の別 | 試験実施場所<br>( )=中間または<br>試験実施中(数) | 試験設計 [作型; 対象雑草]<br>(処理時期; 散布薬量(水量L)/a<br>; 処理方法等) | 今回<br>判定 | 判 定 内 容  |
|------------------------------|--------------------|-------------|--------------------|---------------------------------|---------------------------------------------------|----------|----------|
| 1. Y C E - 1<br><br>[三井東圧化学] | 79077ニ系色素<br>0.13% | 野菜<br>一般    | 適用性<br>新 規         | 野菜茶試<br>植調研 (2)                 | [一任; 生育調節効果]<br>別途協議                              | —        |          |
|                              |                    | キャベ<br>ツ    | 適用性<br>新 規         | 長野野菜花き<br>兵庫中央農技セ<br>福岡農総試 (3)  | [セル育苗; 徒長防止効果]<br>・無被覆および一般農*リレフィン<br>系フィルムとの比較   | 継        | 継)効果の確認。 |
|                              |                    | トマト         | 適用性<br>新 規         | 長野野菜花き<br>兵庫中央農技セ<br>福岡農総試 (3)  | [セル育苗; 徒長防止効果]<br>・無被覆および一般農*リレフィン<br>系フィルムとの比較   | 継        | 継)効果の確認。 |

## E. 花き関係除草剤

| 薬剤名<br>(商品名)<br>[委託者]                                                                 | 有効成分および<br>含有率(%)                  | 作物名<br>(品種) | 試験の<br>種類・継<br>続の別 | 試験実施場所<br>( )=中間または<br>試験実施中(数)               | 試験設計 [作型; 対象雑草]<br>(処理時期; 散布薬量(水量L)/a<br>; 処理方法等)                                                     | 今回<br>判定 | 判 定 内 容                                                                                                                                       |
|---------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------|-------------|--------------------|-----------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1. B J L - 8 6 1<br>微粒<br>(ハスアミト、カスタード)<br><br>[ダゾメット研究会<br>(事; ビー・エー・エス・エフ<br>ジャパン)] | ダゾメット 98%                          | 花き<br>一般    | 適用性<br>継 続         | 長野野菜花き<br>熊本農研セ (2)                           | [一任; 一年生雑草全般]<br>・定植20日前; 2000, 3000g;<br>全面土壌混和                                                      | 実        | 実)[春～夏播き栽培;<br>一年生雑草全般]<br>・播種または定植21日前<br>2000～3000g/a<br>土壌混和処理。<br>注)深さ15～25cmに土壌と十分<br>混和后ビニル被覆、7～14日後<br>被覆を除去して少なくとも2<br>回以上の耕起によるガス抜き。 |
| 2. F K H - 1 4<br>水和<br>(グアイメト水和)<br><br>[サンケイ化学]                                     | クロルピクリン 50%                        | キク          | 適用性<br>継 続         | 岩手農研セ<br>長野野菜花き<br>愛知農総試<br>福岡農総試<br>沖縄農試 (5) | [露地普通; 一年生雑草全般]<br>・定植前 雑草発生前;<br>40, 60, 80g(10);<br>全面土壌処理。                                         | 実・<br>継  | 実)[露地普通;<br>一年生雑草全般]<br>・定植前 雑草発生前<br>60～80g(10L)/a<br>全面土壌処理。<br>継)低薬量での効果の確認。                                                               |
| 3. S S F - 1 0 7<br>油<br>(ディートラベックス油)<br><br>[塩野義製薬]                                  | 1,3-ジクロロプロパン 40%<br>メチルイソシアナート 20% | 花き<br>一般    | 適用性<br>継 続         | 長野野菜花き<br>奈良農試 (2)                            | [一任; 一年生雑草全般]<br>・播種または植付21日前まで<br>2000, 3000, 4000mL; 土壌灌注。                                          | 実・<br>継  | 実)[春～夏播栽培;<br>一年生雑草全般]<br>・播種または定植21日前<br>3000～4000mL/a<br>土壌灌注処理。<br>注)深さ12～15cmに注入しビニ<br>ル被覆、7～14日後に被覆を<br>除去し耕起によるガス抜き<br>継)低薬量での効果の確認。    |
| 4. U L V - 0 3<br>液<br>(ランドマスター)<br><br>[日本モンサント]                                     | イソプロピルN<br>(メソメチル)グリナート 6%         | 花木          | 適用性<br>継 続         | 埼玉花植木セ<br>三重花植木セ<br>福岡農総試 (3)                 | [春～夏期露地; 雑草全般]<br>・雑草生育期(草丈30cm以下)<br>300, 400, 500mL(原液);<br>茎葉処理。<br>比) ラウンドアップ<br>50mL(2.5); 茎葉処理。 | 実・<br>継  | 実)[花木類(ササ、アジ、ツバキ、ベニ<br>カサギ等)露地; 一年生雑草全般]<br>・雑草生育期(草丈30cm以下)<br>300～500mL(原液散布)<br>(専用散布器使用)<br>茎葉処理。<br>継)多年生雑草に対する効果の<br>確認。                |
| 5. クロルピクリン<br>液<br>(トジック・クリン、<br>クロピク80、トクロール)<br><br>[クロピクリン工業会]                     | クロルピクリン 80%                        | 花き<br>一般    | 適用性<br>継 続         | 岐阜農総研<br>熊本農研セ (2)                            | [一任; 一年生雑草]<br>・植付(播種)前<br>2000, 3000mL; 土壌灌注。<br>比)土壌用メチルイソシアナート 98.5%<br>3000mL 土壌灌注。               | 実        | 実)[春～夏播栽培;<br>一年生雑草全般]<br>・播種または定植15～20日前<br>2000～3000mL/a<br>土壌灌注処理。<br>注)処理後ビニル被覆、7～10日<br>後ガスが抜けたことを確認し<br>て播種または定植する。                     |

## F. 平成8年度 春夏作・秋冬作分 花き関係除草剤

| 薬剤名<br>(商品名)<br>[委託者]                    | 有効成分および<br>含有率(%)         | 作物名<br>(品種) | 試験の<br>種 類<br>新・継<br>の 別 | 試験実施場所<br>( )=中間または<br>試験実施中(数) | 試験設計 [作型; 対象雑草]<br>(処理時期; 散布薬量<水量L>/a<br>; 処理方法等)             | 今回<br>判定 | 判 定 内 容 |
|------------------------------------------|---------------------------|-------------|--------------------------|---------------------------------|---------------------------------------------------------------|----------|---------|
| 1. FKH-14<br>水和<br>(ダイヤート水和)<br>[サンケイ化学] | クロルフルラム<br>50%            | キク          | 適用性<br>新 規               | 沖縄農試<br>(1)                     | [露地普通; 一年生雑草全般]<br>・定植前 雑草発生前;<br>40, 60, 80g<10>;<br>全面土壌処理. | 継        | 前回判定済   |
| 2. DEH-117<br>顆粒水和<br>[ダクミカ日本]           | オリザリン 60%<br>イソキサベン 20%   | 花木類         | 適用性<br>新 規               | 埼玉花植木<br>(1)                    | [露地; 一年生雑草]<br>・雑草発生前; 20, 30, 40g<10>;<br>土壌処理.              | 実・<br>継  | 前回判定済   |
| 3. ELH-201<br>粒<br>[ダクミカ日本]              | トリフルラリン 2%<br>イソキサベン 0.5% | 花木類         | 適用性<br>継 続               | 埼玉花植木<br>(1)                    | [露地; 一年生雑草]<br>・雑草発生前; 600, 800g;<br>土壌処理.                    | 継        | 前回判定済   |

## G. 花き関係生育調節剤

| 薬剤名<br>(商品名)<br>[委託者]                    | 有効成分および<br>含有率(%)          | 作物名<br>(品種) | 試験の<br>種 類<br>新・継<br>の 別 | 試験実施場所<br>( )=中間または<br>試験実施中(数) | 試験設計 [作型; 対象雑草]<br>(処理時期; 散布薬量<水量L>/a<br>; 処理方法等)                                                 | 今回<br>判定 | 判 定 内 容  |
|------------------------------------------|----------------------------|-------------|--------------------------|---------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------|----------|----------|
| 1. CE-911<br>液<br>(スペースエージ)<br>[クロレラ工業会] | クロレラ抽出物<br>0.26%           | トルコ<br>キキョウ | 適用性<br>新 規               | 長野野菜花き<br>岐阜農総研<br>熊本農研セ<br>(3) | [ハウス栽培; 育苗期間の短縮<br>および定植後初期生育促進]<br>・標準育苗および短縮育苗の<br>育苗後期7日毎5回;<br>500, 1000倍<500mL/トイ>;<br>茎葉散布. | 継        | 継)効果の確認. |
| 2. NOK-1<br>液<br>[NOK]                   | E. Cloacae Noll-5<br>株培養ろ液 | 花き<br>一般    | 作用性<br>新 規               | 野菜茶試<br>(1)                     | [一任; 生育促進]<br>別途協議                                                                                | -        |          |
| 3. STC-4771<br>液<br>[タマ生化学]              | 1,3-キシクロ誘導体<br>0.2%        | 花き<br>一般    | 適用性<br>継 続               | 野菜茶試<br>(1)                     | [一任; 苗移植時の活着促進]<br>・500, 1000, 2000倍<br><全面にしたたる程度><br>茎葉散布.                                      | -        |          |

## H. 花き関係生育調節資材

| 薬剤名<br>(商品名)<br>[委託者] | 有効成分および<br>含有率(%)    | 作物名<br>(品種) | 試験の<br>種 類<br>新・継<br>の 別 | 試験実施場所<br>( )=中間または<br>試験実施中(数) | 試験設計 [作型; 対象雑草]<br>(処理時期; 散布薬量<水量L>/a<br>; 処理方法等) | 今回<br>判定 | 判 定 内 容 |
|-----------------------|----------------------|-------------|--------------------------|---------------------------------|---------------------------------------------------|----------|---------|
| 1. YCE-1<br>[三井東圧化学]  | 7-メチルニチン系色素<br>0.13% | 花き<br>一般    | 作用性<br>新 規               | 野菜茶試<br>(1)                     | [生育調節効果の検討]<br>別途協議                               | -        |         |

# 芝生の造成と管理 — 芝草管理者のために —

眞木芳助／編集

B5判 定価20,000円

環境保全のための資源として芝生の需要が増している。本書は芝生の造成から管理にいたる芝生づくりのすべてをゴルフ場の例を中心に分かりやすく解説。

全国農村教育協会

〒110 東京都台東区台東1-26-6(植調会館)  
Tel. 03-3833-1821 Fax. 03-3833-1665

## 平成9年度春夏作芝関係 除草剤・生育調節剤試験成績概要

財団法人 日本植物調節剤研究協会

平成9年度春夏作芝関係除草剤・生育調節剤試験成績検討会は、平成9年12月1日(月)～2日(火)に池之端文化センターにおいて開催された。

この検討会には、試験場関係者33名、委託関係者104名ほか、計148名の参集を得て、除草剤51薬

剤(537点)、生育調節剤4薬剤(31点)について、試験成績の報告と検討が行われた。

その判定結果および使用基準については、次の判定表に示す通りである。

### 平成9年度 春夏作芝関係除草剤・生育調節剤試験供試薬剤および判定一覧

#### A. 除草剤

| 薬 剤 名<br>(商品名)<br>有効成分および<br>含有率(%)<br>〔委託者〕                           | 作物名<br>(品種)          | 試験の<br>種 類<br>新・継<br>の 別 | 試験実施場所<br>< > = 中間または<br>試験実施中(数)                        | 試験設計 〔対象雑草〕<br>処理時期<br>; 薬量g・ml<水量ml>/m <sup>2</sup><br>; 処理方法 ; 比較剤                                                                                                                              | 判<br>定  | 内 容                                                                                                                                                                                                       |
|------------------------------------------------------------------------|----------------------|--------------------------|----------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1. AC-414<br>水和剤<br>ジクロスルファミロン 10%<br><br>〔日本アイナミット〕                   | コライシバ                | 作用性<br>新 規               | 植調研究所、<br>中国G連G研 (2)                                     | 〔一年生広葉雑草〕<br>①雑草発生前<br>0.1、0.2、0.3、0.4g<br>〈200-250〉<br>土壌処理<br>②雑草発生初期<br>(広葉雑草3葉期まで)<br>0.1、0.2、0.3、0.4g<br>〈200-250〉<br>茎葉処理<br>; グラメタックス水和剤<br>0.2g<200-250><br>但し、ヘントグラス、ケンタッキーブルー<br>グラスは一任 | 継       | 継:<br>・効果、薬害の確認。                                                                                                                                                                                          |
|                                                                        | ノシバ                  | 作用性<br>新 規               | 植調研究所、<br>中国G連G研 (2)                                     |                                                                                                                                                                                                   |         |                                                                                                                                                                                                           |
|                                                                        | ヘント<br>グラス           | 作用性<br>新 規               | 東日本G研、<br>中国G連G研 (2)                                     |                                                                                                                                                                                                   |         |                                                                                                                                                                                                           |
|                                                                        | ケンタッキー<br>ブルー<br>グラス | 作用性<br>新 規               | 植調研究所、<br>那須ナセー<br><br>(2)                               |                                                                                                                                                                                                   |         |                                                                                                                                                                                                           |
|                                                                        | コライシバ                | 適用性<br>新 規               | 小杉CC、<br>植調研究所、<br>高坂CC、<br>東日本G研、<br>中国G連G研 (5)         | 〔一年生広葉雑草〕<br>①雑草発生前<br>0.2、0.3、0.4g<200-250><br>土壌処理<br>②雑草発生初期<br>(広葉雑草3葉期まで)<br>0.2、0.3、0.4g<200-250><br>茎葉処理<br>; グラメタックス水和剤<br>0.2g<200-250>                                                  |         |                                                                                                                                                                                                           |
|                                                                        | ノシバ                  | 適用性<br>新 規               | 盛岡南CC<①>、<br>那須ナセー、<br>甲府国際CC<②>、<br>鳥取園試、<br>中国G連G研 (5) |                                                                                                                                                                                                   |         |                                                                                                                                                                                                           |
| 2. CG-148<br>顆粒水和剤<br>(シハコップ<br>顆粒水和剤)<br>シスルフロン 18.5%<br><br>〔日本ハルカバ〕 | コライシバ<br><8年度>       | 適用性<br>継 続               | 岩手園試<①>、<br>西日本G研<①> (2)                                 | 〔メシバ、一年生広葉雑草、<br>一年生カタリガサ科〕<br>①広葉雑草1葉程度<br>② " 3 "<br>; 0.045、0.06、0.09g<200><br>; 茎葉処理<br>; シマゾフロン777 0.2ml<200><br>または一任                                                                       | 実・<br>継 | 実: [(コライシバ、ノシバ)<br>一年生広葉雑草及び<br>一年生カタリガサ科雑草]<br>・芝生育期。<br>・雑草生育初期<br>～生育期(5葉期まで)。<br>・0.045～0.09g<200ml>/m <sup>2</sup> 。<br>・茎葉処理。<br>継:<br>・多年生広葉雑草の効果確認。<br>・連用処理での確認。<br>・実証試験での確認。<br>・ヘントグラスへの適用拡大。 |
|                                                                        | ノシバ<br><8年度>         | 適用性<br>継 続               | 植調岩手②、<br>奥武蔵CC①、<br>甲府国際CC<①>、<br><br>(3)               |                                                                                                                                                                                                   |         |                                                                                                                                                                                                           |

## A. 除草剤 つづき

| 薬 剤 名<br>(商品名)<br>有効成分および<br>含有率(%)<br>〔委託者〕 | 作物名<br>(品種)         | 試験の<br>種 類<br>新・継<br>の 別 | 試験実施場所<br>< > = 中間または<br>試験実施中(数)                      | 試験設計 [対象雑草]<br>処理時期<br>; 薬量g・ml<水量ml>/m <sup>2</sup><br>; 処理方法 ; 比較剤                                                                                                    | 判<br>定   | 内 容                                                                                                                                                           |
|----------------------------------------------|---------------------|--------------------------|--------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 2. CG-148<br>顆粒水和剤<br>(つづき)                  | コライシバ               | 適用性<br>継 続               | 東日本G研、<br>浜松ソーサイトGC、<br>桑名CC、<br>宮崎CC (4)              | 〔一年生広葉雑草及びびかりグサ<br>科、トメグサ、カハミ、クロハ等〕<br>①広葉雑草発生初期<br>(3葉期まで)<br>0.045、0.06、0.09 g<200><br>②広葉雑草生育期<br>(5葉程度まで)<br>0.045、0.06、0.09 g<200><br>; 茎葉処理<br>; MCP液剤 0.5ml<200> |          |                                                                                                                                                               |
|                                              | ノハ<br><8年度<br>含む>   | 適用性<br>継 続               | 植調研究所、<br>浜松ソーサイトGC、<br>桑名CC、<br>久山CC (4)              |                                                                                                                                                                         |          |                                                                                                                                                               |
|                                              | ベント<br>グラス          | 作用性<br>新 規               | 東日本G研、<br>琵琶湖CC (2)                                    | 〔薬害〕<br>雑草発生初期<br>0.045、0.06、0.09 g<200><br>; 茎葉処理<br>; MCP液剤 0.5ml<200>                                                                                                |          |                                                                                                                                                               |
| 〔ノハルティス アグロ〕                                 |                     |                          |                                                        |                                                                                                                                                                         |          |                                                                                                                                                               |
| 3. CG-205<br>顆粒水和剤<br>70%<br>プロスルフロ          | コライシバ<br><8年度>      | 適用性<br>継 続               | 四日市東急GC<②><br>西日本G研<①> (2)                             | 〔広葉雑草〕<br>①広葉雑草3葉程度<br>② " 5 "<br>; 0.012、0.018、0.024 g<200><br>; 茎葉処理<br>; MCP液剤 0.5 ml<200><br>または一任                                                                  | 実<br>・ 継 | (前回判定どおり)<br>実:〔コライシバ、ベントグラス〕<br>一年生広葉雑草<br>・ 芝生育期。<br>・ 雑草生育期(5葉期まで)。<br>・ 0.012～0.024g<200ml>/m <sup>2</sup> 。<br>・ 茎葉処理。<br><br>継: ・ グリーンにおける実証試験<br>での確認。 |
|                                              | ベント<br>グラス<br><8年度> | 適用性<br>継 続               | 小諸高原GC<②>、<br>中国G連G研<②> (2)                            |                                                                                                                                                                         |          |                                                                                                                                                               |
| 〔日本ハルカイキ-〕                                   |                     |                          |                                                        |                                                                                                                                                                         |          |                                                                                                                                                               |
| 4. CH-900<br>70%プロル<br>カフェンストロール             | コライシバ               | 適用性<br>継 続               | 美浦GC、<br>南愛知CC、<br>大阪農技、<br>佐賀CC、 (4)                  | 〔一年生イネ科雑草〕<br>雑草発生前<br>; 0.25、0.375、0.5ml<200-300><br>; 土壌処理<br>; ハイメウ水和剤 0.3g<200-300>                                                                                 | 実<br>・ 継 | 実:〔コライシバ、ノハ〕<br>一年生イネ科雑草<br>・ 芝生育期。<br>・ 雑草発生前。<br>・ 0.25～0.5g<200～300ml>/m <sup>2</sup> 。<br>・ 土壌処理。<br><br>継:<br>・ 実証試験の実施。                                 |
|                                              | ノハ                  | 適用性<br>継 続               | 盛岡南CC、<br>富士国際GC、<br>静岡高冷地、<br>花屋敷GC (4)               |                                                                                                                                                                         |          |                                                                                                                                                               |
| 〔永光化成〕                                       |                     |                          |                                                        |                                                                                                                                                                         |          |                                                                                                                                                               |
| 5. DEH-112 5.5EC<br>シハロップアール<br>5.5%         | コライシバ<br>(薬害)       | 作用性<br>新 規               | 植調研究所、<br>宇都宮大学 (2)                                    | 〔一年生イネ科雑草〕<br>雑草本葉2～3葉期<br>; 0.4、0.8、1.6、<br>0.8→0.8ml<100><br>; 茎葉処理<br>; -                                                                                            | 継        | 継: ・ 効果、薬害の確認。                                                                                                                                                |
|                                              | ノハ<br>(薬害)          | 作用性<br>新 規               | 植調研究所、<br>宇都宮大学 (2)                                    |                                                                                                                                                                         |          |                                                                                                                                                               |
|                                              | コライシバ               | 適用性<br>新 規               | ウソクフィールドGC、<br>習志野CC、<br>石川農総試、<br>中国G連G研、<br>門司GC (5) | 〔一年生イネ科雑草〕<br>メシバ本葉2～3葉期<br>; 0.2、0.3、0.4ml<100><br>; 茎葉処理<br>; アージソ 80SC水溶剤<br>0.3g<200>                                                                               |          |                                                                                                                                                               |
|                                              | ノハ                  | 適用性<br>新 規               | 植調岩手、<br>那須ナース、<br>静岡高冷地、<br>中国G連G研、<br>門司GC (5)       |                                                                                                                                                                         |          |                                                                                                                                                               |
| 〔タウケミカル日本〕                                   |                     |                          |                                                        |                                                                                                                                                                         |          |                                                                                                                                                               |

## A. 除草剤 つづき

| 薬 剤 名<br>(商品名)<br>有効成分および<br>含有率(%)<br>[委託者]                              | 作物名<br>(品種)                 | 試験の<br>種 類<br>新・継<br>の 別 | 試験実施場所<br>< > = 中間または<br>試験実施中(数)                                            | 試験設計 [対象雑草]<br>処理時期<br>; 薬量g・ml<水量ml>/m <sup>2</sup><br>; 処理方法 ; 比較剤                                             | 判<br>定  | 内 容                                                                                                                                      |
|---------------------------------------------------------------------------|-----------------------------|--------------------------|------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 6. DEH-114<br>顆粒水和剤<br>ベンゾフラシ<br>イソキサヘン<br>55%<br>5.5%<br><br>[ダウ・ケミカル日本] | コライシバ<br><8年度<br>>          | 適用性<br>継 続               | 〈鳳鳴CC〉<br><br>(1)                                                            | [一年生雑草]<br>雑草発生前<br>; 0.5、0.6、0.7 g<200-300><br>; 土壌処理<br>; 一任                                                   | 実       | 実: [(コライシバ、ノシバ、ベントグラス、<br>ケンタッキーブルーグラス)一年生雑草]<br>・ 芝生育期.<br>・ 雑草発生前.<br>・ 0.5~0.7g<200~300ml>/m <sup>2</sup> .<br>・ 土壌処理.                |
|                                                                           | コライシバ                       | 実 証                      | 埼玉県民G場、<br>琵琶湖CC、<br>門司GC<br>(3)                                             | [一年生雑草]<br>雑草発生前<br>; 0.6g<200><br>; 土壌処理<br>; 一任                                                                |         | 注:<br>・ ベントグラスはグリーンを除く.                                                                                                                  |
| 7. DEH-115<br>S C 剤<br>Florasulam<br>5%<br><br>[ダウ・ケミカル日本]                | コライシバ<br>(連用)               | 作用性<br>継 続               | 東日本G研<br>(1)                                                                 | [広葉雑草]<br>H7秋→H8春→H8秋→H9春<br>(ベントグラスはH8春より実施)<br>雑草発生前<br>(本葉3~5葉期)<br>; 0.04、0.08、0.16ml<150><br>; 茎葉処理<br>; 一任 | 実・<br>継 | 実: [(ケンタッキーブルーグラス)<br>広葉雑草]<br>・ 芝生育期.<br>・ 雑草生育初期.<br>・ 0.04~0.08ml<br><150~200ml>/m <sup>2</sup> .<br>・ 茎葉処理.<br><br>継:<br>・ 実証試験での確認. |
|                                                                           | ノシバ<br>(連用)                 | 作用性<br>継 続               | 東日本G研<br>(1)                                                                 |                                                                                                                  |         |                                                                                                                                          |
|                                                                           | ベント<br>グラス<br>(連用)          | 作用性<br>新 規               | 奥武蔵CC<br>(1)                                                                 |                                                                                                                  |         |                                                                                                                                          |
|                                                                           | ブルー<br>グラス<br>(連用)          | 作用性<br>継 続               | 滝川畜試<br>(1)                                                                  |                                                                                                                  |         |                                                                                                                                          |
|                                                                           | ブルー<br>グラス                  | 適用性<br>継 続               | 札幌国際CC、<br>札幌美蓉CC、<br>小樽CC、<br>太平洋C札幌、<br>廣済堂札幌CC、<br>札幌後楽園、<br>札幌不二ロイヤル (7) | [広葉雑草]<br>雑草発生前 (本葉3~5葉期)<br>; 0.02、0.04、0.08ml<br><150-200><br>; 茎葉処理<br>; イソフル水和剤 0.3 g<br><200>               |         |                                                                                                                                          |
|                                                                           | コナガシ<br>ワ、ツツジ<br>類<br>他 3 種 | 緑化木                      | 鳥取園試、<br>福岡農総園研<br>(2)                                                       | [緑化木に対する影響]<br>① 茎葉処理<br>0.08ml<150><br>② 土壌処理<br>0.16ml<150><br>; 無処理                                           |         |                                                                                                                                          |
| 8. DEH-94T01<br>ゾル剤<br>オリザリン<br>40.4%<br><br>[ダウ・ケミカル日本]                  | コライシバ                       | 適用性<br>新 規               | 小杉CC、<br>佐野GC、<br>総武CC、<br>南愛知CC、<br>琵琶湖CC (5)                               | [一年生雑草]<br>雑草発生前<br>; 0.2、0.3、0.4g<150-200><br>; 土壌処理<br>; ウェイファーフロアール剤<br>0.4g<200-300>                         | 実・<br>継 | 実: [(コライシバ、ノシバ)<br>一年生雑草]<br>・ 芝生育期.<br>・ 雑草発生前.<br>・ 0.2~0.4g<200ml>/m <sup>2</sup> .<br>・ 土壌処理.<br><br>継:<br>・ 効果の確認.<br>・ 実証試験での確認.   |
|                                                                           | ノシバ                         | 適用性<br>新 規               | 小杉CC、<br>習志野CC、<br>南長野CC、<br>南愛知CC、<br>琵琶湖CC (5)                             |                                                                                                                  |         |                                                                                                                                          |
|                                                                           | コナガシ<br>ワ、ツツジ<br>類<br>他 3 種 | 緑化木                      | 鳥取園試、<br>福岡農総園研<br>(2)                                                       | [緑化木に対する影響]<br>新葉展開~硬化期<br>; 0.4<150><br>; 茎葉処理<br>; 無処理                                                         |         |                                                                                                                                          |

## A. 除草剤 つづき

| 薬 剤 名<br>(商品名)<br>有効成分および<br>含有率(%)<br>[委託者]              | 作物名<br>(品種)                  | 試験の<br>種 類<br>新・継<br>の 別 | 試験実施場所<br>< > = 中間または<br>試験実施中(数)                           | 試験設計 [対象雑草]<br>処理時期<br>; 薬量g・ml<水量ml>/m <sup>2</sup><br>; 処理方法 ; 比較剤                           | 判<br>定  | 内 容                                                                                                                                                  |
|-----------------------------------------------------------|------------------------------|--------------------------|-------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------|---------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 9. DEH-94T01<br>顆粒水和剤<br>オキサリゾン<br>85%<br><br>[ダウ・ケミカル日本] | ノシハ<br><8年度>                 | 適用性<br>継 続               | <大阪GC><br><br>(1)                                           | [一年生雑草]<br>雑草発生前<br>; 0.1、0.2、0.3 g<200-300><br>; 土壌処理<br>; ユーイング®フロア®剤<br>0.4 g<200-300>      | 実・<br>継 | (前回判定どおり)<br>実: [(コライシハ®、ノシハ®)<br>一年生雑草]<br>・ 芝生育期.<br>・ 雑草発生前.<br>・ 0.1~0.2g<200~300ml>/m <sup>2</sup> .<br>・ 土壌処理.<br><br>継:<br>・ 実証試験での確認.        |
| 10. DH-80<br>粒剤<br>ピリナフルグ<br>3.5%<br><br>[大日本イネ<br>化学工業]  | コライシハ<br>(連用)                | 作用性<br>新 規               | 奥武蔵CC、<br>西日本G研 (2)                                         | [一年生イネ科雑草]<br>H9春→H9秋→H10春→H10秋<br>雑草発生前<br>; 25g<br>; 土壌処理<br>; エイケン水和剤 (単用)<br>1.5g<200-250> | 実・<br>継 | 実: [(コライシハ®、ベントグラス、<br>ケンタッキーブルーグラス)<br>一年生イネ科雑草]<br>・ 芝生育期.<br>・ 雑草発生前.<br>・ 15~25g/m <sup>2</sup> .<br>・ 土壌処理.<br><br>継:<br>・ 連用試験の継続.             |
|                                                           | ベント<br>グラス<br>(連用)           | 作用性<br>新 規               | 東日本G研、<br>中国G連G研 (2)                                        |                                                                                                |         |                                                                                                                                                      |
|                                                           | ケンタッキー<br>ブルー<br>グラス<br>(連用) | 作用性<br>新 規               | 植調研究所、<br>那須ナースー (2)                                        |                                                                                                |         |                                                                                                                                                      |
|                                                           | コライシハ                        | 適用性<br>継 続               | 美浦GC、<br>東日本G研、<br>花屋敷GC、<br>鳥取園試 (4)                       | [一年生イネ科雑草]<br>雑草発生前<br>; 15、20、25g<br>; 土壌処理<br>; エイケン水和剤<br>1.2g<200-250>                     |         |                                                                                                                                                      |
|                                                           | ベント<br>グラス                   | 適用性<br>継 続               | 江戸崎CC、総武CC、<br>花屋敷GC、<br>祁答院GC (4)                          |                                                                                                |         |                                                                                                                                                      |
|                                                           | ケンタッキー<br>ブルー<br>グラス         | 適用性<br>継 続               | 太平洋C札幌、<br>札幌不二ロイヤルGC、<br>那須ナースー (3)                        |                                                                                                |         |                                                                                                                                                      |
|                                                           | コライシハ                        | 実 証                      | 東日本G研(現地)、<br>美浦GC、<br>佐野GC (3)                             | [一年生イネ科雑草]<br>雑草発生前<br>; 20g<br>; 土壌処理<br>; エイケン水和剤<br>1.2g<200-250>                           |         |                                                                                                                                                      |
|                                                           | ベント<br>グラス                   | 実 証                      | 奥武蔵CC (1)                                                   |                                                                                                |         |                                                                                                                                                      |
|                                                           | ケンタッキー<br>ブルー<br>グラス         | 実 証                      | 札幌芙蓉CC、<br>サ GC竜ヶ崎 (2)                                      |                                                                                                |         |                                                                                                                                                      |
| 11. DH-81<br>粒剤<br>ジチエール<br>0.16%<br><br>[大日本イネ<br>化学工業]  | コライシハ                        | 適用性<br>新 規               | 東蔵王GC、美浦GC、<br>ウィンクフィールド®GC、<br>茨城農総園研、<br>兵庫農技 (5)         | [一年生イネ科雑草]<br>雑草発生前<br>; 15、20、25 g<br>; 土壌処理<br>; デイクトラン®乳剤<br>0.15ml<200-300>                | 実・<br>継 | 実: [(コライシハ®、ノシハ®)<br>一年生イネ科雑草]<br>・ 芝生育期.<br>・ 雑草発生前.<br>・ 15~25g/m <sup>2</sup> .<br>・ 土壌処理.<br><br>継:<br>・ 効果、薬害の確認.<br>・ 連用試験での確認.<br>・ 実証試験での確認. |
|                                                           | ノシハ                          | 適用性<br>新 規               | 植調岩手、<br>東蔵王GC、<br>佐野GC、<br>南長野GC、<br>タイガー®SGC、<br>鳥取園試 (6) |                                                                                                |         |                                                                                                                                                      |

## A. 除草剤 つづき

| 薬 剤 名<br>(商品名)<br>有効成分および<br>含有率(%)<br>[委託者]                          | 作物名<br>(品種)   | 試験の<br>種 類<br>新・継<br>の 別 | 試験実施場所<br>< > = 中間または<br>試験実施中(数)                      | 試験設計 [対象雑草]<br>処理時期<br>; 薬量g・ml<水量ml>/m <sup>2</sup><br>; 処理方法 ; 比較剤                                                                                                 | 判<br>定  | 内 容                                                                                                                                                                                   |
|-----------------------------------------------------------------------|---------------|--------------------------|--------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 12. DH-86<br>水中和剤<br>テニコロール 50%<br>エトキシスルフロ 6%<br><br>[大日本イソ<br>化学工業] | ノシハ           | 作用性<br>新 規               | 東日本G研、<br>西日本G研                                        | [一年生雑草<br>及び多年生広葉雑草]<br>①ノシハ発生前<br>; 0.3、0.4、0.6g<200-300><br>; 土壌処理<br>②雑草発生初期<br>(ノシハ 3 葉期まで)<br>; 0.3、0.4、0.6g<200-300><br>; 茎葉処理<br>; ノロハビ-水中和剤<br>0.2g<200-300> | 継       | 継:<br>・効果、被害の確認。<br>・連用試験での確認。<br>・実証試験での確認。                                                                                                                                          |
|                                                                       | コライシバ         | 適用性<br>新 規               | 東日本G研(現地)、<br>総武CC、<br>東日本G研、<br>(5)                   | [一年生雑草<br>及び多年生広葉雑草]<br>イネ科雑草発生前<br>; 0.3、0.4、0.5g<200-300><br>; 土壌処理<br>; ノロハビ-水中和剤<br>0.2g<200-300>                                                                |         |                                                                                                                                                                                       |
|                                                                       | ノシハ           | 適用性<br>新 規               | 東日本G研(現地)、<br>植調研究所、<br>富士国際CC、<br>兵庫農技、<br>中国G連G研 (5) |                                                                                                                                                                      |         |                                                                                                                                                                                       |
| 13. DTH-85<br>水中和剤<br>テニコロール 50%<br><br>[トヤマ・大日本イソ<br>化学工業]           | コライシバ<br>(連用) | 作用性<br>新 規               | 奥武蔵CC、<br>中国G連G研 (2)                                   | [一年生イネ科雑草]<br>H9春→H9秋→H10春→H10秋<br>雑草発生前<br>; 0.5g<200-300><br>; 土壌処理<br>; ディクトラン乳剤<br>0.15ml<200-300>                                                               | 実・<br>継 | 実: [(コライシバ、ノシハ)<br>一年生イネ科雑草]<br>・芝生育期。<br>・雑草発生前。<br>・0.3~0.5g<200~300ml>/m <sup>2</sup> 。<br>・土壌処理。<br><br>継:<br>・連用試験の継続。                                                           |
|                                                                       | ノシハ<br>(連用)   | 作用性<br>新 規               | 植調研究所、<br>中国G連G研 (2)                                   |                                                                                                                                                                      |         |                                                                                                                                                                                       |
|                                                                       | ノシハ           | 適用性<br>継 続               | 静岡高冷地<br>(1)                                           | [一年生イネ科雑草]<br>雑草発生前<br>; 0.3、0.4、0.5g<200-300><br>; 土壌処理<br>; ディクトラン乳剤<br>0.15ml<200-300>                                                                            |         |                                                                                                                                                                                       |
|                                                                       | コライシバ         | 実 証                      | 東日本G研(現地)、<br>高坂CC (2)                                 | [一年生イネ科雑草]<br>雑草発生前<br>; 0.4g<200-300><br>; 土壌処理<br>; ディクトラン乳剤<br>0.15ml<200-300>                                                                                    |         |                                                                                                                                                                                       |
|                                                                       | ノシハ           | 実 証                      | 東日本G研(現地)、<br>南愛知CC (2)                                |                                                                                                                                                                      |         |                                                                                                                                                                                       |
| 14. EL-107<br>水中和剤<br>(ターザイン水中和剤)<br>イソキサハチン 50%<br><br>[タケウ・ケミカル日本]  | コライシバ         | 適用性<br>継 続               | 小杉CC、<br>佐野CC、<br>東日本G研、<br>南愛知CC、<br>兵庫農技 (5)         | [一年生雑草]<br>雑草発生前 2 週間前<br>; 0.08、0.10、0.12g<150-200><br>; 土壌処理<br>; バナフィン顆粒水中和剤<br>0.5g<150-200>                                                                     | 実・<br>継 | 実: [(コライシバ、ノシハ、ベントグラス、<br>・ケンタッキーブルーグラス)<br>一年生広葉雑草]<br>・芝生育期。<br>・雑草発生前。<br>・0.04~0.08g<br><200~300ml>/m <sup>2</sup> 。<br>・土壌処理。<br><br>継: ・イネ科雑草の効果確認。<br>・連用処理での確認。<br>・実証試験での確認。 |
|                                                                       | ノシハ           | 適用性<br>継 続               | 植調岩手、<br>小杉CC、<br>南長野CC、<br>南愛知CC、<br>鳥取園試 (5)         |                                                                                                                                                                      |         |                                                                                                                                                                                       |

## A. 除草剤 つづき

| 薬 剤 名<br>(商品名)<br>有効成分および<br>含有率(%)<br>[委託者]                                              | 作物名<br>(品種)                 | 試験の<br>種 類<br>新・継<br>の 別 | 試験実施場所<br>< > = 中間または<br>試験実施中(数)                         | 試験設計 [対象雑草]<br>処理時期<br>; 薬量g・ml<水量ml>/m <sup>2</sup><br>; 処理方法 ; 比較剤                                                                                                            | 判<br>定  | 内 容                                                                                                                                                                                                              |
|-------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------|--------------------------|-----------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 15. ESH-01<br>水和剤<br>ハスロジソ<br>58%<br><br>[ハル企画]                                           | コライシバ                       | 適用性<br>継 続               | 東日本G研(現地)、<br>石川農総試、<br>奥武蔵CC※、<br>リバー富士CC、<br>関西G研※ (5)  | [一年生雑草<br>(カヤリクサ科・キ科を除く)]<br>雑草発生前<br>; 0.3、0.5、0.7<200-300><br>; 2.0g※<200-300><br>※2.0g(4倍薬害) 2場所のみ<br>; 土壌処理<br>; ハナフィノ顆粒水和剤<br>0.5g<200-300>                                | 実・<br>継 | 実: [(コライシバ、ノシハ)<br>一年生雑草]<br><br>・ 芝生育期.<br>・ 雑草発生前.<br>・ 0.5~0.7g<200~300ml>/m <sup>2</sup> .<br>・ 土壌処理.<br><br>継:<br>・ 低薬量での効果確認.<br>・ 連用試験での確認.<br>・ 実証試験での確認.                                                |
|                                                                                           | ノシハ                         | 適用性<br>継 続               | 植調岩手<※>、<br>東日本G研(現地)、<br>奥武蔵CC※、<br>甲府国際CC、<br>静岡高冷地 (5) |                                                                                                                                                                                 |         |                                                                                                                                                                                                                  |
| 16. FDH-501<br>顆粒水和剤<br>カーフェントラゾニエチル<br>50%<br><br>[FMCアジアンパシフィック・<br>インク、大日本インキ<br>化学工業] | コライシバ                       | 適用性<br>継 続               | 奥武蔵CC、<br>富士国際GC、<br>琵琶湖CC、<br>東広野GC、<br>兵庫農技 (5)         | [一年生広葉雑草]<br>雑草生育初期(2~3葉まで)<br>; 0.01、0.015、0.02g<100-200><br>; 茎葉処理<br>; インゾール水和剤(生育初期)<br>0.3g<200-300>                                                                       | 継       | 継:<br>・ 効果の確認.                                                                                                                                                                                                   |
|                                                                                           | ノシハ                         | 適用性<br>継 続               | 植調岩手、<br>奥武蔵CC、<br>琵琶湖CC、<br>東広野GC、<br>鳥取園試 (5)           |                                                                                                                                                                                 |         |                                                                                                                                                                                                                  |
| 17. FU-176<br>水和剤<br>(トウガラシ水和剤)<br>8-ヒドロキシノリソ銅<br>80%<br><br>[アグロ ケネショウ]                  | ベント<br>グラス                  | 適用性<br>新 規               | 総武CC、<br>大月CC、<br>甲府国際CC、<br>花屋敷GC、<br>祁答院GC (5)          | [藻類、苔類]<br>藻類・苔類の発生前~発生前<br>に10~14日間隔の2回散布<br>; 2.5g<200>、<br>2.5g<300><br>; 茎葉散布<br>; 一任                                                                                       | 実・<br>継 | 実: [(ベントグラス)藻類]<br>・ 芝生育期.<br>・ 藻類発生前.<br>・ 10~14日間隔の2回処<br>理.<br>・ 2.5g<200~300ml>/m <sup>2</sup> .<br>・ 茎葉処理.<br><br>継:<br>・ 効果の確認.<br>・ 実証試験での確認.                                                             |
| 18. HSA-953<br>顆粒水和剤<br>エトキシメフロ<br>60%<br><br>(つづく)                                       | コライシバ<br>(薬害)               | 作用性<br>継 続               | 宇都宮大学、<br>中国G連G研 (2)                                      | [一年生雑草、多年生広葉雑草、<br>カヤリクサ科]<br>雑草発生前<br>(広葉雑草3葉期まで)<br>; 0.06、0.12、0.24g<200-300><br>; 茎葉処理<br>; 一任<br>(コライシバ、ノシハ; インゾール水和剤<br>0.3gなど、ベントグラス、ケンタッキーフ<br>ーグラス; アグリソ水和剤0.3gな<br>ど) | 実・<br>継 | 実: [(コライシバ、ノシハ、ベントグラス、<br>ケンタッキーフーグラス)<br>広葉雑草、ハマスガ、ヒメクサ]<br>・ 芝生育期.<br>・ 雑草発生前(3葉期まで).<br>・ 広葉雑草<br>0.03~0.06、<br>ハマスガ・ヒメクサ<br>0.045~0.075g、<br><200~300ml>/m <sup>2</sup> .<br>・ 茎葉処理.<br><br>継:<br>・ 連用試験の継続. |
|                                                                                           | ノシハ<br>(薬害)                 | 作用性<br>継 続               | 宇都宮大学、<br>中国G連G研 (2)                                      |                                                                                                                                                                                 |         |                                                                                                                                                                                                                  |
|                                                                                           | ベント<br>グラス<br>(薬害)          | 作用性<br>継 続               | 那須ナセー、<br>中国G連G研 (2)                                      |                                                                                                                                                                                 |         |                                                                                                                                                                                                                  |
|                                                                                           | ケンタッキー<br>フー<br>グラス<br>(薬害) | 作用性<br>継 続               | 植調研究所<br>那須ナセー                                            |                                                                                                                                                                                 |         |                                                                                                                                                                                                                  |

## A. 除草剤 つづき

| 薬 剤 名<br>(商品名)<br>有効成分および<br>含有率(%)<br>〔委託者〕 | 作物名<br>(品種)                  | 試験の<br>種 類<br>新・継<br>の 別 | 試験実施場所<br>< > = 中間または<br>試験実施中(数)                        | 試験設計 〔対象雑草〕<br>処理時期<br>; 薬量g・ml<水量ml>/m <sup>2</sup><br>; 処理方法 ; 比較剤                                                                                                      | 判<br>定 | 内 容 |
|----------------------------------------------|------------------------------|--------------------------|----------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------|-----|
| 18. HSA-953<br>顆粒水和剤<br>(つづき)                | コライシバ<br>(連用)                | 作用性<br>継 続               | 植調研究所<br>(1)                                             | 〔広葉雑草〕<br>H8秋→H9春→H9秋→H10春<br>雑草発生初期<br>(広葉雑草3葉期まで)<br>; 0.06g<200-300><br>; 茎葉処理<br>; -                                                                                  |        |     |
|                                              | ノシバ<br>(連用)                  | 作用性<br>継 続               | 植調研究所<br>(1)                                             |                                                                                                                                                                           |        |     |
|                                              | ベント<br>グラス<br>(連用)           | 作用性<br>継 続               | 奥武蔵CC<br>(1)                                             |                                                                                                                                                                           |        |     |
|                                              | ケンタッキー<br>ブルー<br>グラス<br>(連用) | 作用性<br>継 続               | 滝川畜試<br>(1)                                              |                                                                                                                                                                           |        |     |
|                                              | コライシバ                        | 適用性<br>継 続               | 東日本G研(現地)、<br>植調研究所、<br>東日本G研、<br>兵庫農技、<br>関西G研 (5)      | 〔広葉雑草及びびかりグサ科〕<br>雑草発生初期<br>(広葉雑草3葉期まで)<br>; 0.03、0.045、0.06 g<200-300><br>; 茎葉処理<br>; 一任<br>(コライシバ、ノシバ ; インパ-ル水和剤<br>0.3gなど、ベントグラス、ケンタッキーブル<br>-グラス ; アクリン水和剤0.3gな<br>ど) |        |     |
|                                              | ノシバ                          | 適用性<br>継 続               | 東日本G研(現地)、<br>植調研究所、<br>那須ナ-セル、<br>東広野GC、<br>宮崎CC (5)    |                                                                                                                                                                           |        |     |
|                                              | ベント<br>グラス                   | 適用性<br>継 続               | 奥武蔵CC、<br><小諸高原GC>、<br>東広野GC、<br>祁谷院GC (4)               |                                                                                                                                                                           |        |     |
|                                              | ケンタッキー<br>ブルー<br>グラス         | 適用性<br>継 続               | 札幌国際CC、<br>小樽CC、<br>札幌不二ロイヤルGC、<br>廣済堂札幌CC、<br>盛岡南CC (5) |                                                                                                                                                                           |        |     |
|                                              | 日本芝<br>(ハマスグ<br>ヒメクグ)        | 適用性<br>継 続               | 東日本G研(現地)、<br>植調研究所、<br>佐野GC、<br>宮崎CC (4)                |                                                                                                                                                                           |        |     |
|                                              | [ベキスト・シェリング・<br>アケレホ]        | コナカシ<br>ワ、ツツジ<br>類 3 種   | 緑化木                                                      |                                                                                                                                                                           |        |     |
| 19. HW-T62<br>水和剤<br>(ベ-ンホ-ル水和剤)<br>DCBN 50% | コライシバ<br>(連用)                | 作用性<br>継 続               | 植調研究所<br>(1)                                             | 〔一年生雑草<br>及び多年生広葉雑草〕<br>H8秋→H9春→H9秋→H10春<br>雑草発生前または発生初期<br>(雑草、2-3葉期)<br>; 1.5 g<150-200><br>; 全面土壌処理                                                                    | -      | -   |
| [保土谷アケ-ロス]                                   |                              |                          | (1)                                                      |                                                                                                                                                                           |        |     |

## A. 除草剤 つづき

| 薬 剤 名<br>(商品名)<br>有効成分および<br>含有率(%)<br>〔委託者〕                                                 | 作物名<br>(品種)          | 試験の<br>種 類<br>新・継<br>の 別 | 試験実施場所<br>< > = 中間または<br>試験実施中(数)                                                  | 試験設計 [対象雑草]<br>処理時期<br>; 薬量g・ml<水量ml>/m <sup>2</sup><br>; 処理方法 ; 比較剤                   | 判<br>定  | 内 容                                                                                                                                                                                                                                |
|----------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------|--------------------------|------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------|---------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 20. IDH-1105<br>フロアフル剤<br>(イデトッフフロフル)<br>トリアジラム 30%<br><br>〔IDH-1105研究会<br>; 出光興産〕           | コライシバ<br>(連用)        | 作用性<br>継 続               | 奥武蔵CC、<br>西日本G研 (2)                                                                | 〔一年生雑草]<br>イネ科雑草発生前<br>H8春→H8秋→H9春→H9秋<br>; 0.1ml<200-300><br>; 土壌処理<br>; 一任           | 実       | 実: [(コライシバ、ノシバ)<br>一年生雑草]<br>・ 芝生育期.<br>・ 雑草発生前 0.075~0.15、<br>・ 生育初期 0.15ml<br><200~300ml>/m <sup>2</sup> .<br>・ 土壌処理または茎葉処理.                                                                                                     |
|                                                                                              | ノシバ<br>(連用)          | 作用性<br>継 続               | 奥武蔵CC、<br>東日本G研 (2)                                                                |                                                                                        |         |                                                                                                                                                                                                                                    |
|                                                                                              | コライシバ                | 実 証                      | 東日本G研(現地)、<br>埼玉県民G場、<br>門司GC (3)                                                  | 〔一年生雑草]<br>イネ科雑草発生前<br>; 0.075ml<200-300><br>; 土壌処理<br>; 一任                            |         |                                                                                                                                                                                                                                    |
|                                                                                              | ノシバ                  | 実 証                      | 東日本G研(現地)、<br>埼玉県民G場、<br>門司GC (3)                                                  |                                                                                        |         |                                                                                                                                                                                                                                    |
| 21. JTH-101<br>液剤<br>(キヤンペリコ)<br>ザントモス キンパストリス<br>(2×10 <sup>11</sup> 個/ml)<br><br>〔日本たばこ産業〕 | ケンタッキー<br>ブルー<br>グラス | 適用性<br>新 規               | 滝川畜試、<br>札幌芙蓉CC、<br>太平洋C札幌、<br>札幌不二ロイヤルGC、<br>東日本G研(現地)、<br>那須ナースリー、<br>ザGC竜ヶ崎 (7) | 〔スズメノカタビラ]<br>春期1回、夏期1回、春~夏期<br>2回<br>; 0.2ml<200>、<br>0.4ml<400><br>; 茎葉処理<br>; 一任    | 実・<br>継 | 実: [(コライシバ、ヘントグラス、ケンタッキー<br>ブルーグラス)スズメノカタビラ]<br>・ 芝生育期(春~夏期).<br>・ スズメノカタビラ生育期.<br>・ 0.2ml<200ml>/m <sup>2</sup><br>~0.4ml<400ml>/m <sup>2</sup> .<br><1,000倍>.<br>・ 芝刈りやサッチング等の後の茎葉<br>処理.<br><br>継:<br>・ ケンタッキーブルーグラスでの効果確<br>認. |
|                                                                                              | ヘント<br>グラス           | 適用性<br>継 続               | 長野農事(2)                                                                            | 〔スズメノカタビラ]<br>4~5月散布<br>5~6月散布<br>; 0.2ml<200>、0.4ml<400><br>; 茎葉処理<br>; 一任            |         |                                                                                                                                                                                                                                    |
| 22. MN-93①<br>水和剤<br>ハロスフロソメチル 10%<br>ジチオビル 12%<br><br>〔日産化学工業〕                              | コライシバ                | 適用性<br>新 規               | 東日本G研(現地)、<br>高坂CC、<br>東日本G研、<br>中国G連G研、<br>西日本G研 (5)                              | 〔一年生雑草]<br>雑草発生前<br>; 0.2、0.3、0.4g<200-300><br>; 土壌処理<br>; フロロハビエー水和剤<br>0.3g<200-300> | 実・<br>継 | 実: [(コライシバ、ノシバ)<br>一年生雑草]<br>・ 芝生育期.<br>・ 雑草発生前<br>・ 0.2~0.4g<200~300ml>/m <sup>2</sup> .<br>・ 土壌処理.<br><br>継:<br>・ 効果、薬害の確認.<br>・ 連用試験での確認.<br>・ 実証試験での確認.                                                                        |
|                                                                                              | ノシバ                  | 適用性<br>新 規               | 東日本G研(現地)、<br>植調研究所、<br>奥武蔵CC、<br>中国G連G研、<br>宮崎CC (5)                              |                                                                                        |         |                                                                                                                                                                                                                                    |
| 23. NC-319<br>顆粒水和剤<br>ハロスフロソメチル 75%<br><br>(つづく)                                            | コライシバ<br><8年度>       | 適用性<br>新 規               | 奥武蔵CC②、<br>佐賀CC②> (2)                                                              | 〔広葉雑草]<br>①雑草発生前<br>; 0.03、0.04、0.05g<200-300><br>; 土壌処理または茎葉処理<br>; 一任                | 実・<br>継 | 実: [(コライシバ、ノシバ、ヘントグラス)<br>広葉雑草]<br>・ 芝生育初期~生育期.<br>・ 雑草発生前~生育初期.<br>・ 0.03~0.05g<br><200~300ml>/m <sup>2</sup> .<br>・ 土壌処理または茎葉処理.<br><br>継:<br>・ ケンタッキーブルーグラス、ヘントグラス<br>での効果確認.<br>・ 実証試験での確認.                                    |
|                                                                                              | ノシバ<br><8年度>         | 適用性<br>新 規               | 茨城農総園研<br><①>、<br>佐野GC②>、<br>千葉大学①>、<br>長野農事①>、<br>中国G連G研②> (5)                    |                                                                                        |         |                                                                                                                                                                                                                                    |

## A. 除草剤 つづき

| 薬 剤 名<br>(商品名)<br>有効成分および<br>含有率(%)<br>〔委託者〕                       | 作物名<br>(品種)          | 試験の<br>種 類<br>新・継<br>の 別 | 試験実施場所<br>< > = 中間または<br>試験実施中(数)                    | 試験設計 〔対象雑草〕<br>処理時期<br>; 薬量g・ml<水量ml>/m <sup>2</sup><br>; 処理方法 ; 比較剤                                                                          | 判<br>定  | 内 容                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |
|--------------------------------------------------------------------|----------------------|--------------------------|------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 23. NC-319<br>顆粒水和剤<br>(つづき)                                       | コライシバ                | 適用性<br>継 続               | 小杉CC、<br>佐野GC<②>、<br>東日本G研、<br>花屋敷GC、<br>門司GC (5)    | 〔一年生広葉雑草〕<br>①雑草発生前<br>; 0.03、0.04、0.05g<200-300><br>; 土壌処理<br>②雑草発生初期<br>; 0.03、0.04、0.05g<200-300><br>; 茎葉処理<br>; イソフール水和剤<br>0.3g<200-300> |         |                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |
|                                                                    | ノシバ                  | 適用性<br>継 続               | 小杉CC、<br>富士国際GC<②>、<br>大月CC、<br>花屋敷GC、<br>門司GC (5)   |                                                                                                                                               |         |                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |
|                                                                    | ケンタッキー<br>ブルー<br>グラス | 適用性<br>新 規               | 札幌芙蓉CC<①>、<br>小樽CC<①>、<br>廣済堂札幌CC<①><br>盛岡南CC<①> (4) |                                                                                                                                               |         |                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |
|                                                                    | ベント<br>グラス           | 適用性<br>新 規               | 総武CC<①>、<br>大月CC、<br>小諸高原GC、<br>花屋敷GC、<br>祁答院GC (5)  |                                                                                                                                               |         |                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |
| 〔日産化学工業〕                                                           |                      |                          |                                                      |                                                                                                                                               |         |                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |
| 24. NC-340①<br>顆粒水和剤<br>(ケラトツブ①DF)<br>ハロシルフロメチル 12%<br>プロジファミン 24% | コライシバ                | 適用性<br>継 続               | 東日本G研(現地)、<br>佐野GC、<br>東日本G研、<br>関西G研、<br>兵庫農技 (5)   | 〔一年生雑草〕<br>雑草発生前<br>; 0.15、0.2、0.3 g<200-300><br>; 土壌処理<br>; NC-340水和剤 0.2g<200-300>                                                          | 実・<br>継 | 実: [(コライシバ、ノシバ)<br>一年生雑草]<br>・ 芝生育期。<br>・ 雑草発生前。<br>・ 0.15～0.3g<200～300ml>/m <sup>2</sup> 。<br>・ 土壌処理。<br><br>継：<br>・ 実証試験での確認。                                                                                                                                                                       |
|                                                                    | ノシバ                  | 適用性<br>継 続               | 植調岩手、<br>東日本G研(現地)、<br>佐野GC、<br>南長野GC、<br>鳥取園試 (5)   |                                                                                                                                               |         |                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |
| 〔エス・ディー・エス ハイテク、日産化学工業〕                                            |                      |                          |                                                      |                                                                                                                                               |         |                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |
| 25. NC-341<br>水和剤<br>(フラスコンM)<br>MCPイソプロピルアミン塩<br>40%              | ケンタッキー<br>ブルー<br>グラス | 適用性<br>新 規               | 太平洋C札幌、<br>廣済堂札幌CC、<br>那須ナーセリー (3)                   | 〔一年生広葉雑草〕<br>雑草生育期<br>; 0.75、1.0、1.5g<200><br>; 茎葉処理<br>; MCP液剤 0.5ml<200><br>(ライグラス、トルフェスクは慣行剤)                                              | 実・<br>継 | 実: [(コライシバ、ノシバ、ケンタッキーブルー<br>グラス、ペレニアルライグラス、トルフェスク)<br>広葉雑草]<br>・ 芝生育期。<br>・ 雑草生育初期。<br>・ コライシバ、ノシバ<br>1～1.5、<br>ケンタッキーブルーグラス、<br>ペレニアルライグラス、トルフェスク<br>0.75～1.5ml<200ml>/m <sup>2</sup> 。<br>・ 茎葉処理。<br><br>継：<br>・ 0.75mlの効果確認。<br>・ ケンタッキーブルーグラス、ペレニアルライグ<br>ラス、トルフェスクでの効果、薬害の確<br>認。<br>・ 実証試験での確認。 |
|                                                                    | ライグラス<br>類           | 適用性<br>新 規               | 廣済堂札幌CC、<br>那須ナーセリー (2)                              |                                                                                                                                               |         |                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |
|                                                                    | トル<br>フェスク           | 適用性<br>新 規               | 那須ナーセリー                                              |                                                                                                                                               |         |                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |
| 〔日産化学工業〕 (1)                                                       |                      |                          |                                                      |                                                                                                                                               |         |                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |

## A. 除草剤 つづき

| 薬 剤 名<br>(商品名)<br>有効成分および<br>含有率(%)<br>〔委託者〕                                                         | 作物名<br>(品種)          | 試験の<br>種 類<br>新・継<br>の 別 | 試験実施場所<br>< > = 中間または<br>試験実施中(数)                  | 試験設計 〔対象雑草〕<br>処理時期<br>; 薬量g・ml<水量ml>/m <sup>2</sup><br>; 処理方法 ; 比較剤                   | 判<br>定 | 内 容                                                                                                                                                            |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------|--------------------------|----------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------|--------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 26. NC-359<br>粒剤<br>(ﾌﾟﾗﾝﾄﾌﾟﾗｽ)<br>ｼﾞﾅﾋﾞﾙ 0.13%<br>(N:P:K=8:8:8)<br><br>〔日産化学工業〕                     | ｺﾗｲｼﾊﾞ<br>(連用)       | 作用性<br>新 規               | 植調研究所、<br>西日本G研 (2)                                | 〔一年生雑草〕<br>H9春→H9秋→H10春→H10秋<br>雑草発生前<br>; 60g<br>; 土壌処理<br>; 一任                       | 実・継    | 実: [(ｺﾗｲｼﾊﾞ、ｼﾊﾞ) 一年生雑草]<br><br>・ 芝生育期.<br>・ 雑草発生前.<br>・ 30～60g/m <sup>2</sup> .<br>・ 土壌処理.<br>継:<br>・ 連用試験の継続.                                                 |
|                                                                                                      | ｼﾊﾞ<br>(連用)          | 作用性<br>新 規               | 植調研究所、<br>西日本G研 (2)                                |                                                                                        |        |                                                                                                                                                                |
|                                                                                                      | ｺﾗｲｼﾊﾞ<br>ｼﾊﾞ        | 実 証                      | 東日本G研(現地)、<br>埼玉県民G場、<br>久山CC (3)                  | 〔一年生雑草〕<br>雑草発生前<br>; 30g<br>; 土壌処理<br>; 一任 (ﾏﾅｯｸｽ 40gなど)                              |        |                                                                                                                                                                |
| 27. NC-379<br>顆粒水和剤<br>既知化合物<br>(ﾋﾟﾗｼﾞﾝｽﾙﾌｵﾝｴﾁﾙ)<br>10%<br>既知化合物<br>(ｱｼﾞｽﾄﾗﾑ)<br>30%<br><br>〔日産化学工業〕 | ｺﾗｲｼﾊﾞ<br>(殺草ｽﾍﾞｸﾄﾙ) | 作用性<br>新 規               | 植調研究所、<br>千葉大学 (2)                                 | 〔一年生雑草〕<br>雑草生育期 (ﾒﾋﾞﾊﾞ3～5L)<br>; 0.2、0.3、0.4 g<br>; 茎葉処理<br>; 7-ｼﾞﾗﾝ80SG水溶剤 慣行量       | 継      | 継: ・ 成分未公開.<br>・ 効果、薬害の確認.                                                                                                                                     |
|                                                                                                      | ｼﾊﾞ<br>(殺草ｽﾍﾞｸﾄﾙ)    | 作用性<br>新 規               | 植調研究所、<br>千葉大学 (2)                                 |                                                                                        |        |                                                                                                                                                                |
|                                                                                                      | ｺﾗｲｼﾊﾞ               | 適用性<br>新 規               | 小杉CC、<br>石川農総試、<br><小諸高原GC>、<br>大阪農技、<br>西日本G研 (5) |                                                                                        |        |                                                                                                                                                                |
|                                                                                                      | ｼﾊﾞ                  | 適用性<br>新 規               | 小杉CC、<br>植調研究所、<br>那須ｸｰﾚｰ、<br>東広野GC、<br>宮崎CC (5)   |                                                                                        |        |                                                                                                                                                                |
| 28. NCH-94<br>顆粒水和剤<br>(ｻﾝｼｰﾙﾄﾞ水和剤)<br>ﾊﾛｽﾙﾌｵﾝﾒﾁﾙ 10%<br>ｶﾌｧﾝｽﾄﾛｰﾙ 50%<br><br>〔永光化成、<br>日産化学工業〕      | ｺﾗｲｼﾊﾞ               | 適用性<br>新 規               | 奥武蔵CC、<br>東日本G研、<br>新沼津CC、<br>西日本G研 (4)            | 〔一年生雑草〕<br>雑草発生前<br>; 0.2、0.3、0.4g<200-300><br>; 土壌処理<br>; NCH-94 水和剤<br>0.3g<200-300> | 実・継    | 実: [(ｺﾗｲｼﾊﾞ、ｼﾊﾞ) 一年生雑草]<br><br>・ 芝生育期.<br>・ 雑草発生前.<br>・ 0.2～0.4g<200～300ml>/m <sup>2</sup> .<br>・ 土壌処理.<br><br>継:<br>・ 効果、薬害の確認.<br>・ 連用試験での確認.<br>・ 実証試験での確認. |
|                                                                                                      | ｼﾊﾞ                  | 適用性<br>新 規               | 江戸崎CC、<br>奥武蔵CC、<br>南長野CC、<br>東広野GC、<br>宮崎CC (5)   |                                                                                        |        |                                                                                                                                                                |
| 29. NH-502<br>水和剤<br>ｲﾎﾟﾌﾟﾛﾀﾞﾝ 50%<br><br>(つづく)                                                      | ｺﾗｲｼﾊﾞ<br>(連用)       | 作用性<br>継 続               | 東日本G研、<br>西日本G研 (2)                                | 〔一年生雑草〕<br>雑草発生前<br>; 0.3g<200-300><br>; 土壌処理<br>; 無処理                                 | 実・継    | 実: [(ｺﾗｲｼﾊﾞ、ｼﾊﾞ) 一年生雑草]<br><br>・ 芝生育期.<br>・ 雑草発生前.<br>・ 0.2～0.3g<200～300ml>/m <sup>2</sup> .<br>・ 土壌処理.<br><br>継:<br>・ 連用試験の継続.<br>・ 実証試験での確認.                 |
|                                                                                                      | ｼﾊﾞ<br>(連用)          | 作用性<br>継 続               | 東日本G研、<br>中国G連G研 (2)                               |                                                                                        |        |                                                                                                                                                                |
|                                                                                                      | ｺﾗｲｼﾊﾞ<br>(薬害)       | 作用性<br>新 規               | 植調研究所、<br>宇都宮大学 (2)                                | 〔一年生雑草〕<br>雑草発生前<br>; 0.3、0.6、1.2g<200-300><br>; 土壌処理<br>; 一任                          |        |                                                                                                                                                                |
|                                                                                                      | ｼﾊﾞ<br>(薬害)          | 作用性<br>新 規               | 植調研究所、<br>宇都宮大学 (2)                                |                                                                                        |        |                                                                                                                                                                |

A. 除草剤 つづき

| 薬 剤 名<br>(商品名)<br>有効成分および<br>含有率(%)<br>[委託者]                 | 作物名<br>(品種)            | 試験の<br>種 類<br>新・継<br>の 別 | 試験実施場所<br>< > = 中間または<br>試験実施中(数)                             | 試験設計 [対象雑草]<br>処理時期<br>; 薬量g・ml<水量ml>/m <sup>2</sup><br>; 処理方法 ; 比較剤                          | 判<br>定 | 内 容                                                                                                                                                          |
|--------------------------------------------------------------|------------------------|--------------------------|---------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------|--------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 29. NH-502<br>水和剤<br>(つづき)<br><br>[日本農業]                     | コライシバ                  | 適用性<br>継 続               | フアラサムカ-テン、<br>植調研究所、<br>ウイングフィールドGC、<br>新沼津CC、<br>西日本G研 (5)   | [一年生雑草]<br>雑草発生前<br>; 0.15、0.2、0.3g<200-300><br>; 土壌処理<br>; 一任(ウエイファ-FL<br>0.6g<200-300>など)   |        |                                                                                                                                                              |
|                                                              | ノシバ                    | 適用性<br>継 続               | 盛岡南CC、<br>植調研究所、<br>ウイングフィールドGC、<br>甲府国際CC、<br>宮崎CC (5)       |                                                                                               |        |                                                                                                                                                              |
| 30. NP-63<br>液剤<br>mecoprop-P 52%<br><br>[日本曹達]              | コライシバ                  | 適用性<br>継 続               | 植調研究所、<br>那須ナ-リー、<br>東日本G研、<br>リバ-富士CC、<br>琵琶湖CC、<br>鳥取園試 (6) | [広葉雑草]<br>生育期<br>; 0.25、0.375、0.5ml<200><br>; 茎葉処理<br>; MCP液剤 0.75ml<200>                     | 実<br>継 | 実: [(コライシバ、ノシバ、ケンタッキー-<br>-グ-ラス) 広葉雑草]<br>・ 芝生育期.<br>・ 雑草生育期.<br>・ 0.25~0.5ml<200ml>/m <sup>2</sup> .<br>・ 茎葉処理.<br><br>継:<br>・ 多年生広葉雑草の効果確認.<br>・ 実証試験での確認. |
|                                                              | ノシバ                    | 適用性<br>継 続               | 植調岩手、<br>江戸崎CC、<br>習志野CC、<br>リバ-富士CC、<br>琵琶湖CC、<br>祁答院GC (6)  |                                                                                               |        |                                                                                                                                                              |
|                                                              | ケンタッキー<br>ブルー<br>グラス   | 適用性<br>継 続               | 札幌国際CC、<br>札幌芙蓉CC、<br>札幌不二ロイヤルGC、<br>那須ナ-リー (4)               |                                                                                               |        |                                                                                                                                                              |
| 31. OK-701 40F<br>7077-ル剤<br>新規化合物 35%<br><br>[大塚化学]         | コライシバ<br>(殺草ス<br>ベクトル) | 作用性<br>新 規               | 植調研究所、<br>宇都宮大学 (2)                                           | [一年生雑草]<br>雑草発生前(発生前)<br>; 0.1、0.15、0.2ml<200-300><br>; 茎葉処理<br>; ティクトラン乳剤<br>0.15ml<200-300> | 継      | 継: ・ 成分未公開.<br>・ 効果、被害の確認.                                                                                                                                   |
|                                                              | コライシバ<br>(薬害)          | 作用性<br>新 規               | 植調研究所、<br>宇都宮大学 (2)                                           | [一年生雑草]<br>雑草発生前<br>; 0.2、0.4、0.8ml<200-300><br>; 土壌処理<br>; ティクトラン乳剤<br>0.15ml<200-300>       |        |                                                                                                                                                              |
|                                                              | コライシバ                  | 適用性<br>新 規               | 那須ナ-リー、<br>小杉CC、習志野CC、<br>南愛知CC、<br>西日本G研 (5)                 | [一年生雑草]<br>雑草発生前<br>; 0.1、0.15、0.2ml<200-300><br>; 土壌処理<br>; ティクトラン乳剤<br>0.15ml<200-300>      |        |                                                                                                                                                              |
| 32. RGH-840<br>液剤<br>トリクロピ-ル 30%<br>MCP 10%<br><br>[理研グ-リーン] | コライシバ                  | 適用性<br>継 続               | 宇都宮大学、<br>東日本G研、<br>中国G連G研、<br>大阪農技、<br>佐賀CC (5)              | [広葉雑草]<br>雑草生育期<br>; 0.6、0.7、0.8ml<150~200><br>; 茎葉処理<br>; MCP液剤 1.0ml<200>                   | 実<br>継 | 実: [(コライシバ) 広葉雑草]<br>・ 芝生育期.<br>・ 雑草生育期.<br>・ 0.6~0.8ml<150~200ml>/m <sup>2</sup> .<br>・ 茎葉処理.<br><br>継:<br>・ 実証試験での確認.                                      |

## A. 除草剤 つづき

| 薬 剤 名<br>(商品名)<br>有効成分および<br>含有率(%)<br>[委託者]                                                 | 作物名<br>(品種)            | 試験の<br>種 類<br>新・継<br>の 別 | 試験実施場所<br>< > = 中間または<br>試験実施中(数)                        | 試験設計 [対象雑草]<br>処理時期<br>; 薬量g・ml<水量ml>/m <sup>2</sup><br>; 処理方法 ; 比較剤                 | 判<br>定  | 内 容                                                                                                                                                               |
|----------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------|--------------------------|----------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------|---------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 33. RH-315N<br>水和剤<br>(クサゴ-ン水和剤)<br>ハロスルフロンメチル 10%<br>7-ロピサミド 40%<br><br>[ローム・アソ・ハス<br>シヤハソ] | ノシハ                    | 適用性<br>新 規               | 那須ナ-セリ、<br>佐野GC、<br>甲府国際CC、<br>琵琶湖CC、<br>宮崎CC<br><br>(5) | [一年生雑草]<br>雑草発生前<br>; 0.15、0.2、0.3g<200-300><br>; 土壌処理<br>; デイクラン乳剤<br>0.1g<200-300> | 実・<br>継 | 実: [(コライシハ、ノシハ)<br>一年生雑草]<br>・ 芝生育期。<br>・ 雑草発生前。<br>・ 0.2~0.3g<200~300ml>/m <sup>2</sup> 。<br>・ 土壌処理。<br><br>継:<br>・ ノシハでの効果、薬害の確認。<br>・ 連用試験での確認。<br>・ 実証試験での確認。 |
| 34. RYH-105<br>7-ロピサミド剤<br>オキサジクロメキン 30%<br><br>[ローヌ・ア-ラン<br>油化7カロ]                          | コライシハ                  | 適用性<br>継 続               | 小杉CC、<br>ウツグ・フィ-ルトGC、<br>東日本G研、<br>兵庫農技、<br>西日本G研 (5)    | [一年生イネ科雑草]<br>雑草発生前<br>; 0.075、0.1、0.15ml<200-300><br>; 土壌処理<br>; 一任                 | 実・<br>継 | 実: [(コライシハ、ノシハ)<br>一年生イネ科雑草]<br>・ 芝生育期。<br>・ 雑草発生前。<br>・ 0.075~0.15ml<br><200~300ml>/m <sup>2</sup> 。<br>・ 土壌処理。<br><br>継:<br>・ 連用試験での確認。                         |
|                                                                                              | ノシハ                    | 適用性<br>継 続               | 東蔵王GC、総武CC、<br>長野農事、<br>リハ-富士CC、<br>宮崎CC (5)             |                                                                                      |         |                                                                                                                                                                   |
|                                                                                              | コライシハ<br>ノシハ           | 実 証                      | 埼玉県民G場、<br>中国G連G研、<br>門司GC (3)                           | [一年生イネ科雑草]<br>雑草発生前<br>; 0.1ml<200> ; 土壌処理<br>; 一任                                   |         |                                                                                                                                                                   |
|                                                                                              | コナカシ<br>ワ、ツツジ<br>類 他3種 | 緑化木                      | 埼玉花植木<br>(1)                                             | [緑化木に対する影響]<br>①茎葉処理 ; 0.2ml<200><br>②土壌処理 ; 0.4ml<200><br>; 無処理                     |         |                                                                                                                                                                   |
| 35. RYH-106<br>7-ロピサミド剤<br>オキサジアルキル 34.5%<br>(前回30%は訂正)<br><br>[ローヌ・ア-ラン<br>油化7カロ]           | ノシハ<br>(連用)            | 作用性<br>新 規               | 植調研究所、<br>東日本G研<br>(2)                                   | [一年生雑草]<br>H9春→H9秋→H10春→H10秋<br>雑草発生前<br>; 0.2ml<200-300><br>; 土壌処理 ; 一任             | 実・<br>継 | 実: [(コライシハ、ノシハ)<br>一年生雑草]<br>・ 芝生育期。<br>・ 雑草発生前。<br>・ 0.1~0.2ml<200~300ml>/m <sup>2</sup> 。<br>・ 土壌処理。<br><br>継:<br>・ ノシハでの連用試験の継続。<br>・ コライシハにおける連用試験で<br>の確認。   |
|                                                                                              | コライシハ                  | 適用性<br>継 続               | 小杉CC、<br>ウツグ・フィ-ルトGC、<br>東日本G研、<br>タバノスGC、<br>西日本G研 (5)  | [一年生雑草]<br>雑草発生前<br>; 0.1、0.15、0.2 ml<200-300><br>; 土壌処理<br>; 一任                     |         |                                                                                                                                                                   |
|                                                                                              | ノシハ                    | 適用性<br>継 続               | 東蔵王GC、総武CC、<br>リハ-富士CC、<br>タバノスGC、<br>宮崎CC (5)           |                                                                                      |         |                                                                                                                                                                   |
|                                                                                              | コライシハ<br>ノシハ           | 実 証                      | 埼玉県民G場、<br>中国G連G研、<br>門司GC (3)                           | [一年生雑草]<br>雑草発生前<br>; 0.15ml<200><br>; 土壌処理 ; 一任                                     |         |                                                                                                                                                                   |
|                                                                                              | コナカシ<br>ワ、ツツジ<br>類 他3種 | 緑化木                      | 埼玉花植木<br>(1)                                             | [緑化木に対する影響]<br>雑草発生前<br>茎葉処理 ; 0.2ml<200><br>土壌処理 ; 0.4ml<200><br>; 無処理              |         |                                                                                                                                                                   |

## A. 除草剤 つづき

| 薬 剤 名<br>(商品名)<br>有効成分および<br>含有率(%)<br>[委託者]                                                                          | 作物名<br>(品種)              | 試験の<br>種 類<br>新・継<br>の 別 | 試験実施場所<br>< > = 中間または<br>試験実施中(数)                                                              | 試験設計 [対象雑草]<br>処理時期<br>; 薬量g・ml<水量ml>/m <sup>2</sup><br>; 処理方法 ; 比較剤                                           | 判<br>定  | 内 容                                                                                                                                                                    |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------|--------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 36. RYH-108<br>7077 <sup>®</sup> ル剤<br>ジフルフェニル 50%<br><br>[ロース・ブーラン<br>油化7ケロ]                                         | コライシバ                    | 適用性<br>継 続               | 7 <sup>®</sup> ラッサムカ <sup>®</sup> デ <sup>®</sup> ン、<br>奥武蔵CC、<br>東日本G研、<br>花屋敷GC、<br>西日本G研 (5) | [一年生広葉雑草]<br>雑草発生前<br>; 0.075、0.1、0.15ml<200-300><br>; 土壌処理<br>; ターザイン水和剤<br>0.06g <200-300>                   | 継       | 継:<br>・ 薬量と薬害の確認。                                                                                                                                                      |
|                                                                                                                       | ノシハ                      | 適用性<br>継 続               | 7 <sup>®</sup> ラッサムカ <sup>®</sup> デ <sup>®</sup> ン、<br>奥武蔵CC、<br>総武CC、<br>花屋敷GC、<br>鳥取園試 (5)   |                                                                                                                |         |                                                                                                                                                                        |
| 37. RYH-120<br>7077 <sup>®</sup> ル剤<br>オキサジアルキル 9%<br>MCP 40%<br><br>[ロース・ブーラン<br>油化7ケロ]                              | コライシバ                    | 適用性<br>新 規               | 小杉CC、<br>東日本G研、<br>浜松シード <sup>®</sup> GC、<br>中国G連G研、<br>西日本G研 (5)                              | [一年生雑草]<br>メシハ <sup>®</sup> 発生初期<br>; 0.3、0.4、0.5ml<200-300><br>; 茎葉処理<br>; トンナツ <sup>®</sup> 液剤<br>0.3ml<200> | 継       | 継:<br>・ 効果、薬害の確認。                                                                                                                                                      |
|                                                                                                                       | ノシハ                      | 適用性<br>新 規               | 小杉CC、<br>サ <sup>®</sup> GC竜ヶ崎、<br>高坂CC、<br>鳥取園試、<br>中国G連G研 (5)                                 |                                                                                                                |         |                                                                                                                                                                        |
| 38. RYH-121<br>液剤<br>mecoprop-isomer 52%<br><br>[ロース・ブーラン<br>油化7ケロ]                                                   | コライシバ                    | 作用性<br>新 規               | 宇都宮大学 (1)                                                                                      | [広葉雑草]<br>; 別途協議<br>; MCP液剤                                                                                    | 実・<br>継 | 実: [(コライシバ、ノシハ、ケンタッキー <sup>®</sup> フル<br>ーグラス) 広葉雑草]<br>・ 芝生育期。<br>・ 雑草生育期。<br>・ 0.25~0.5ml<200ml>/m <sup>2</sup> 。<br>・ 茎葉処理。<br><br>継:<br>・ 効果、薬害の確認。<br>・ 実証試験での確認。 |
|                                                                                                                       | コライシバ                    | 適用性<br>新 規               | 小杉CC、<br>植調研究所、<br>浜松シード <sup>®</sup> GC、<br>関西G研、<br>佐賀CC (5)                                 | [広葉雑草]<br>雑草生育期<br>; 0.25、0.5ml<100-200><br>; 茎葉処理<br>; MCP液剤<br>0.5、1.0ml<100-200>                            |         |                                                                                                                                                                        |
|                                                                                                                       | ノシハ                      | 適用性<br>新 規               | 小杉CC、<br>植調研究所、<br>浜松シード <sup>®</sup> GC、<br>関西G研、<br>久山CC (5)                                 |                                                                                                                |         |                                                                                                                                                                        |
|                                                                                                                       | ケンタッキー<br>ブルー<br>グラス     | 適用性<br>新 規               | 札幌芙蓉GC、<br>札幌不二ロイヤル、<br>廣済堂札幌CC (3)                                                            |                                                                                                                |         |                                                                                                                                                                        |
| 39. SB-325<br>7077 <sup>®</sup> ル剤<br>(ハースト7077 <sup>®</sup> ル)<br>TPN 53%<br><br>[イス・ディー・イス<br>ハ <sup>®</sup> イオテック] | コライシバ                    | 適用性<br>継 続               | 奥武蔵CC、<br>那須ナセー、<br>総武CC、<br>習志野CC、<br>門司GC (5)                                                | [藻、苔類]<br>藻、苔類の発生前~発生始期<br>; 1.0、1.54ml<1000><br>; 土壌処理<br>; 一任                                                | 実・<br>継 | 実: [(コライシバ、ハ <sup>®</sup> ントグラス) 藻類]<br>・ 芝生育期。<br>・ 藻類発生前。<br>・ 1.0~1.54ml<1,000ml>/m <sup>2</sup> 。<br>・ 土壌処理。<br><br>継:<br>・ 実証試験での確認。                              |
|                                                                                                                       | ハ <sup>®</sup> ント<br>グラス | 適用性<br>継 続               | 奥武蔵CC、総武CC、<br>大月CC、<br><小諸高原GC>、<br>花屋敷GC、<br>祁答院GC (6)                                       |                                                                                                                |         |                                                                                                                                                                        |

## A. 除草剤 つづき

| 薬 剤 名<br>(商品名)<br>有効成分および<br>含有率(%)<br>[委託者]                                         | 作物名<br>(品種)        | 試験の<br>種 類<br>新・継<br>の 別 | 試験実施場所<br>< > = 中間または<br>試験実施中(数)                        | 試験設計 [対象雑草]<br>処理時期<br>; 薬量g・ml<水量ml>/m <sup>2</sup><br>; 処理方法 ; 比較剤                | 判<br>定  | 内 容                                                                                                                              |
|--------------------------------------------------------------------------------------|--------------------|--------------------------|----------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------|---------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 40. SL-160<br>粒剤<br>フザスルフロン<br>0.1%<br><br>[石原産業]                                    | コライシバ              | 適用性<br>継 続               | 東日本G研(現地)、<br>石川農総試、<br>佐野GC、<br>佐賀CC (4)                | [一年生雑草]<br>雑草発生前<br>; 4、5、6 g<br>; 土壌処理<br>; パナフィン粒剤 10g<br>または慣行の粒剤                | 実・<br>継 | 実 : [(コライシバ、ノシバ)<br>一年生雑草]<br>・ 芝生育期.<br>・ 雑草発生前.<br>・ 4~6g/m <sup>2</sup> .<br>・ 土壌処理.<br><br>継 :<br>・ 連用試験での確認.<br>・ 実証試験での確認. |
|                                                                                      | ノシバ                | 適用性<br>継 続               | 東日本G研(現地)、<br>静岡高冷地、<br>富士国際GC、<br>宮崎CC (4)              |                                                                                     |         |                                                                                                                                  |
| 41. TG-02<br>粒剤<br>ハースロジン<br>1.33%<br>トリフルラジン<br>0.67%<br><br>[東洋グリーン、<br>ダウ・ケミカル日本] | コライシバ<br>(連用)      | 作用性<br>新 規               | 植調研究所、<br>中国G連G研 (2)                                     | [一年生雑草]<br>H9春→H9秋→H10春→H10秋<br>雑草発生前<br>; 20g ; 土壌処理<br>; 一任                       | 継       | 継 :<br>・ 効果、薬害の確認.<br>・ 連用試験での確認.<br>・ 実証試験での確認.                                                                                 |
|                                                                                      | コライシバ              | 適用性<br>新 規               | 茨城農総園研、<br>高坂CC、新沼津CC、<br>桑名CC、<br>西日本G研 (5)             | [一年生雑草]<br>雑草発生前<br>; 10、15、20g<br>; 土壌処理<br>; パナフィン粒剤 16g                          |         |                                                                                                                                  |
|                                                                                      | ノシバ                | 適用性<br>新 規               | 植調研究所、<br>那須ナセリー、<br>桑名CC、<br>久山CC、<br>植調岩手 (5)          |                                                                                     |         |                                                                                                                                  |
| 42. TG-03<br>粒剤<br>ハースロジン<br>1.0%<br>オリザリン<br>1.0%<br><br>[東洋グリーン、<br>ダウ・ケミカル日本]     | コライシバ<br>(連用)      | 作用性<br>新 規               | 植調研究所、<br>中国G連G研 (2)                                     | [一年生雑草]<br>H9春→H9秋→H10春→H10秋<br>雑草発生前<br>; 20g ; 土壌処理<br>; 一任                       | 継       | 継 :<br>・ 効果、薬害の確認.<br>・ 連用試験での確認.<br>・ 実証試験での確認.                                                                                 |
|                                                                                      | コライシバ              | 適用性<br>新 規               | 茨城農総園研、<br>新沼津CC、桑名CC、<br>大阪農技、<br>佐賀CC (5)              | [一年生雑草]<br>雑草発生前<br>; 10、15、20g<br>; 土壌処理<br>; パナフィン粒剤16g                           |         |                                                                                                                                  |
|                                                                                      | ノシバ                | 適用性<br>新 規               | 植調岩手、<br>那須ナセリー、<br>高坂CC、桑名CC、<br>宮崎CC (5)               |                                                                                     |         |                                                                                                                                  |
| 43. TH-913S<br>フロアール剤<br>イマゾスルフロン<br>5.3%<br>SAP<br>33.3%<br><br>[トメツ、<br>武田薬品工業]    | コライシバ<br>(薬害)      | 作用性<br>新 規               | 東日本G研、<br>西日本G研 (2)                                      | [一年生雑草<br>及び多年生広葉雑草]<br>雑草発生前<br>; 0.75、1.0、2.0、4.0ml<br><200-300><br>; 土壌処理 ; 別途協議 | 継       | 継 :<br>・ 効果、薬害の確認.                                                                                                               |
|                                                                                      | ハント<br>グラス<br>(薬害) | 作用性<br>新 規               | 東日本G研、<br>中国G連G研 (2)                                     |                                                                                     |         |                                                                                                                                  |
|                                                                                      | コライシバ              | 適用性<br>新 規               | 東蔵王GC、<br>植調研究所、<br>ウィンガフィールドGC、<br>中国G連G研、<br>西日本G研 (5) | [一年生雑草<br>及び多年生広葉雑草]<br>雑草発生前<br>; 0.75、1.0、1.5ml<200-300><br>; 土壌処理<br>; 別途協議      |         |                                                                                                                                  |
|                                                                                      | ハント<br>グラス         | 適用性<br>新 規               | 総武CC、大月CC、<br><小諸高原GC>、<br>祁答院GC (4)                     |                                                                                     |         |                                                                                                                                  |

A. 除草剤 つづき

| 薬 剤 名<br>(商品名)<br>有効成分および<br>含有率(%)<br>〔委託者〕                                                                                   | 作物名<br>(品種)                         | 試験の<br>種 類<br>新・継<br>の 別 | 試験実施場所<br>< > = 中間または<br>試験実施中(数)          | 試験設計 〔対象雑草〕<br>処理時期<br>; 薬量g・ml<水量ml>/m <sup>2</sup><br>; 処理方法 ; 比較剤                                                               | 判<br>定  | 内 容                                                                                                                                                                                      |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------|--------------------------|--------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 44. YH-552<br>水和剤<br>ビ <sup>®</sup> リフ <sup>®</sup> チカルブ 20%<br>ビ <sup>®</sup> フェノックス 40%<br><br>〔八州化学工業〕                      | ノシハ <sup>®</sup><br><8年度>           | 適用性<br>継 続               | <大阪GC><br><br>(1)                          | 〔一年生雑草〕<br>雑草発生前<br>; 0.6、0.8、1.0 g<200-300><br>; 土壌処理<br>; 一任                                                                     | 実・<br>継 | (前回判定どおり)<br>実: [(コライシバ <sup>®</sup> 、ノシハ <sup>®</sup> 、ベントグ <sup>®</sup> ラス)<br>一年生雑草]<br>・ 芝生育期.<br>・ 雑草発生前.<br>・ 0.6~1.0g<200~300ml>/m <sup>2</sup> .<br>・ 土壌処理.<br>継:<br>・ 抑草期間について. |
| 45. YH-592<br>水和剤<br>カフェストロール 60%<br>シノスルフロン 5%<br><br>〔八州化学工業〕                                                                | コライシバ <sup>®</sup><br>(殺草ス<br>ペクトル) | 作用性<br>新 規               | 中国G連G研、<br>東日本G研 (2)                       | 〔一年生雑草〕<br>雑草発生前<br>; 0.15、0.2、0.25、0.3g<br><200-300><br>; 土壌処理<br>; 一任                                                            | —       | —                                                                                                                                                                                        |
|                                                                                                                                | ノシハ <sup>®</sup><br>(殺草ス<br>ペクトル)   | 作用性<br>新 規               | 植調研究所、<br>西日本G研 (2)                        | ; 土壌処理<br>; 一任                                                                                                                     |         |                                                                                                                                                                                          |
|                                                                                                                                | コライシバ <sup>®</sup><br>(薬害)          | 作用性<br>新 規               | 東日本G研、<br>中国G連G研 (2)                       | 〔一年生雑草〕<br>雑草発生前<br>; 0.3、0.6、1.2g<200-300><br>; 土壌処理<br>; 一任                                                                      |         |                                                                                                                                                                                          |
|                                                                                                                                | ノシハ <sup>®</sup><br>(薬害)            | 作用性<br>新 規               | 植調研究所、<br>西日本G研 (2)                        | ; 土壌処理<br>; 一任                                                                                                                     |         |                                                                                                                                                                                          |
| 46. オルソ <sup>®</sup> ソナー <sup>®</sup> 90<br>乳剤<br>オルソ <sup>®</sup> ソナー <sup>®</sup> 90%<br><br>〔理研グリーン〕                        | コライシバ <sup>®</sup>                  | 適用性<br>新 規               | 東日本G研(現地)、<br>小杉CC、<br>植調研究所、<br>東日本G研 (4) | 〔一年生イネ雑草〕<br>雑草発生前<br>; 0.6、0.9 ml<200-300><br>; 土壌処理<br>; ランレイ乳剤 1.2ml<300>                                                       | 実・<br>継 | 実: [(コライシバ <sup>®</sup> )<br>一年生イネ科雑草]<br>・ 芝生育期.<br>・ 雑草発生前.<br>・ 0.6~0.9 ml<200-300>.<br>・ 土壌処理.<br>継:<br>・ 連用試験での確認.<br>・ 実証試験での確認.                                                   |
| 47. シアナジ <sup>®</sup> ン<br>707 <sup>®</sup> 乳剤<br>シアナジ <sup>®</sup> ン 42%<br><br>〔日本サイアミット <sup>®</sup> 〕                      | コライシバ <sup>®</sup><br>(連用)          | 作用性<br>継 続               | 西日本G研 (1)                                  | 〔一年生雑草〕<br>H8秋→H9春→H9秋→H10春<br>雑草発生前<br>; 0.2ml<200-250><br>; 土壌処理<br>; 一任                                                         | 実・<br>継 | 実: [(コライシバ <sup>®</sup> 、ノシハ <sup>®</sup> )<br>一年生雑草]<br>・ 芝生育期.<br>・ 雑草発生前.<br>・ 0.1~0.2 ml<200-250ml>/m <sup>2</sup> .<br>・ 土壌処理.<br>継:<br>・ 連用試験の継続.<br>・ 実証試験での確認.                   |
| 48. ナ <sup>®</sup> ロハ <sup>®</sup> ミト <sup>®</sup><br>顆粒水和剤<br>ナ <sup>®</sup> ロハ <sup>®</sup> ミト <sup>®</sup> 48%<br><br>(つづく) | コライシバ <sup>®</sup><br>(殺草ス<br>ペクトル) | 作用性<br>新 規               | 植調研究所、<br>宇都宮大学 (2)                        | 〔一年生雑草〕<br>雑草発生前<br>; 0.3、0.4、0.6g<200-300><br>; 土壌処理<br>; ナ <sup>®</sup> ロハ <sup>®</sup> ミト <sup>®</sup> 水和剤<br>0.6g<200-300>     | 実・<br>継 | 実: [(コライシバ <sup>®</sup> 、ノシハ <sup>®</sup> )<br>一年生イネ科雑草]<br>・ 芝生育期.<br>・ 雑草発生前.<br>・ 0.6g<200-300ml>/m <sup>2</sup> .<br>・ 土壌処理.<br>継:<br>・ 低薬量の効果確認.<br>・ 連用試験の継続.<br>・ 実証試験での確認.       |
|                                                                                                                                | ノシハ <sup>®</sup><br>(殺草ス<br>ペクトル)   | 作用性<br>新 規               | 植調研究所、<br>宇都宮大学 (2)                        | ; ナ <sup>®</sup> ロハ <sup>®</sup> ミト <sup>®</sup> 水和剤<br>0.6g<200-300>                                                              |         |                                                                                                                                                                                          |
|                                                                                                                                | コライシバ <sup>®</sup><br>(薬害)          | 作用性<br>新 規               | 植調研究所、<br>宇都宮大学 (2)                        | 〔一年生雑草〕<br>雑草発生前<br>; 0.8、1.2、1.6、2.4g<200-300><br>; 土壌処理<br>; ナ <sup>®</sup> ロハ <sup>®</sup> ミト <sup>®</sup> 水和剤<br>0.6g<200-300> |         |                                                                                                                                                                                          |
|                                                                                                                                | ノシハ <sup>®</sup><br>(薬害)            | 作用性<br>新 規               | 植調研究所、<br>宇都宮大学 (2)                        | ; ナ <sup>®</sup> ロハ <sup>®</sup> ミト <sup>®</sup> 水和剤<br>0.6g<200-300>                                                              |         |                                                                                                                                                                                          |

## A. 除草剤 つづき

| 薬 剤 名<br>(商品名)<br>有効成分および<br>含有率(%)<br>[委託者]                                     | 作物名<br>(品種)          | 試験の<br>種 類<br>新・継<br>の 別 | 試験実施場所<br>< > = 中間または<br>試験実施中(数)                                              | 試験設計 [対象雑草]<br>処理時期<br>; 薬量g・ml<水量ml>/m <sup>2</sup><br>; 処理方法 ; 比較剤                          | 判<br>定      | 内 容                                                                                                                                                                                                                                                                                            |
|----------------------------------------------------------------------------------|----------------------|--------------------------|--------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------|-------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 48. ナフ・ロハ・ミト<br>顆粒水和剤<br>(つづき)<br><br>[セ・ホ]                                      | コライシバ<br>(連用)        | 作用性<br>新 規               | 植調研究所、<br>中国G連G研 (2)                                                           | [一年生雑草]<br>H9春→H9秋→H10春→H10秋<br>雑草発生前<br>; 0.6g<200-300><br>; 土壌処理 ; 一任                       |             |                                                                                                                                                                                                                                                                                                |
|                                                                                  | ノシハ<br>(連用)          | 作用性<br>新 規               | 植調研究所、<br>中国G連G研 (2)                                                           |                                                                                               |             |                                                                                                                                                                                                                                                                                                |
|                                                                                  | コライシバ                | 作用性<br>新 規               | ブラッサムガ・デーン、<br>石川農総試、<br>那須ナ・セー、<br>高坂CC、タイガ・スGC、<br>西日本G研 (6)                 | [一年生雑草]<br>雑草発生前<br>; 0.3、0.4、0.6g<200-300><br>; 土壌処理<br>; ナフ・ロハ・ミト 水和剤<br>0.6g<200-300>      |             |                                                                                                                                                                                                                                                                                                |
|                                                                                  | ノシハ                  | 作用性<br>新 規               | ブラッサムガ・デーン、<br>東日本G研(現地)、<br>サ・GC竜ヶ崎、<br>大月CC(コライシバ)、<br>東広野GC、<br>タイガ・スGC (6) |                                                                                               |             |                                                                                                                                                                                                                                                                                                |
| 49. フ・ロジ・アミン<br>フロアフル剤<br>フ・ロジ・アミン 41%<br><br>[エス・ディー・エス<br>ハ・イオテック]             | コライシバ                | 適用性<br>継 続               | 習志野CC、<br>石川農総試、<br>西日本G研 (3)                                                  | [一年生雑草(本科は除く)]<br>雑草発生前<br>; 0.08、0.12、0.16ml<250><br>; 土壌処理<br>; クサブ・ロック水和剤<br>0.12g<250>    | 実<br>・<br>継 | 実: [(コライシバ、ノシハ、<br>ケンタッキー・フルー・グラス、<br>ハ・ミュー・ター・グラス)一年生雑草]<br>・ 芝生育期.<br>・ 雑草発生前.<br>・ 0.08~0.16ml<br><200~300ml>/m <sup>2</sup> .<br>・ 土壌処理.<br><br>注) ・ベントグラスはグリーンを除く.<br>・ 本科雑草の発生の多い場所での<br>使用は注意する.<br><br>継:<br>・ 連用試験での確認.<br>(フロアフル剤か顆粒水和剤どちら<br>からか実施.)                                |
|                                                                                  | ノシハ                  | 適用性<br>継 続               | 南長野GC、<br>タイガ・スGC、<br>久山CC (3)                                                 |                                                                                               |             |                                                                                                                                                                                                                                                                                                |
|                                                                                  | ベント<br>グラス           | 適用性<br>継 続               | 総武CC、<br>祁答院GC (2)                                                             |                                                                                               |             |                                                                                                                                                                                                                                                                                                |
|                                                                                  | ケンタッキー<br>フルー<br>グラス | 適用性<br>継 続               | 札幌国際CC、<br>小樽CC、<br>盛岡南CC (3)                                                  |                                                                                               |             |                                                                                                                                                                                                                                                                                                |
|                                                                                  | ハ・ミュー<br>ター<br>グラス   | 適用性<br>継 続               | 新沼津CC、<br>桑名CC、<br>琵琶湖CC (3)                                                   |                                                                                               |             |                                                                                                                                                                                                                                                                                                |
|                                                                                  | コライシバ<br>ノシハ         | 実 証                      | 東日本G研(現地)、<br>埼玉県民G場、<br>門司GC (3)                                              | [一年生雑草(本科は除く)]<br>雑草発生前<br>; 0.12ml<250> ; 土壌処理<br>; クサブ・ロック水和剤 0.12g<250>                    |             |                                                                                                                                                                                                                                                                                                |
| 50. フ・ロジ・アミン<br>顆粒水和剤<br>(クサブ・ロック)<br>フ・ロジ・アミン 63%<br><br>[エス・ディー・エス<br>ハ・イオテック] | コライシバ<br><8年度>       | 適用性<br>継 続               | <鳳鳴CC><br><br>(1)                                                              | [一年生イネ科雑草]<br>雑草発生前<br>; 0.06、0.08、0.1g<250-300><br>; 土壌処理<br>; フ・ロジ・アミン水和剤<br>0.12g<250-300> | 実<br>・<br>継 | 実: [(コライシバ、ノシハ、<br>ケンタッキー・フルー・グラス、<br>ハ・ミュー・ター・グラス)一年生雑草]<br>・ 芝生育期.<br>・ 雑草発生前.<br>・ 一年生雑草対象;<br>0.12~0.24g<br>一年生イネ科雑草対象;<br>0.06~0.1g<200~250ml>/m <sup>2</sup> .<br>・ 土壌処理.<br>注) ・ベントグラスはグリーンを除く.<br>・ 本科雑草の発生の多い場所での<br>使用は注意する.<br><br>継:<br>・ 連用試験での確認.<br>(フロアフル剤か顆粒水和剤どちら<br>からか実施.) |
|                                                                                  | コライシバ                | 適用性<br>継 続               | 東日本G研(現地)、<br>石川農総試、<br>西日本G研 (3)                                              | [一年生イネ科雑草]<br>雑草発生前<br>; 0.06、0.08、0.1g<250><br>; 土壌処理<br>; クサブ・ロック水和剤<br>0.12g<250>          |             |                                                                                                                                                                                                                                                                                                |
|                                                                                  | ノシハ                  | 適用性<br>継 続               | 大月CC、<br>タイガ・スGC、<br>佐賀CC (3)                                                  |                                                                                               |             |                                                                                                                                                                                                                                                                                                |

A. 除草剤 つづき

| 薬 剤 名<br>(商品名)<br>有効成分および<br>含有率(%)<br>[委託者]                                                       | 作物名<br>(品種)    | 試験の<br>種 類<br>新・継<br>の 別 | 試験実施場所<br>< > = 中間または<br>試験実施中(数) | 試験設計 [対象雑草]<br>処理時期<br>; 薬量g・ml<水量ml>/m <sup>2</sup><br>; 処理方法 ; 比較剤 | 判<br>定  | 内 容                                                                                                                                                                        |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------|--------------------------|-----------------------------------|----------------------------------------------------------------------|---------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 51. 7° ロンファミン肥料<br>粒剤<br>(テマナックス)<br>7° ロンファミン 0.24%<br>(N:P:K=8:8:8)<br><br>[イス・ディー・イス<br>ハイオテック] | コライシバ<br><8年度> | 適用性<br>継 続               | <大阪CC><br><br>(1)                 | [一年生雑草(本科除く)]<br>雑草発生前<br>; 30、40、50 g<br>; 土壌処理<br>; 一任             | 実・<br>継 | 実: [(コライシバ、ノシバ)<br>一年生雑草]<br><br>・ 芝生育期.<br>・ 雑草発生前.<br>・ 30~60g/m <sup>2</sup> .<br>・ 土壌処理.<br><br>注) ・ 本科雑草の発生の多い場<br>所での使用は注意する.<br><br>継: ・ 低中薬量の効果確認.<br>(・ 肥料形態の検討.) |

B. 生育調節剤

| 薬 剤 名<br>(商品名)<br>有効成分および<br>含有率(%)<br>[委託者]                                                    | 作物名<br>(品種)         | 試験の<br>種 類<br>新・継<br>の 別 | 試験実施場所<br>< > = 中間または<br>試験実施中(数)                               | 試験設計 [対象雑草]<br>処理時期<br>; 薬量g・ml<水量ml>/m <sup>2</sup><br>; 処理方法 ; 比較剤                                                              | 判<br>定 | 内 容                                                                                                                |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------|--------------------------|-----------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1. AS-1<br>液剤<br>5-ニトログァヤコ-ルナトリウム<br>0.1%<br>オルソニトロフェ-ルナトリウム<br>0.2%<br>ハ-ラニトロフェ-ルナトリウム<br>0.3% | コライシバ               | 作用性<br>継 続               | 千葉大学、<br>千葉農試<br><br>(2)                                        | [張り芝後の活着促進<br>(処理回数の検討)]<br>①張り芝直後1回<br>②直後と7日後の2回<br>③直後、7日、14日後の3回<br>; 1,000倍液<1,000><br>; 茎葉処理<br>; 無処理<水1,000>               | 実      | 実: [(コライシバ)<br>張り芝後の活着促進]<br>・ 張り芝直後~14日まで3<br>回、7日間隔.<br>・ 2,000~1,000倍液<br><1,000ml>/m <sup>2</sup> .<br>・ 茎葉処理. |
|                                                                                                 |                     |                          | <小杉CC>、<br>茨城農総園研、<br>江戸崎CC、<br>奥武蔵CC(ノシバ)、<br>門司GC(ノシバ)<br>(5) | [張り芝後の活着促進]<br>張り芝直後、7日、14日後の<br>3回<br>; 2,000、1,000倍<1,000><br>; 茎葉処理<br>; 無処理<水1,000>                                           |        |                                                                                                                    |
|                                                                                                 | ハント<br>グラス          | 作用性<br>継 続               | 千葉大学、<br>千葉農試<br><br>(2)                                        | [播種後の生育促進]<br>①播種前種子浸漬処理(2時間)<br>↓<br>茎葉処理; 播種後7日目より<br>7日毎4回<br>②茎葉処理; 播種直後より7日<br>毎5回<br>; 2,000、1,000倍<1,000><br>; 無処理<水1,000> | —      | —                                                                                                                  |
|                                                                                                 | ハント<br>グラス<br><8年度> | 適用性<br>新 規               | <東名根羽CC><br><br>(1)                                             | [活力維持と生育の回復効果]<br>夏期(梅雨明けより9月上旬)、<br>; 7~10日毎5回茎葉処理<br>; 2,000、1,000倍<br>; 無処理<水1,000>                                            | 継      | 継: ・ 効果の確認.                                                                                                        |
|                                                                                                 | ハント<br>グラス          | 適用性<br>継 続               | 江戸崎CC、<br>奥武蔵CC、<br>総武CC、<br>大月CC、<br>祁答院GC<br>(5)              | [活力維持と生育の回復]<br>7/下、8/上、8/中、8/下、<br>9/上の5回<br>; 2,000、1,000倍<1,000><br>; 茎葉処理<br>; 無処理<水1,000>                                    |        |                                                                                                                    |

[旭化学工業]

## B. 生育調節剤 つづき

| 薬 剤 名<br>(商品名)<br>有効成分および<br>含有率(%)<br>[委託者]                                            | 作物名<br>(品種)                                     | 試験の<br>種 類<br>新・継<br>の 別 | 試験実施場所<br>< > = 中間または<br>試験実施中(数)                       | 試験設計 [対象雑草]<br>処理時期<br>; 薬量g・ml<水量ml>/m <sup>2</sup><br>; 処理方法 ; 比較剤                                                                  | 判<br>定 | 内 容                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |
|-----------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------|--------------------------|---------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 2. CG-186<br>水和剤<br>(フ リモ WSB水和剤)<br>トリネキサ <sup>®</sup> ッケエ <sup>®</sup> ル 25%          | コライシバ<br><8年度<br>翌春>                            | 作用性<br>継 続               | <桑名CC>、<br>琵琶湖CC<br>(2)                                 | [処理時期、翌年への影響]<br>① 6月、② 7月、③ 8月、<br>④ 9月、⑤ 10月<br>; 0.04 g<150> ; 無処理                                                                 | 実<br>継 | 実 : [(コライシバ <sup>®</sup> 、ノシバ <sup>®</sup> 、ケンタッキー <sup>®</sup> ブル<br>-グ <sup>®</sup> ラス、バーミュー <sup>®</sup> グ <sup>®</sup> ラス)生育抑制<br>効果による刈込み軽減]<br>・ 生育期.<br>・ コライシバ <sup>®</sup> 、ノシバ <sup>®</sup><br>0.02~0.04、<br>0.02~0.04→0.02~0.04<br>g<150ml>/m <sup>2</sup> .<br>ケンタッキー <sup>®</sup> ブル-グ <sup>®</sup> ラス<br>0.04~0.06g<150ml>/m <sup>2</sup> 、<br>バーミュー <sup>®</sup> グ <sup>®</sup> ラス<br>0.03~0.06g<150ml>/m <sup>2</sup> .<br>・ 茎葉処理.<br>継 : ・ 体系処理の効果、<br>葉害の確認.<br>・ 翌年の芝に対する影響につい<br>て、<br>・ バーミュー <sup>®</sup> グ <sup>®</sup> ラスの効果確認. |
|                                                                                         | ノシバ <sup>®</sup><br><8年度<br>>                   | 適用性<br>継 続               | <鳳鳴CC><br>(1)                                           | [生育抑制による刈込み軽減効<br>果(低薬量と体系処理)]<br>前処理 ; 5月末~6月始<br>後処理 ; 前処理の効果が切れる<br>時期<br>[0.02、0.02→0.02、<br>0.04、0.04→0.04g<150><br>; 0.08g<150> |        |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |
|                                                                                         | ケンタッキー <sup>®</sup><br>ブル-<br>グ <sup>®</sup> ラス | 適用性<br>継 続               | 札幌芙蓉CC、<br>太平洋C札幌、<br>廣済堂札幌CC、<br>那須ナ-セー<br>(4)         | [生育抑制による<br>刈込み軽減効果]<br>芝生育期(5月末~6月)<br>; 0.04、0.06、0.08g<150><br>; 無処理<br>(翌年の芝に対する影響につい<br>ても検討)                                    |        |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |
|                                                                                         | バーミュー <sup>®</sup><br>グ <sup>®</sup> ラス         | 適用性<br>新 規               | 新沼津CC、<br>桑名CC、<br>琵琶湖CC、<br>祁答院GC<br>(4)               | [生育抑制による<br>刈込み軽減効果]<br>芝生育期(5月末~6月)<br>; 0.03、0.04、0.06g<150><br>; 無処理                                                               |        |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |
| 3. NOK-1<br>液剤<br>E. cloacae No. 11-5<br>株培養濾液                                          | コライシバ                                           | 作用性<br>継 続               | <千葉大学>、<br>千葉農試<br>(2)                                  | [張り芝時の活着促進]<br>張り芝直後、7日後の2回<br>; 1,000、500、200、100倍<1,000><br>; 茎葉処理<br>; 無処理<水1,000>                                                 | 継      | 継 :<br>・ 効果、葉害の確認.                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |
|                                                                                         |                                                 | 適用性<br>新 規               | <小杉CC>、<br>茨城農総園研<br>植調研究所<br>(3)                       | [張り芝後の活着促進]<br>張り芝直後、7日後の2回<br>; 500、200、100倍<1,000><br>; 茎葉処理<br>; 無処理<水1,000>                                                       |        |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |
|                                                                                         | バント<br>グ <sup>®</sup> ラス                        | 作用性<br>新 規               | <千葉大学>、<br>千葉農試<br>(2)                                  | [播種後の発根促進]<br>発芽直後、7日後の2回<br>; 1,000、500、200、100倍<1,000><br>; 茎葉処理<br>; ハイ <sup>®</sup> ネックス<水1,000><br>無処理<水1,000>                   |        |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |
| 4. STC4771+GA <sub>3</sub><br>液剤<br>GA <sub>3</sub> 4.0%<br>STC4771 0.2%<br>[タマ生化学、トメツ] | 芝                                               | 作用性<br>新 規               | 宇都宮大学、<br>関西G研<br>(2)                                   | [低温期又は早春の<br>萌芽生育促進]<br>別途協議                                                                                                          | -      | -                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |
| 5. ACM-01<br>機器<br>π ウィ-ター                                                              | コライシバ                                           | 基 礎<br>新 規               | <小杉CC>、<br>植調研究所、<br>宇都宮大学、<br>東日本G研、<br><西日本G研><br>(5) | [生育維持(促進)]<br>別途協議                                                                                                                    | -      | -                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |

## 平成9年度茶園関係 除草剤・生育調節剤試験成績概要

財団法人 日本植物調節剤研究協会

平成9年度茶園関係除草剤・生育調節剤試験成績検討会は、平成9年11月5日(水)に静岡県島田市の宮美殿において開催された。

この検討会には、試験関係者9名、委託関係者13名のほか、計25名の参集を得て、除草

剤2薬剤(5点)、生育調節剤3薬剤(17点)について、試験成績の報告と検討が行われた。

その判定結果及び使用基準については、次の判定表に示すとおりである。

### 平成9年度 茶園関係除草剤・生育調節剤試験供試薬剤および判定結果一覧

#### A. 除草剤

| 薬剤名<br>(商品名)<br>有効成分および<br>含有率(%)<br>[委託者]                    | 作物名<br>(品種) | 試験の<br>種類・継<br>続の別 | 試験実施場所<br>< > = 中間または<br>試験実施中(数)           | 試験設計 [対象雑草]<br>処理時期<br>; 薬量g・ml<水量ℓ>/a<br>; 処理方法 ; 比較剤                                                  | 判<br>定 | 内 容                                                                              |
|---------------------------------------------------------------|-------------|--------------------|---------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------|----------------------------------------------------------------------------------|
| 1. MON-96A<br>液<br>グリサート7ソニウム塩<br>41%<br>[日本モンサント]            | 茶           | 適用性<br>新規          | 静岡茶試、<br>香川農試<br>満濃<秋>、<br>鹿児島茶試<br>(3)     | [雑草全般]<br>春期および夏期、雑草生育期。<br>; 25ml<2.5, 5ℓ>、50ml<2.5ℓ>。<br>(専用ノズル使用)<br>; 茎葉処理。<br>比)ワント77° 25ml<2.5ℓ>。 | 継      | 継)・効果、薬害の確認                                                                      |
| 2. ULV-03<br>液<br>(ランドマスター)<br>グリサート7ソニウム塩<br>6%<br>[日本モンサント] | 茶           | 適用性<br>継続          | <8年度><br>宮崎総農試茶業 (1)<br><9年度><br>香川農試満濃 (1) | [雑草全般]<br>春期あるいは夏期、<br>雑草生育期(草丈30cm程度)<br>; 300、400、500ml<原液散布>。<br>; 茎葉処理。<br>比)ワント77° 液 50ml<2.5ℓ>    | 実      | 実)[雑草全般]<br>・春～夏期、<br>雑草生育期(草丈30cm)<br>・300～500ml/a<br>・原液散布(専用散布器使用)。<br>・茎葉処理。 |

#### B. 生育調節剤

| 薬剤名<br>(商品名)<br>有効成分および<br>含有率(%)<br>[委託者]                                    | 作物名<br>(品種) | 試験の<br>種類・継<br>続の別 | 試験実施場所<br>< > = 中間または<br>試験実施中(数)                                                                                                               | 試験設計 [対象雑草]<br>処理時期<br>; 薬量g・ml<水量mlℓ>/a<br>; 処理方法 ; 比較剤                                                | 判<br>定 | 内 容       |
|-------------------------------------------------------------------------------|-------------|--------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------|-----------|
| 1. SB-714<br>乳<br>(ネマモール乳剤)<br>ジクロロイソクワロリン酸エチル<br>80%<br>[イス・ティ・イス<br>ハイトテック] | 茶           | 適用性<br>継続          | <8年度><br>奈良農試茶業、<br>京都茶研、<br>滋賀茶指導、<br>福岡農総試八女、<br>熊本農研茶研 (5)<br><9年度><br><奈良農試茶業>、<br><京都茶研>、<br><滋賀茶指導>、<br><福岡農総試<br>八女>、<br><熊本農研茶研><br>(5) | [VA菌の増殖による増収・品質<br>改良効果(連年処理3年目)]<br>5月中旬～6月上旬および<br>9月中旬～10月上旬の2回。<br>; 200倍<100ℓ>。<br>; 土壌処理(雨落ち部散布)。 | 継      | 継)・効果の確認。 |
|                                                                               |             |                    | イス・ティ・イス<br>ハイトテック                                                                                                                              | [VA菌根菌数の測定]                                                                                             |        |           |

## B. 生育調節剤 つづき

| 薬 剤 名<br>(商品名)<br>有効成分および<br>含有率(%)<br>[委託者]                  | 作物名<br>(品種) | 試験の<br>種 類<br>新・継<br>の 別 | 試験実施場所<br>< > = 中間または<br>試験実施中(数)            | 試験設計 [対象雑草]<br>処理時期<br>; 薬量g・ml<水量ℓ>/a<br>; 処理方法 ; 比較剤                                                               | 判<br>定 | 内 容       |
|---------------------------------------------------------------|-------------|--------------------------|----------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------|-----------|
| 2. SGA-1<br>水溶<br>担子菌類菌体抽出<br>物 6%<br>[雪印種苗]                  | 茶           | 適用性<br>継 続               | 埼玉茶試、<br>京都茶研、<br>福岡農総試八女、<br>宮崎総農試茶業<br>(4) | [新芽の生育促進と品質向上]<br>・一番茶萌芽1週間前<br>・二番茶萌芽直前。<br>; 500、600、800倍<30ℓ><br>展着剤加用。<br>; 茎葉処理(立木全面散布)。                        | 継      | 継)・効果の確認。 |
| 3. RIC-1<br>液<br>海藻ネーネット<br><br><br><br><br><br>[ロイヤルンダーストリス] | 茶           | 作用性<br>継 続               | 野菜・茶業試<br>(1)                                | [挿木の根および地上部の生長<br>に及ぼす影響]<br>挿木時。<br>; 0.063、0.125、0.25、0.375、<br>0.5ml<100ml>/1ℓ/5000a <sup>※</sup> ット<br>; 土壌処理。   | 継      | 継)・効果の確認。 |
|                                                               |             | 適用性<br>継 続               | 福岡農総試八女、<br>鹿児島茶試<br>(2)                     | [苗木の発根促進と地上部への<br>影響について]<br>定植時。<br>; 3000倍、1800倍、<br>1500倍、1000倍<3ℓ>/m。<br>; 土壌処理。                                 |        |           |
|                                                               |             | 適用性<br>継 続               | 三重農技茶業<br>(1)                                | [挿木の発根および地上部の生<br>育に及ぼす影響(平床挿木)]<br>挿木時<br>; 3、6、9、12ml<1~2ℓ>/m。<br>; 土壌処理。                                          |        |           |
|                                                               |             | 適用性<br>継 続               | 京都茶研<br>(1)                                  | [挿木の根および地上部の生長<br>に及ぼす影響]<br>挿木時。<br>; 0.158、0.312、0.625、0.938、<br>1.25ml<200ml>/1/5000a <sup>※</sup> ット。<br>; 土壌処理。 |        |           |
|                                                               |             | 作用性<br>継 続               | 埼玉茶試<br>(1)                                  | [増収効果の有無と品質に及ぼ<br>す影響について]<br>3月上中旬。<br>; 4,000、2,000、1,333、1,000倍<br><180ℓ>。<br>; 土壌処理(畝間)。                         |        |           |
|                                                               |             | 適用性<br>新 規               | 三重農技茶業、<br>京都茶研<br>(2)                       | [増収効果の有無と品質に及ぼ<br>す影響について]<br>3月上中旬。<br>; 70、100、130ml<180ℓ>。<br>; 土壌処理(畝間)。                                         |        |           |



こりやい〜ヤ、軽くて楽だ!

省カタイプ・10アール当り

# 1キロ散布

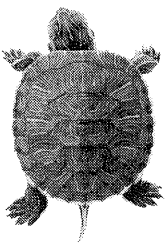


少量化で省力化。

初・中期一発処理除草剤

## フジガラス® 1キロ粒剤

フジガラス普及会  
デュボン株式会社  
ゼネカ株式会社  
事務局  
日本農業株式会社  
東京都中央区日本橋1丁目2番5号



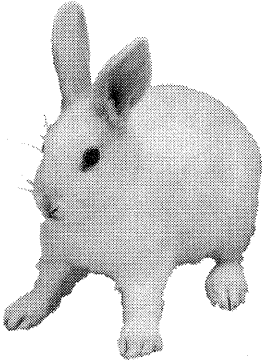
効き目はじっくり長く。  
どんな雑草も手も足も出ません。



効き目の長い除草剤

### タッチダウン

タンポポ、ギンギンなどの手ごわい雑草に!



すばやく的確。  
雑草の除草に耳よりな話。



やっかいなスギナの防除に!

速効除草剤

### スロクロックスL / マイセット

●使用前にはラベルをよく読んでください。●ラベルの記載以外には使用しないでください。●本剤は小児の手の届く所には置かないでください。

**ZENECA** ゼネカ株式会社 農薬事業部 〒107-0052 東京都港区赤坂8-1-22 赤坂王子ビル

## 文 献 抄 録

### 陰イオンと除草剤の壤土および砂土圃場土壌中の輸送

Transport of Anions and Herbicides in a loamy and a sandy Field Soil.

Flury, M., Leuenberger, J.,

Studer, B. and Fluhle, H.

Water Resour. Res. **31** (4), 823~835 (1995).

圃場試験を除草剤の迅速な移動を起す優先的な輸送とその過程を調らべるために行なった。異なる移動特性を持つ臭化物、塩化物、除草剤（トリアスルフロン、アトラジン、ターブチラジン）を壤土と砂土から成るそれぞれ6個の $1.4 \times 1.4$  mの圃場試験区へ処理した。両土壌試験区の中、各3区は異なる初期水分量に達するように試験開始1か月前にプラスチック製の屋根で被覆した。追跡子試験を始める2日前に作物を除去し、土壌表層を15~20 cmの深さまですきぐわで均一にした。化学物質を処理1日後スプリンクラー装置で試験区を散水した。積算注水量をサンプリング時までそれぞれ1, 2, 3日以内に30, 60, 90 mmとした。穴を掘り、垂直に1 mの深さまでの $0.1 \times 0.1$  mの格子土壌を採取した。壤土と砂土は全く異なる輸送パターンを示した。壤土中では大部分の除草剤は表層に残留していたが、かなりの量の除草剤が根圏以下に残留していた。数%のトリアスルフロンとアトラジンおよび1%以下のターブチラジンが90 mmの積算注水後、深さ0.5 m以下の層から検出された。すべての除草剤の微量が0.9 m以下まで検出された。陰イオンと除草

剤の深度分布は同じであった。これらの結果は除草剤の極く一部が土壌粒子に吸着していることを示す。これらの化学物質の分画は小さい吸着があるかないかの状態で土壌の裂れ目に沿って輸送された。砂土では化学物質の移動は表土0.4 mに制限され、除草剤の浸透深度は彼らの移動特性に伴い一定であった。トリアスルフロンは最大の移動性を示し、アトラジンは中位移動性で、ターブチラジンはこれらの中では最小の移動性であった。

### アラクロールとその代謝物の圃場および実験室条件における溶脱行動の比較

Comparison of the Leaching Behaviour of Alachlor and its Metabolites under Field and Laboratory Conditions.

Heyer, R. and Stan, H. J.

Inter. J. Environ. Anal. Chem. **58**, 173~183 (1995).

調査のねらいは圃場研究の結果と土壌カラム実験からえられた結果について農薬の溶脱行動を記述するために比較し、評価することにある。アラクロールとその代謝物、2,6-diethylanilineおよび2-chloro-2',6'-diethylacetanilideの運命についてこの報告は述べている。圃場溶脱研究と実験室で土壌カラム試験をLassoの除草製剤で行ない、同じような結果をえた。処理されたアラクロールは大部分が表層10 cm中に残留し、下方移動は制限されていることを示した。非常に少量のアラクロールが地下水および浸透水中に検出され、極くわずかの溶脱性が明らかにされた。15日の計算半減期と335日後の90%消失はアラクロールの注目すべき持続性を証明した。わずかな2

—chloro—2', 6'—diethylacetanilide と 2, 6—diethylaniline が土壌および浸透水中に検出された。これらの残留が製剤に由来するのか、代謝により生じたのかはまだ不確かである。同じ土壌により非破壊条件で行なわれたカラム試験は圃場研究に代替でき、定量的な評価を与える。カラム試験は処理後見い出せないアラクロールの大部分が風による飛散あるいは蒸発により消失したのではなく、結合残留の形成によるとする仮説を支持する。

### アトラジンの吸着と生分解に及ぼす土壌の湿潤と乾燥の影響

Effect of Wetting and Drying of Soil on Sorption and Biodegradation of Atrazine.

Shelton, D. R., Sadeghi, A. M., Karns, J. S. and Hapeman, C. J. Weed Sci. **43** (2), 298~305 (1995).

短期のインキュベーション(4日)をアトラジンの土壌吸着と同時に生分解に及ぼす土壌の湿乾サイクルの影響を調べるためアトラジンの各種濃度(5, 10, 25  $\mu\text{g/g}$  土壌) およびトウモロコシの茎を0, 5, 10%添加した条件で、可溶態と吸着態のアトラジンを個別分析することにより実施した。作物体残留が増加するに従い、土壌溶液中のアトラジン濃度は減少し、土壌吸着係数( $K_d$ s)は増加した。トウモロコシの茎のアトラジンに対する吸着容量は無添加の土壌に対して860  $\mu\text{g/g}$  対28  $\mu\text{g/g}$  と見積られた。乾湿のサイクルは低い土壌溶液濃度をもたらし、吸着されたアトラジンに対する抽出効率を減じ(13~22%), 影響はトウモロコシ茎を添加した時、最も増強された。土壌からの

$^{14}\text{C}$  の高い回収率はアトラジンが蒸発して損失しないことを明示している。生分解の速い速度がトウモロコシ茎添加土壌中で再湿潤の後短期間に観察された。分解はトウモロコシ茎無添加土壌では観察されなかった。長期インキュベーション(6週間)を代謝物と生分解動力学を評価するため、土壌濃度10  $\mu\text{g/g}$ , トウモロコシ茎5%添加で行った。アトラジンの消失は脱エチルと脱イソプロピルアトラジンが約2:1の比率で生成するのに付随して約2週間観察された。ヒドロキシアトラジンの生成の証拠はなかった。これらのデータは生分解が乾湿にもかかわらずアトラジンの圃場からの消失における重要な役割であることを暗示する。

### オーストラリアにおける双子葉雑草のアセトラクテート合成阻害除草剤に対する抵抗性

Resistance of Dicot Weeds to Acetolactate Synthase (ALS)—Inhibiting Herbicides in Australia.

Boutsalis, P. and Powles, S. B. Weed Res. **35** (3), 149~155 (1995).

ノゲシ(*Sonchus oleraceus* L.)の1生物型とイヌカキネガラシ(*Sisymbrium orientale* Torn)の2生物型はオーストラリアにおいてALS阻害除草剤に対し始めて抵抗性が発達した双子葉雑草である。抵抗性バイオタイプはスルホニル尿素除草剤による異なる期間の選抜に暴露された。すべての3バイオタイプは広範囲のスルホニル尿素およびイミダゾリノン除草剤に対し抵抗性であった。ノゲシ生物型はまたトリアゾロピリミジン除草剤、

flumetsulam に対しても抵抗性であった。抵抗性ノゲシ生物型のスルホニル尿素とイミダゾリノン除草剤に対する抵抗性比はそれぞれ64倍と4.5倍であった。50%生育阻害量 ( $GR_{50}$ ) 比はスルホニル尿素に対し9以上、イマザピルに対し7.4以上であった。両イヌカキネガラシ生物型に対する  $LD_{50}$  比はクロルスルフロン、スルホメツロン、メトスルフロンメチル、フルメツラム、イマザピルについてそれぞれ110, 15, 7, 24, 29倍であった。すべての抵抗性バイオタイプはMCPA, ジウロン, diflufenican 除草剤のようなALS非阻害剤に対し感受性であった。

**s-トリアジンおよびビピリジリウム除草剤のホップ圃場からの腐植酸への吸着機構**  
Adsorption Mechanisms of s-Triazine and Bipyridylum Herbicides on Humic Acids from Hop Field Soils. Senesi, N., Orazio, V. D. and Miano, T. M. *Geoderma*, **66**, 273~283 (1995).

ドイツのパバリア地方のホップ圃場において作物のうね下 (HA<sub>a</sub>), うね間 (HA<sub>b</sub>), 近接の利用されていない土地 (対照, HA<sub>c</sub>) から採取した土壌から慣行の抽出, 分画, 精製法に従って腐植酸を分離した。各腐植酸試料と各除草剤 (アトラジン, シマジン, ダイコート, パラコート) との交互作用生成物を従来の試験法に従って水溶液中, 室温条件で実験室内で調製した。最初の未反応の腐植酸と除草剤交互作用生成物を元素と官能基組成分析, フーリエ変換赤外分光光度法 (FT-IR), 蛍光および電子スピン共鳴分光法 (ESR) で分析した。研究した三種の腐植酸の性質はわずかに相違してお

り, ポップ栽培がこれらの土壌中の腐植酸の組成および官能化学的性質にわずかに二次的影響を与えていることを暗示する。三種の腐植酸はまた試験した各除草剤との交互作用において同じような行動を示した。Nに富んだ除草剤分子と腐植酸との間の水安定会合はすべての交互作用生成物中の測定されたN%の増加によりまず第一に支持された。FT-IRとESR分光法の結果は多重結合機構が吸着過程に起るであろうことを暗示する。

**三種 s-トリアジン除草剤, アトラジン, シマジン, アメトリンの亜熱帯土壌中の消失**  
Dissipation of Three s-Triazine Herbicides, Atrazine, Simazine, and Ametryn, in Subtropical Soils. Wang, Y. S., Duh, J. R., Liang, Y. F. and Chen, Y. L. *Bull. Environ. Contam. Toxicol.* **55** (3), 351~358 (1995).

三種のトリアジン除草剤の三種土壌, 台北砂壤土, 台中埴壤土, 台中壤土中の消失を温度10, 20, 30, 40°Cおよび水分量が圃場容水量の20, 40, 60, 90%の条件の室内実験と圃場試験で調査した。室内実験の結果は三種除草剤の三種土壌における消失は一次反応に従い, 消失係数と半減期は温度および土壌水分量が増加するに従い消失係数は増加し, 半減期は減少し, 消失が早まる傾向が認められた。台中壤土における圃場試験の半減期はアメトリン6.5日, アトラジン14.4日, シマジン16.4日であった。アルレニウス式によるシマジンの活性化エネルギーを計算し, 砂壤土で63.5, 埴壤土で76.5, 壤土で54.9 KJ mol<sup>-1</sup>であった。

元財日本植物調節剤研究協会 技術顧問 金澤 純

## 春の風物詩の位置をタネツケバナにとって代わるか？

## 新顔のミチタネツケバナ

森 田 弘 彦

つくばで新しい帰化植物ミチタネツケバナが在来タネツケバナに果敢に挑んで生態的位置を奪い取ろうとしているように見える。

この植物はつくばや土浦の市内にはすでに随分広がっているようで、筆者の宿舎（竹園）の庭にも発生する。農林団地では、408号線との交差点周辺や中央分離帯、家畜衛試から羽成へ抜ける道路や農林連絡道路沿いに普通にみられる。

ヨーロッパ原産の *Cardamine hirsuta* L. は1992年に工藤 洋氏らによって日本への帰化を報告され、ミチタネツケバナの和名を付けられた。これを報じた雑誌を引越し荷物の中から引き出せなかったのが確かでないが、北陸あたりでみつけたもののように思う。ヨーロッパでは普通の雑草で、Galgy Weed Tables の43-1には着色のよい図とともに“cosmopolitan”と記されている。隣の中国にも分布し、「碎米薺」と呼ばれている。わが国ではこの名は昔からタネツケバナ *C. flexuosa* With. の漢名に充てられてきたようである。

タネツケバナは「種浸け花」で、苗代に種籾を播種する頃に開花するのでこう呼ばれる冬生一年生の雑草で、水田裏作で主要な雑草になっている。もちろんつくば周辺にもごく普通にある。

6本の雄蕊が退化して5本や4本になる花が必ず混じっているのが一番確実な特長である。ミチタネツケバナの花は小さく、花卉の幅は約

1mm（タネツケバナでは2mm）。花序の先端で長角果に囲まれてこじんまりと固まって咲く。タネツケバナのように花序の先端に群がっては着かない。慣れればこの状態で遠くからでも識別できる。種子には狭い翼があり、それを含めて長さ2mm、幅1mm。タネツケバナの種子には翼はない。花期はタネツケバナより少し早い。タネツケバナに比べると全体に毛が少なく、茎や葉の裂片の縁にのみまばらにある。種小名の *hirsuta* や英名の hairy bittercress はともに「多毛」の意味であるが、本種には毛が少ないので、イギリスの図鑑でさえ「非常に不適当な命名だ。」と書いている。つくば界隈の畦道の春を告げるのが、タネツケバナの開花からミチタネツケバナのそれへと移ってしまうのであろうか。



財団法人 日本植物調節剤研究協会  
東京都台東区台東1丁目26番6号  
電話 東京(03)3832-4188 (代)

編集人 日本植物調節剤研究協会 会長 千坂 英雄  
発行人 植調編集印刷事務所 広田 伸七

東京都台東区台東1-26-6 全国農村教育協会  
発行所 植調編集印刷事務所  
電話 東京(03)3833-1821番(代)  
印刷所 新成印刷(南)

平成10年2月発行  
植調第31巻第11号

定価420円(送料270円)  
(本体400円,消費税20円)



## ホクコーの水稲用除草剤

**パピカ<sup>®</sup>A**  
1キロ粒剤36

**レインジャー<sup>®</sup>1キロ**粒剤

**バトル<sup>®</sup>1キロ**粒剤

**クサメッツ<sup>®</sup>**フロアブル

**マイキープ<sup>®</sup>1キロ**粒剤

**ブローダックス<sup>®</sup>**乳剤

**レトリール<sup>®</sup>**フロアブル

**ユニハープ<sup>®</sup>**フロアブル

●使用前にはラベルをよく読んでください。●ラベルの記載以外には使用しないでください。●本剤は小児の手の届く所には置かないでください。

JAグループ

農 協 経 済 連

全 農



北興化学工業株式会社

〒103-6341 東京都中央区日本橋本石町4-4-20

## トモノアグリカの除草剤

水稲用

**エリジャン<sup>®</sup>**乳剤

チバガイギー

**ホクド<sup>®</sup>1キロ**粒剤

チバガイギー

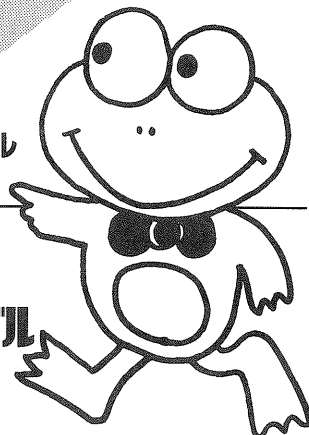
**ユニハープ<sup>®</sup>**フロアブル

畑作用

**ゲザリン<sup>®</sup>**フロアブル

**ゲザプリム<sup>®</sup>50**フロアブル

**デュアル<sup>®</sup>**乳剤



株式会社トモノアグリカ

静岡市春日2丁目12-25

# 一発除草剤は“新時代へ”



田植直後から使える

**楽らく快適! アワード®フロアブル**

自己拡散型

**クラッシュ®1キロ粒剤**

安心の初中期一発処理剤

**バトル®1キロ粒剤**

**ゴーサイン®粒剤**

ノビエ3葉期まで使える

**シェリフ®1キロ粒剤**

湛水直播水稻にも

**キックバイ®1キロ粒剤**

**ハヤテ®粒剤**

▲ 武田薬品工業株式会社  
アグロカンパニー

〒103-8668 東京都中央区日本橋二丁目12番15号

自然の恵み。この言葉のもつ意味を大切にしたい。デュポン



“自然は祖先から譲り受けたものではなく、子孫から借り受けたものである”。自然と生きてきたアメリカ先住民ナバホ族に伝わるこの言葉こそ、デュポンが地球環境を考えていくうえでの原点です。グローバル企業として環境問題に取り組むことは当然の義務、そして早くからその実践に努めてきたデュポン。1990年には一企業として初めて「地球環境保護主義」を提唱しました。こうした姿勢はアグリ事業にも貫かれています。何よりも人や環境に対する安全を重視した製品開発、それにとまなう高度な技術の提供…。自然との調和をぬきに、豊かな実りはありえません。デュポンはこれからも環境保護を基本にし、皆さまの収穫をサポートしてまいります。



デュポン 農業製品

ついに!!  
ノビエ3葉期まで枯らす  
パワフル除草剤



## 特長

- ① 3葉期までのノビエに対して高い除草効果があり、散布適期幅が広く使いやすい除草剤です（多年生雑草を考慮した使用最適期はノビエ2・5葉期頃まで）。
- ② 広範囲の雑草に効果が優れ、難防除雑草にも有効です。
- ③ 水稲に対して高い安全性があります。
- ④ 環境への影響が少ない除草剤です。

新発売

# プロスパー®

1㍑粒剤51 A1㍑粒剤36

（北陸・関東以西用）

（北海道・東北用）

●使用前にはラベルをよく読んでください ●ラベルの記載以外には使用しないでください ●本剤は小児の手の届く所には置かないでください



JAグループ  
農 協



経済連  
※は登録商標です。



自然に学び 自然を守る

クミアイ化学工業株式会社

本社：〒110-8782 東京都台東区池之端1-4-26 TEL.03(3822)5131

いのちの輝きを見つめる  
**Meiji**



非選択性茎葉処理型除草剤  
（ピアラホス除草剤群）

ハービー液剤  
サポート水和剤  
インパルス水溶剤



明治製菓株式会社  
104-8002 東京都中央区京橋2-4-16